

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）策定
のためのアンケート調査報告書（中間報告書） 2

2. 要支援・要介護認定者調査

※上記以外は別途作成

2. 要支援・要介護認定者調査

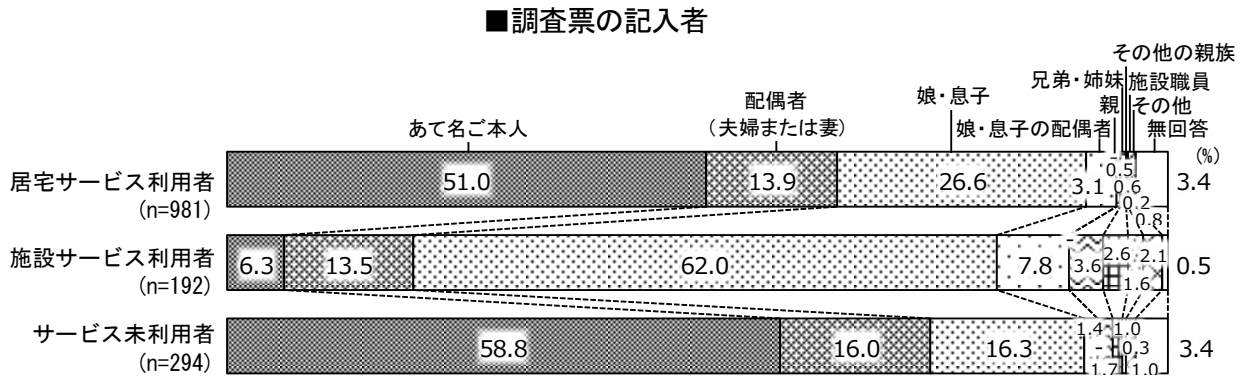
1 調査票記入にあたって

(1) 調査票の記入者

調査票の記入者は、居宅サービス利用者は「あて名ご本人」(51.0%)が最も多く、「娘・息子」(26.6%)、「配偶者(夫または妻)」(13.9%)と続いている。

施設サービス利用者は、「娘・息子」(62.0%)が最も多く、「配偶者(夫または妻)」(13.5%)、「娘・息子の配偶者」(7.8%)と続いている。

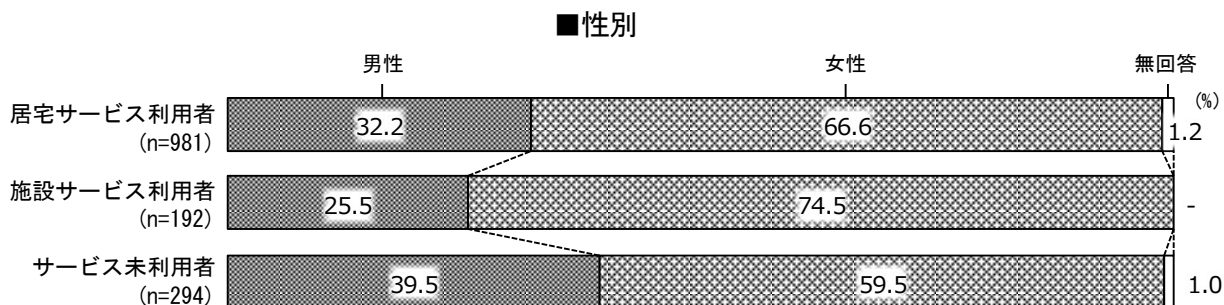
サービス未利用者は、「あて名ご本人」(58.8%)が最も多く、「娘・息子」(16.3%)、「配偶者(夫または妻)」(16.0%)と続いている。



2 基本属性

(1) 性別 (F1)

性別は、居宅サービス利用者は「男性」が32.2%、「女性」が66.6%となっている。
 施設サービス利用者は、「男性」が25.5%、「女性」が74.5%となっている。
 サービス未利用者は、「男性」が39.5%、「女性」が59.5%となっている。

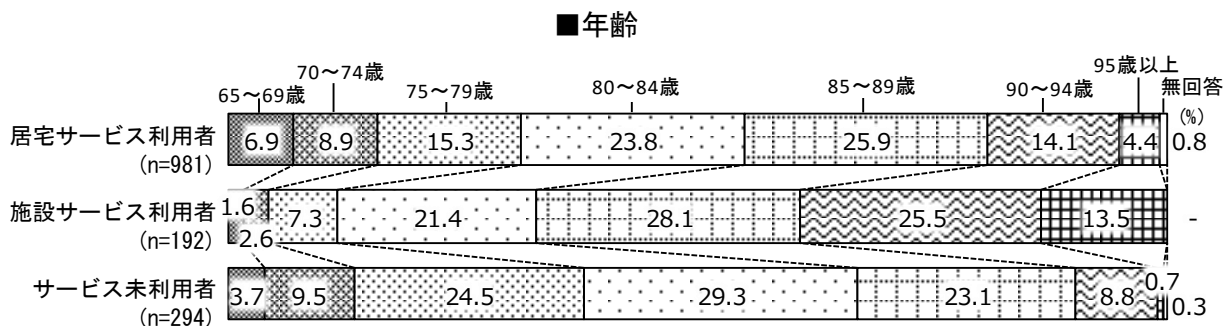


(2) 年齢 (F2)

年齢は、居宅サービス利用者は「85～89歳」(25.9%)が最も多く、「80～84歳」(23.8%)、「75～79歳」(15.3%)と続いている。

施設サービス利用者は、「85～89歳」(28.1%)が最も多く、「90～94歳」(25.5%)、「80～84歳」(21.4%)と続いている。

サービス未利用者は、「80～84歳」(29.3%)が最も多く、「75～79歳」(24.5%)、「85～89歳」(23.1%)と続いている。

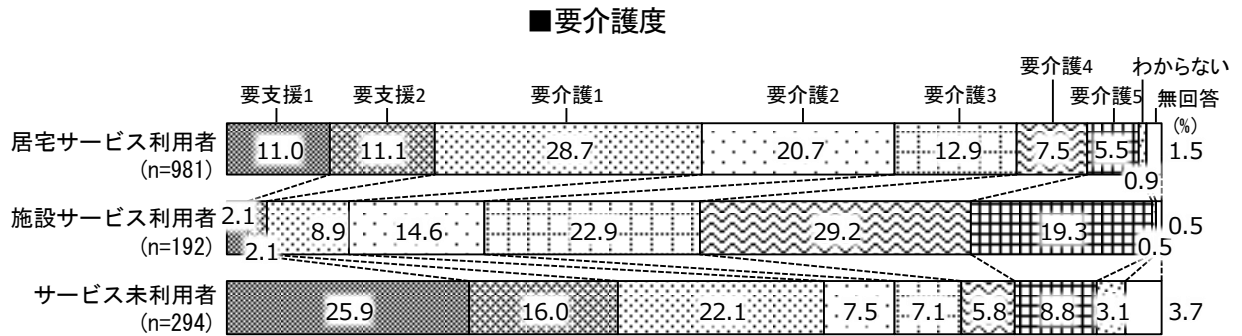


(3) 要介護度 (F3)

要介護度は、居宅サービス利用者は、「要介護1」(28.7%)が最も多く、「要介護2」(20.7%)、「要介護3」(12.9%)と続いている。

施設サービス利用者は、「要介護4」(29.2%)が最も多く、「要介護3」(22.9%)、「要介護5」(19.3%)と続いている。

サービス未利用者は、「要支援1」(25.9%)が最も多く、「要介護1」(22.1%)、「要支援2」(16.0%)と続いている。

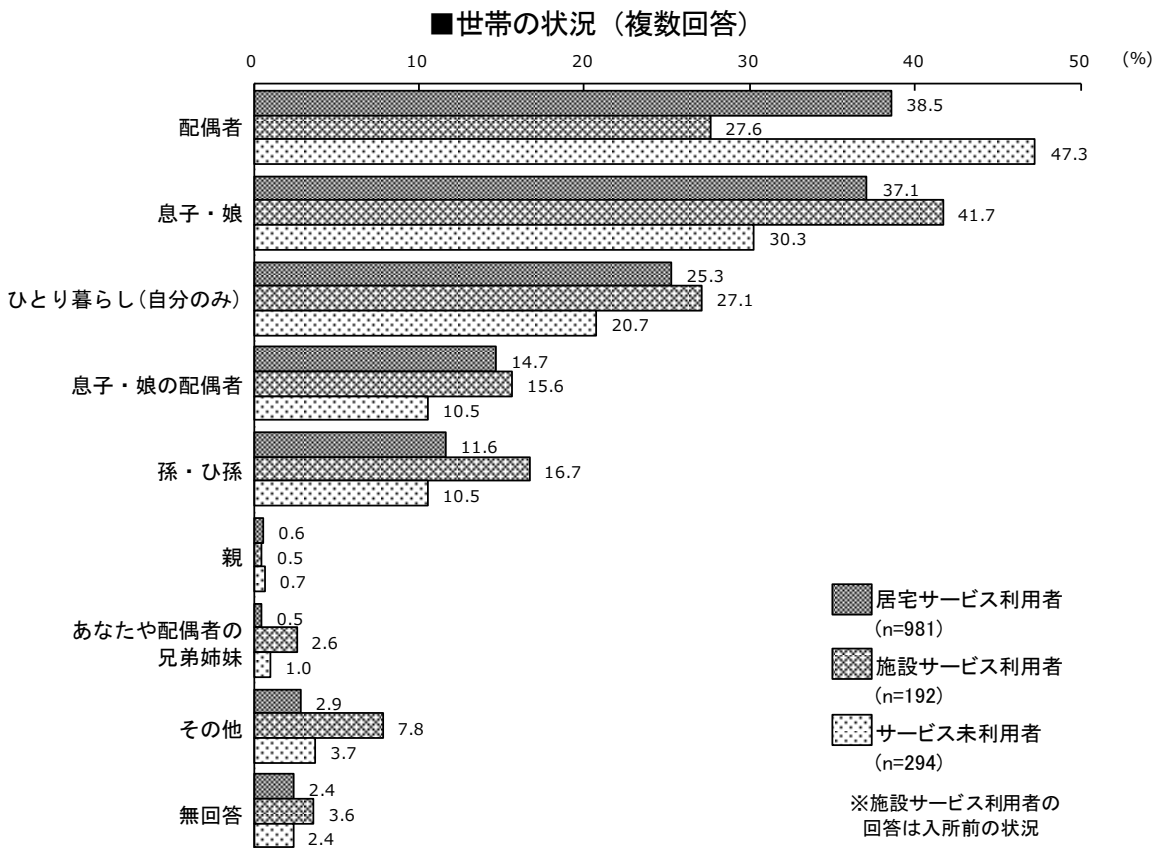


(4) 世帯の状況 (F4)

世帯の状況は、居宅サービス利用者は、「配偶者」(38.5%)が最も多く、「息子・娘」(37.1%)、「ひとり暮らし(自分のみ)」(25.3%)と続いている。

施設サービス利用者の入所(居)前の状況は、「息子・娘」(41.7%)が最も多く、「配偶者」(27.6%)、「ひとり暮らし(自分のみ)」(27.1%)と続いている。

サービス未利用者は、「配偶者」(47.3%)が最も多く、「息子・娘」(30.3%)、「ひとり暮らし(自分のみ)」(20.7%)と続いている。

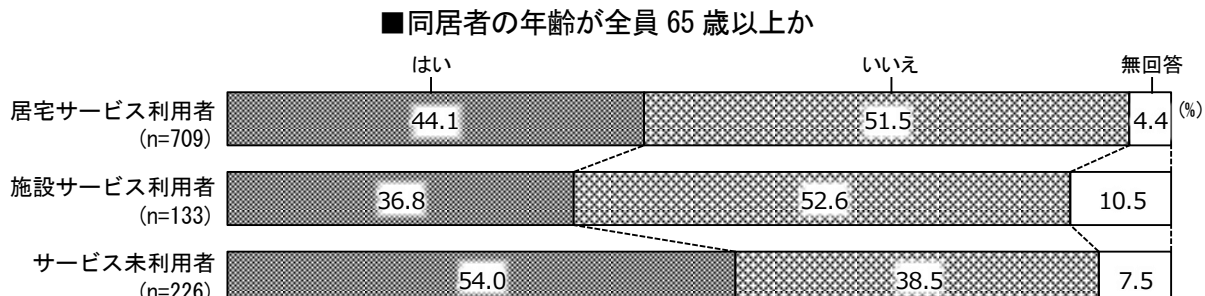


(5) 同居者の年齢が全員 65 歳以上か (F 4-1)

「ひとり暮らし(自分のみ)」以外を回答した人に同居者の年齢が全員 65 歳以上かを聞いたところ、居宅サービス利用者は「はい」が 44.1%、「いいえ」が 51.5%となっている。

施設サービス利用者は、「はい」が 36.8%、「いいえ」が 52.6%となっている。

サービス未利用者は、「はい」が 54.0%、「いいえ」が 38.5%となっている。

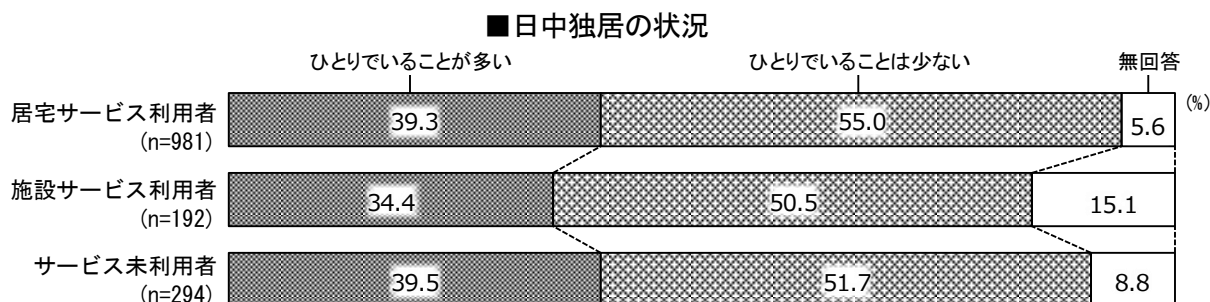


(6) 日中独居の状況 (F 5)

日中独居の状況は、居宅サービス利用者は「ひとりであることが多い」が 39.3%、「ひとりであることは少ない」が 55.0%となっている。

施設サービス利用者は、「ひとりであることが多い」が 34.4%、「ひとりであることは少ない」が 50.5%となっている。

サービス未利用者は、「ひとりであることが多い」が 39.5%、「ひとりであることは少ない」が 51.7%となっている。

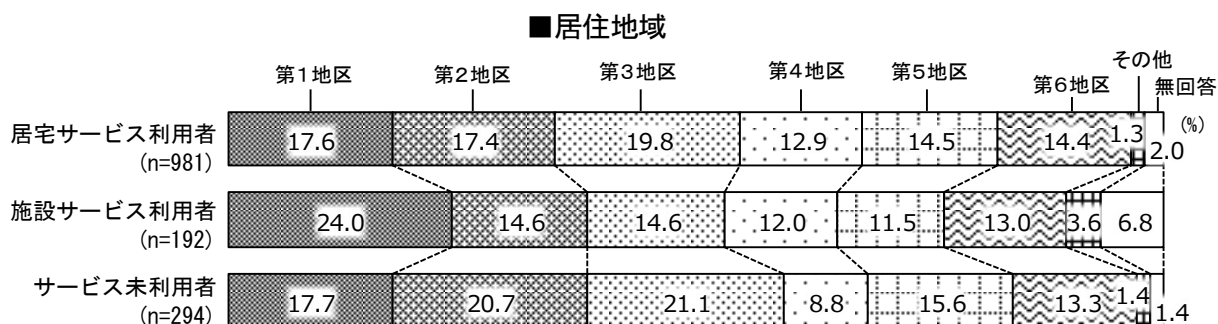


(7) 居住地域 (F 6)

居住地域は、居宅サービス利用者は「第3地区」(19.8%)が最も多く、「第1地区」(17.6%)、「第2地区」(17.4%)、第5地区(14.5%)、第6地区(14.4%)、第4地区(12.9%)となっている。

施設サービス利用者は、「第1地区」(24.0%)が最も多く、「第2地区」と「第3地区」(ともに 14.6%)、第6地区(13.0%)、第4地区(12.0%)、第5地区(11.5%)となっている。

サービス未利用者は、「第3地区」(21.1%)が最も多く、「第2地区」(20.7%)、「第1地区」(17.7%)、第6地区(13.3%)、第5地区(15.6%)、第4地区(8.8%)となっている。



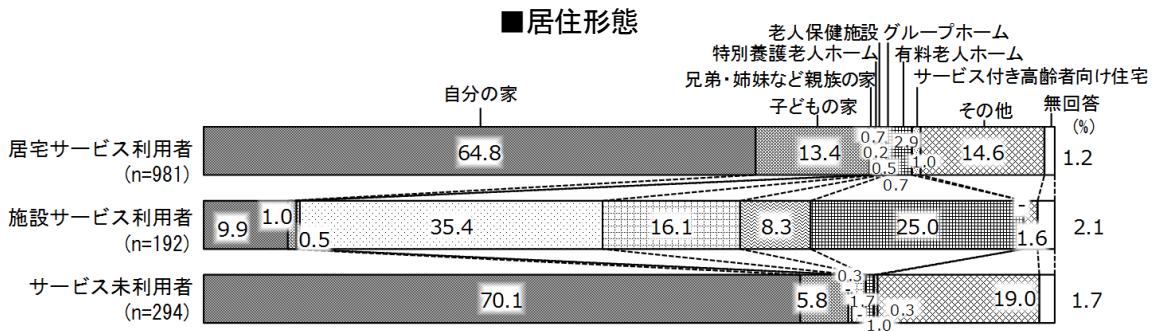
3 住まいについて

(1) 居住形態 (問1)

居住形態は、居宅サービス利用者は「自分の家」(64.8%)が最も多く、「子どもの家」(13.4%)、「有料老人ホーム」(2.9%)と続いている。

施設サービス利用者は、「特別養護老人ホーム」(35.4%)が最も多く、「有料老人ホーム」(25.0%)、「老人保健施設」(16.1%)と続いている。

サービス未利用者は、「自分の家」(70.1%)が最も多く、「子どもの家」(5.8%)、「老人保健施設」(1.7%)と続いている。



居宅サービス利用者について

性別にみると、男性は「自分の家」(72.5%)が女性に比べ多く、女性は「子どもの家」(17.3%)が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、中重度者は「子どもの家」(18.4%)が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第2地区、第6地区は「自分の家」(順に73.7%、73.8%)が全体に比べ多くなっている。

■居住形態 (居宅サービス利用者)

		家自 分の 家	の 子 ど も	の ど 姉 兄 家 親 妹 弟 族 な ・	ホ 護 特 別 老 人 養 護 施 設	健 老 施 人 設 保	ム ブ グ ホ ル ム	ム 人 有 ホ 料 老	宅 向 高 ス サ け 付 け 住 者 き び	そ の 他	無 回 答
全体(n=981)		64.8	13.4	0.7	0.2	0.5	0.7	2.9	1.0	14.6	1.2
性別	男性(n=316)	72.5	5.1	1.6	0.3	0.6	0.6	3.2	0.9	13.9	1.3
	女性(n=653)	61.7	17.3	0.3	0.2	0.5	0.8	2.8	1.1	14.9	0.6
要介護度別	要支援者(n=217)	67.3	9.7	1.4	-	-	-	0.9	0.5	19.4	0.9
	軽度者(n=485)	65.6	12.6	0.2	-	0.2	0.6	3.3	1.4	15.3	0.8
	中重度者(n=255)	62.4	18.4	1.2	0.8	1.6	1.6	3.9	0.8	8.6	0.8
地区別	第1地区(n=173)	70.5	16.8	-	-	-	0.6	4.0	1.7	6.4	-
	第2地区(n=171)	73.7	13.5	0.6	-	0.6	0.6	4.1	0.6	5.8	0.6
	第3地区(n=194)	60.8	13.4	2.1	-	-	0.5	-	0.5	21.6	1.0
	第4地区(n=127)	58.3	10.2	1.6	-	1.6	-	0.8	0.8	25.2	1.6
	第5地区(n=142)	59.2	16.2	-	1.4	-	1.4	1.4	-	19.7	0.7
	第6地区(n=141)	73.8	10.6	-	-	1.4	0.7	1.4	1.4	9.2	1.4

※要介護度別：要支援者…要支援1～2、軽度者…要介護1～2、中重度者…要介護3～5

サービス未利用者について

性別にみると、女性は「子どもの家」(8.6%)が男性に比べ多くなっている。

■居住形態 (サービス未利用者)

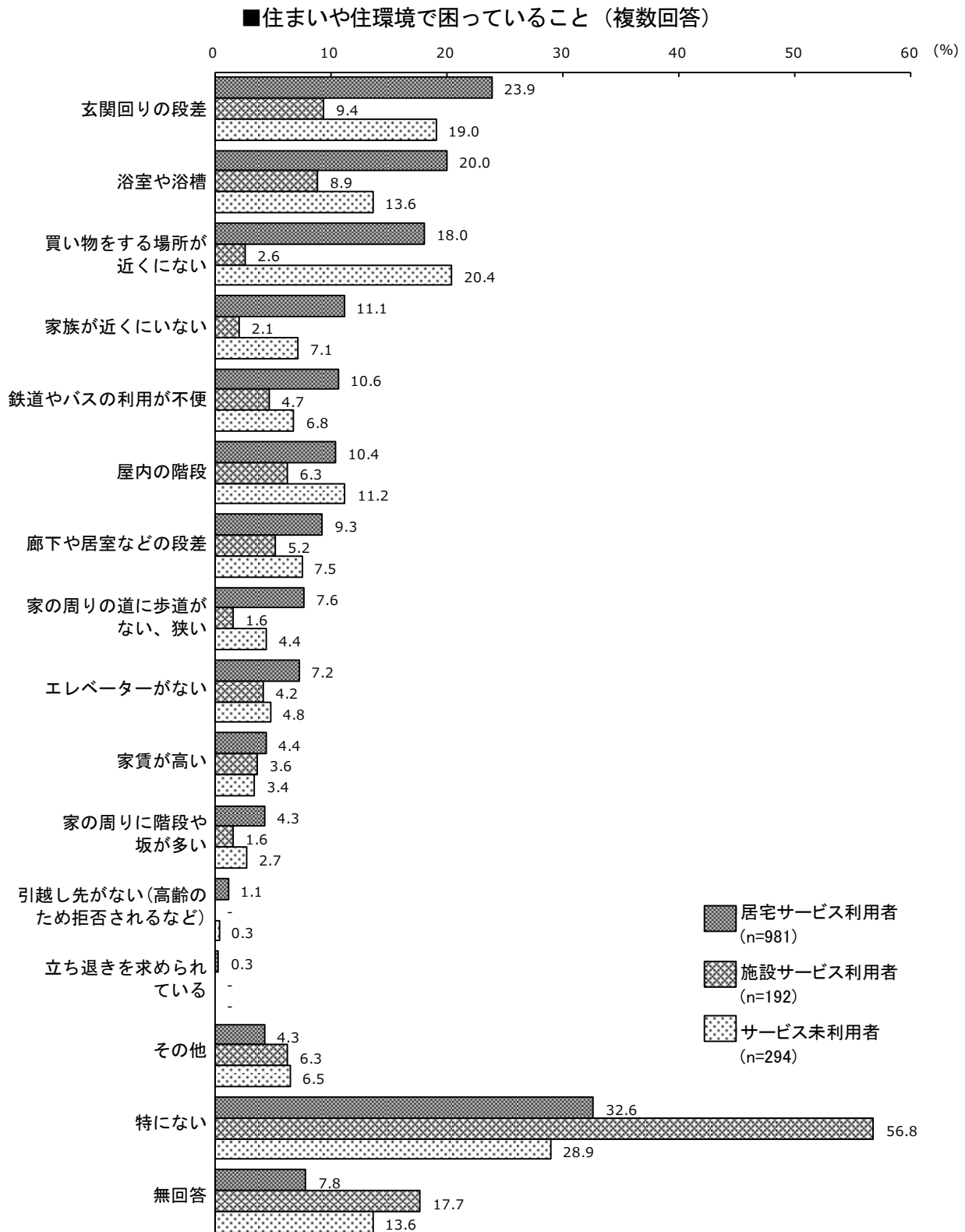
		家自 分の 家	の 子 ど も	の ど 姉 兄 家 親 妹 弟 族 な ・	ホ 護 特 別 老 人 養 護 施 設	健 老 施 人 設 保	ム ブ グ ホ ル ム	ム 人 有 ホ 料 老	宅 向 高 ス サ け 付 け 住 者 き び	そ の 他	無 回 答
全体(n=294)		70.1	5.8	0.3	-	1.7	-	1.0	0.3	19.0	1.7
性別	男性(n=116)	69.8	1.7	0.9	-	2.6	-	1.7	-	23.3	-
	女性(n=175)	70.9	8.6	-	-	1.1	-	0.6	0.6	16.0	2.3

(2) 住まいや住環境で困っていること (問2)

住まいや住環境で困っていることは、居宅サービス利用者は「玄関回りの段差」(23.9%)が最も多く、「浴室や浴槽」(20.0%)、「買い物をする場所が近くにくい」(18.0%)と続いている。

施設サービス利用者は、「玄関回りの段差」(9.4%)が最も多く、「浴室や浴槽」(8.9%)、「屋内の階段」(6.3%)と続いている。

サービス未利用者は、「買い物をする場所が近くにくい」(20.4%)が最も多く、「玄関回りの段差」(19.0%)、「浴室や浴槽」(13.6%)と続いている。



居宅サービス利用者について

性別にみると、男性は「玄関回りの段差」(27.8%)が女性に比べ多く、女性は「買い物をする場所が近くにない」(20.4%)が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「買い物をする場所が近くにない」(25.3%)、「家族が近くにない」(16.1%)、「鉄道やバスの利用が不便」(15.2%)、中重度者は「玄関回りの段差」(39.6%)、「浴室や浴槽」(27.5%)、「廊下や居室などの段差」(16.1%)が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第2地区は「買い物をする場所が近くにない」(25.1%)、「家の周りに階段や坂が多い」(11.1%)、第3地区は「エレベーターがない」(13.4%)が全体に比べ多くなっている。

■住まいや住環境で困っていること（複数回答）（居宅サービス利用者）

		玄関回りの段差	浴室や浴槽	が買い物をする場所	い家族が近くにない	が鉄道やバスの利用	屋内の階段	段廊下や居室などの	道家の周りに、狭い歩	いエレベーターがな	家賃が高い	坂家の周りに階段や	さ(高齢のため拒否)	引越しの先がない	れている退きを求めら	その他	特にな	無回答
全体(n=981)		23.9	20.0	18.0	11.1	10.6	10.4	9.3	7.6	7.2	4.4	4.3	1.1	0.3	4.3	32.6	7.8	
性別	男性(n=316)	27.8	20.3	13.6	9.8	11.1	9.8	10.4	8.5	8.5	5.1	3.5	1.3	0.3	4.4	33.2	7.9	
	女性(n=653)	22.1	20.1	20.4	11.6	10.6	10.7	8.9	7.4	6.4	4.1	4.6	1.1	0.3	4.3	32.5	7.4	
要介護度別	要支援者(n=217)	13.8	13.8	25.3	16.1	15.2	11.5	5.5	6.9	8.3	2.8	5.1	0.5	0.5	5.1	32.3	9.7	
	軽度者(n=485)	20.8	19.6	19.8	13.0	11.5	10.9	7.6	7.2	6.8	5.6	4.7	1.2	0.4	4.1	33.0	7.0	
	中重度者(n=255)	39.6	27.5	9.4	3.9	5.9	9.0	16.1	9.4	7.5	3.9	3.1	1.2	0.0	3.9	31.0	6.7	
地区別	第1地区(n=173)	27.2	23.1	21.4	7.5	13.9	13.3	9.8	9.2	5.8	2.3	2.9	1.7	-	4.6	27.2	7.5	
	第2地区(n=171)	29.8	15.2	25.1	11.1	14.0	12.3	11.7	8.8	7.6	4.1	11.1	1.2	0.6	3.5	26.3	6.4	
	第3地区(n=194)	21.6	25.3	9.3	12.9	6.2	10.8	8.2	7.7	13.4	3.1	1.0	1.0	0.5	2.6	37.6	6.7	
	第4地区(n=127)	20.5	18.1	15.7	11.8	11.0	5.5	7.9	3.9	2.4	7.9	5.5	-	-	4.7	38.6	11.0	
	第5地区(n=142)	17.6	13.4	23.2	9.9	9.9	11.3	7.0	7.7	9.2	2.8	1.4	-	-	4.2	37.3	7.0	
	第6地区(n=141)	29.1	25.5	16.3	12.1	9.9	9.9	12.1	8.5	2.1	5.7	3.5	2.1	0.7	6.4	31.2	6.4	

サービス未利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「玄関回りの段差」(29.7%)が全体に比べ多くなっている。

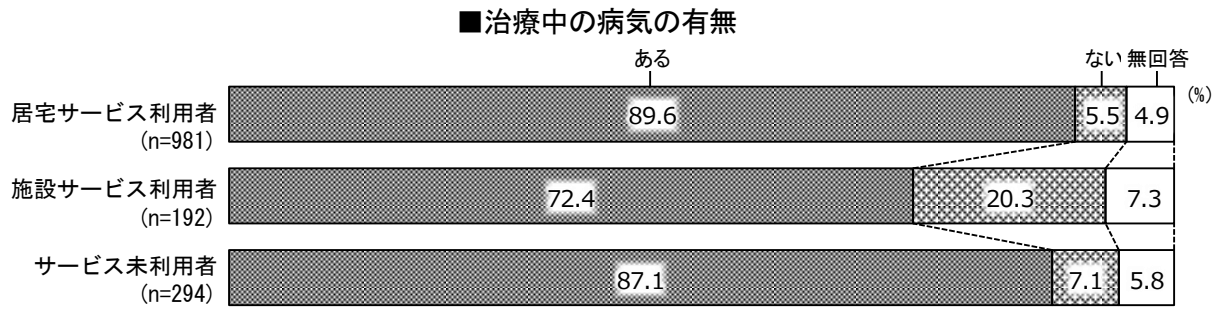
■住まいや住環境で困っていること（複数回答）（サービス未利用者）

		玄関回りの段差	浴室や浴槽	が買い物をする場所	い家族が近くにない	が鉄道やバスの利用	屋内の階段	段廊下や居室などの	道家の周りに、狭い歩	いエレベーターがな	家賃が高い	坂家の周りに階段や	さ(高齢のため拒否)	引越しの先がない	れている退きを求めら	その他	特にな	無回答
全体(n=294)		19.0	13.6	20.4	7.1	6.8	11.2	7.5	4.4	4.8	3.4	2.7	0.3	-	6.5	28.9	13.6	
要介護度別	要支援者(n=123)	18.7	12.2	22.8	9.8	6.5	13.8	4.9	4.1	5.7	1.6	4.1	0.8	-	5.7	23.6	13.0	
	軽度者(n=87)	13.8	12.6	19.5	5.7	6.9	10.3	9.2	5.7	5.7	5.7	2.3	-	-	5.7	33.3	10.3	
	中重度者(n=64)	29.7	20.3	14.1	1.6	6.3	7.8	12.5	3.1	3.1	4.7	1.6	-	-	10.9	29.7	20.3	

4 医療について

(1) 治療中の病気の有無（問3）

治療中の病気の有無は、居宅サービス利用者は「ある」が89.6%、「ない」が5.5%となっている。
 施設サービス利用者は、「ある」が72.4%、「ない」が20.3%となっている。
 サービス未利用者は、「ある」が87.1%、「ない」が7.1%となっている。

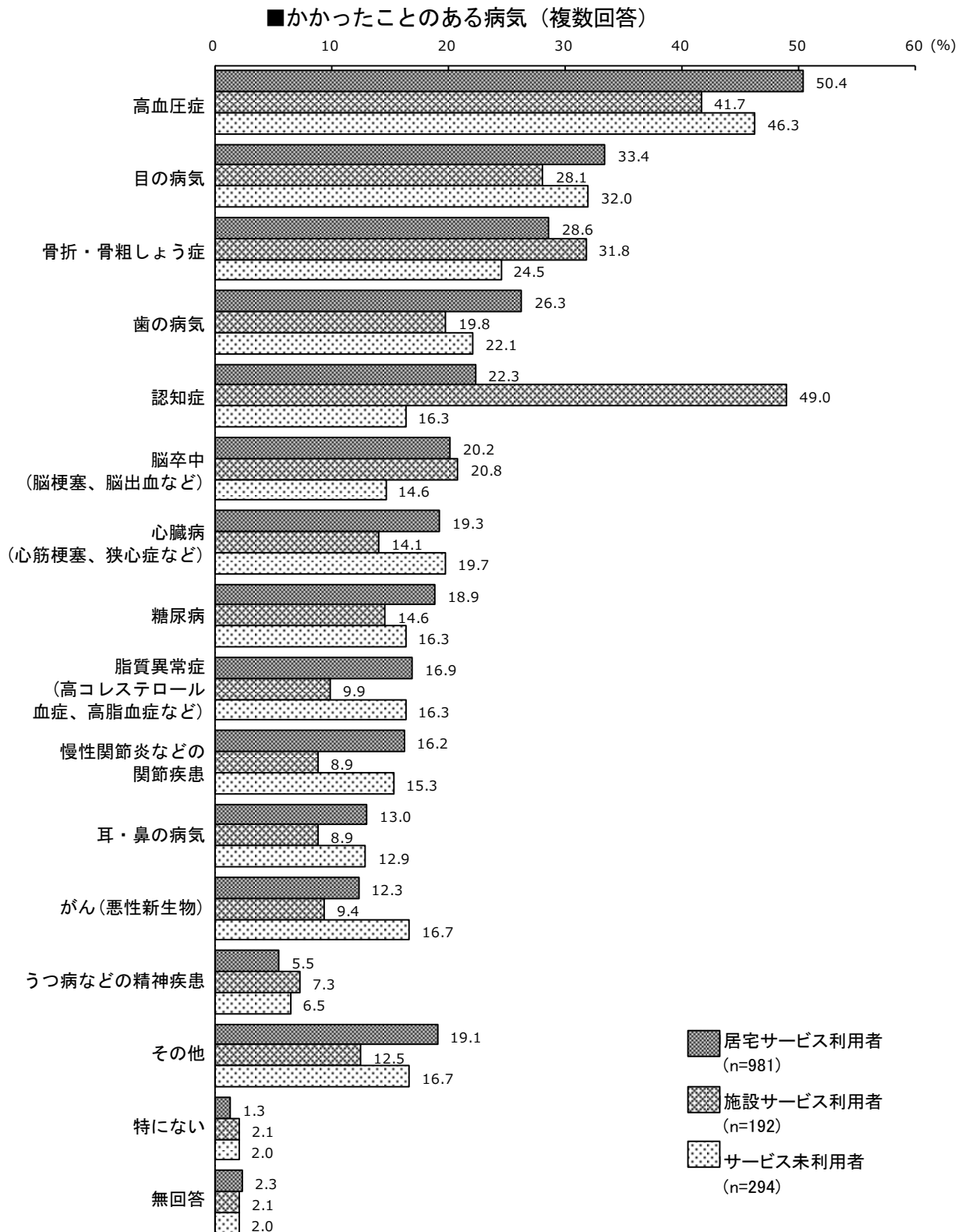


(2) かかったことのある病気 (問4)

かかったことのある病気は、居宅サービス利用者は「高血圧症」(50.4%)が最も多く、「目の病気」(33.4%)、「骨折・骨粗しょう症」(28.6%)と続いている。

施設サービス利用者は、「認知症」(49.0%)が最も多く、「高血圧症」(41.7%)、「骨折・骨粗しょう症」(31.8%)と続いている。

サービス未利用者は、「高血圧症」(46.3%)が最も多く、「目の病気」(32.0%)、「骨折・骨粗しょう症」(24.5%)と続いている。



2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービス利用者について

性別にみると、男性は「脳卒中(脳梗塞、脳出血など)」(32.3%)、「糖尿病」(23.4%)、「がん(悪性新生物)」(18.7%)が女性に比べ多く、女性は「目の病気」(36.9%)、「骨折・骨粗しょう症」(37.1%)、「慢性関節炎などの関節疾患」(20.8%)、「うつ病などの精神疾患」(7.0%)が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「脂質異常症(高コレステロール血症、高脂血症など)」(23.5%)、「慢性関節炎などの関節疾患」(22.6%)、「耳・鼻の病気」(19.4%)、中重度者は「認知症」(41.2%)、「脳卒中(脳梗塞、脳出血など)」(32.2%)が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると第5地区は「高血圧症」(59.2%)が全体に比べ多くなっている。

■かかったことのある病気(複数回答)(居宅サービス利用者)

		高血圧症	目の病気	し骨折・骨粗しょう症	歯の病気	認知症	脳卒中(脳梗塞、脳出血など)	心筋梗塞(狭心症など)	心臓病	糖尿病	症など(高血圧、高コレステロール血症)	脂質異常症	慢性関節炎	気・耳・鼻の病気	新がん(悪性新生物)	うつ病などの精神疾患	その他	特になし	無回答
全体(n=981)		50.4	33.4	28.6	26.3	22.3	20.2	19.3	18.9		16.9	16.2	13.0	12.3	5.5	19.1	1.3	2.3	
性別	男性(n=316)	49.1	25.9	12.0	25.9	22.5	32.3	21.8	23.4		14.2	6.6	12.0	18.7	2.5	21.8	1.6	2.8	
	女性(n=653)	51.5	36.9	37.1	26.6	22.5	14.4	17.9	16.4		18.5	20.8	13.6	9.3	7.0	18.1	1.2	1.8	
要介護度別	要支援者(n=217)	54.8	39.6	27.6	31.3	6.0	13.4	19.8	19.8		23.5	22.6	19.4	14.3	5.1	18.4	0.5	3.2	
	軽度者(n=485)	51.5	34.4	30.3	26.2	20.2	17.5	18.8	18.6		16.3	17.5	14.4	11.8	6.2	17.9	1.9	2.1	
	中重度者(n=255)	45.5	27.8	25.5	23.1	41.2	32.2	19.2	19.6		14.1	9.0	5.5	12.5	4.7	23.5	0.8	1.2	
地区別	第1地区(n=173)	52.6	32.9	30.1	26.0	23.7	19.7	21.4	15.6		15.0	17.3	11.6	13.3	4.6	19.7	2.3	0.6	
	第2地区(n=171)	53.8	32.2	29.8	28.1	20.5	19.3	22.8	14.0		18.7	11.1	15.8	12.3	8.2	20.5	0.6	3.5	
	第3地区(n=194)	54.1	29.4	30.9	26.8	24.7	21.1	16.5	20.1		15.5	16.5	11.3	14.4	3.6	22.7	0.5	1.0	
	第4地区(n=127)	38.6	35.4	29.1	20.5	20.5	20.5	15.7	18.9		17.3	16.5	11.8	12.6	8.7	16.5	2.4	3.9	
	第5地区(n=142)	59.2	33.1	27.5	25.4	21.8	19.7	19.0	21.1		17.6	19.0	14.8	10.6	3.5	14.8	1.4	2.1	
	第6地区(n=141)	41.8	41.1	22.7	31.9	23.4	21.3	17.0	24.8		19.1	16.3	13.5	10.6	5.7	19.9	1.4	2.1	

施設サービス利用者について

性別にみると、女性は「骨折・骨粗しょう症」(38.5%)、「認知症」(54.5%)が男性に比べ多くなっている。

■かかったことのある病気(複数回答)(施設サービス利用者)

		高血圧症	目の病気	し骨折・骨粗しょう症	歯の病気	認知症	脳卒中(脳梗塞、脳出血など)	心筋梗塞(狭心症など)	心臓病	糖尿病	症など(高血圧、高コレステロール血症)	脂質異常症	慢性関節炎	気・耳・鼻の病気	新がん(悪性新生物)	うつ病などの精神疾患	その他	特になし	無回答
全体(n=192)		41.7	28.1	31.8	19.8	49.0	20.8	14.1	14.6		9.9	8.9	8.9	9.4	7.3	12.5	2.1	2.1	
性別	男性(n=49)	40.8	24.5	12.2	18.4	32.7	28.6	16.3	20.4		6.1	6.1	8.2	10.2	6.1	12.2	6.1	4.1	
	女性(n=143)	42.0	29.4	38.5	20.3	54.5	18.2	13.3	12.6		11.2	9.8	9.1	9.1	7.7	12.6	0.7	1.4	

サービス未利用者について

性別にみると、男性は「認知症」(22.4%)、「脳卒中(脳梗塞、脳出血など)」(22.4%)、「心臓病(心筋梗塞、狭心症など)」(30.2%)、「糖尿病」(25.9%)が女性に比べ多く、女性は「目の病気」(37.1%)、「骨折・骨粗しょう症」(30.9%)、「脂質異常症(高コレステロール血症、高脂血症など)」(20.0%)、「慢性関節炎などの関節疾患」(21.7%)が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、中重度者は「認知症」(31.3%)、「脳卒中(脳梗塞、脳出血など)」(25.0%)が全体に比べ多くなっている。

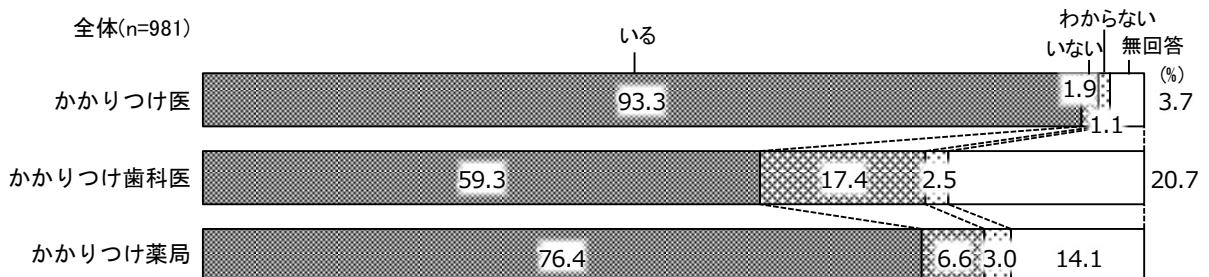
■かかったことのある病気(複数回答)(サービス未利用者)

		高血圧症	目の病気	し骨折・骨粗しょう症	歯の病気	認知症	脳卒中(脳梗塞、脳出血など)	心筋梗塞(狭心症など)	心臓病	糖尿病	症など(高血圧、高コレステロール血症)	脂質異常症	慢性関節炎	気・耳・鼻の病気	新がん(悪性新生物)	うつ病などの精神疾患	その他	特になし	無回答
全体(n=294)		46.3	32.0	24.5	22.1	16.3	14.6	19.7	16.3		16.3	15.3	12.9	16.7	6.5	16.7	2.0	2.0	
性別	男性(n=116)	44.8	24.1	14.7	25.0	22.4	22.4	30.2	25.9		11.2	5.2	12.9	21.6	8.6	17.2	1.7	0.9	
	女性(n=175)	48.0	37.1	30.9	20.6	12.6	9.1	12.6	10.3		20.0	21.7	13.1	13.7	5.1	16.6	1.7	2.3	
要介護度別	要支援者(n=123)	53.7	35.0	26.0	26.0	6.5	8.1	13.0	13.8		22.0	21.1	13.0	15.4	4.9	14.6	1.6	0.8	
	軽度者(n=87)	48.3	32.2	23.0	19.5	19.5	17.2	20.7	21.8		12.6	11.5	11.5	19.5	5.7	16.1	2.3	3.4	
	中重度者(n=64)	29.7	23.4	25.0	18.8	31.3	25.0	26.6	17.2		10.9	10.9	12.5	15.6	7.8	25.0	3.1	1.6	

(3) かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無（問5）

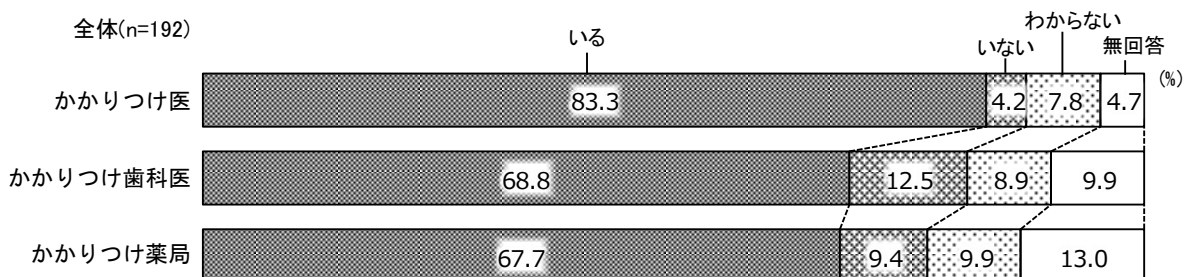
居宅サービス利用者のかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無について、「いる」は『かかりつけ医』が93.3%、『かかりつけ歯科医』が59.3%、『かかりつけ薬局』が76.4%となっている。

■かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無（居宅サービス利用者）



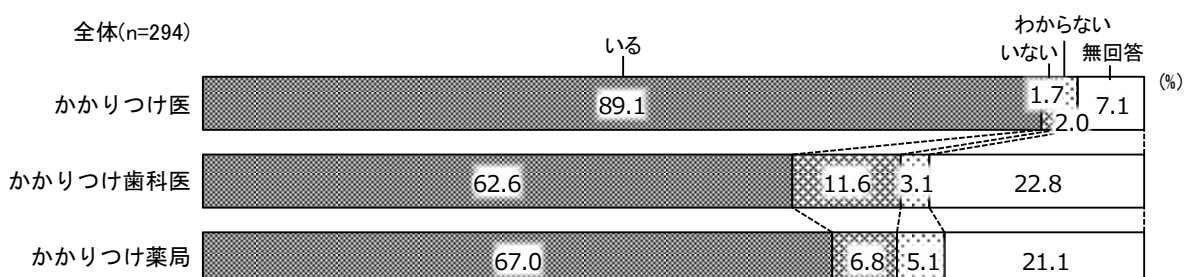
施設サービス利用者のかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無について、「いる」は『かかりつけ医』が83.3%、『かかりつけ歯科医』が68.8%、『かかりつけ薬局』が67.7%となっている。

■かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無（施設サービス利用者）



サービス未利用者のかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無について、「いる」は『かかりつけ医』が89.1%、『かかりつけ歯科医』が62.6%、『かかりつけ薬局』が67.0%となっている。

■かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無（サービス未利用者）



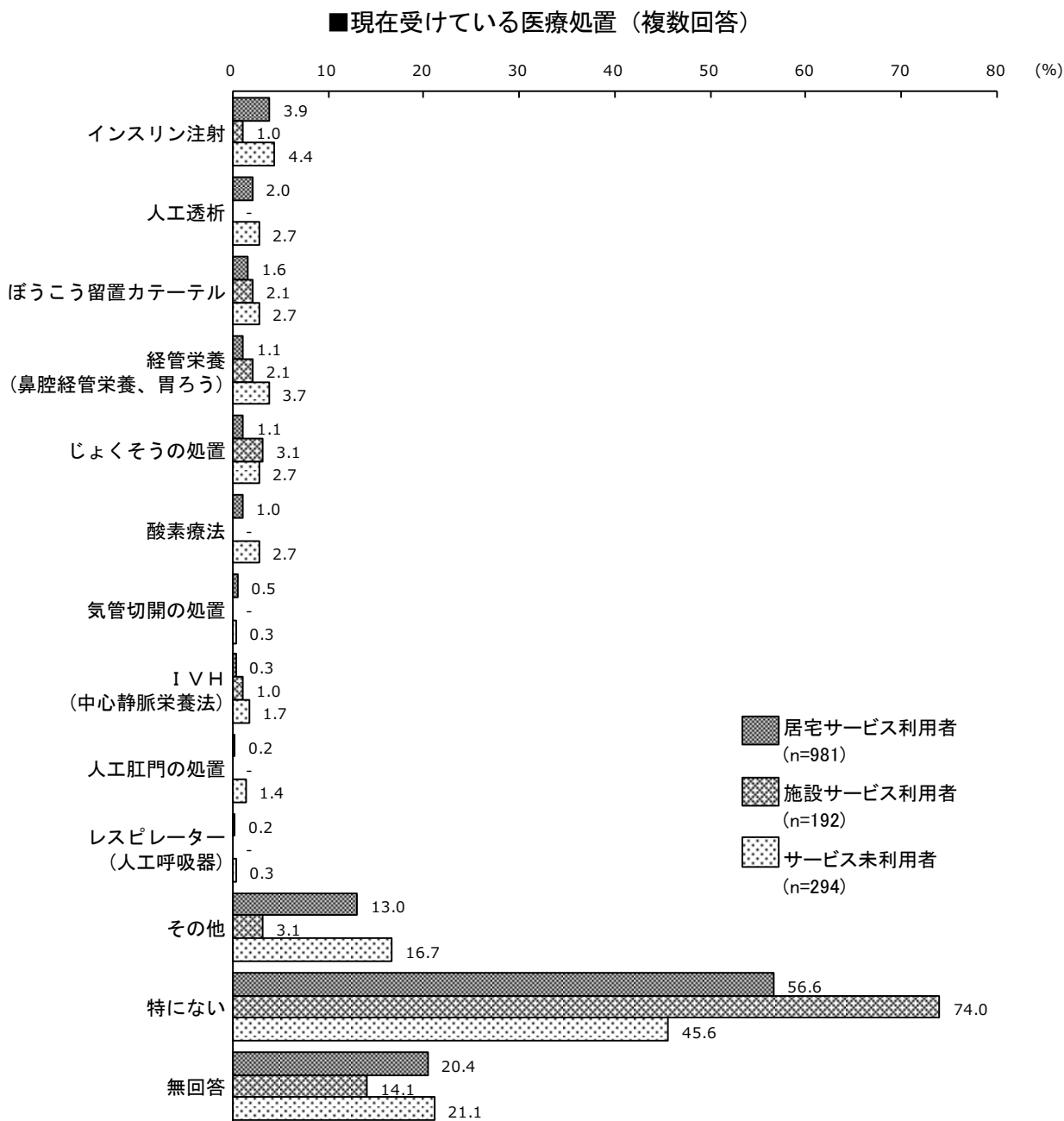
(4) 現在受けている医療処置 (問6)

現在受けている医療処置は、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者のいずれも「特にない」が最も多い。

医療処置の内容では、居宅サービス利用者は「インスリン注射」(3.9%)が最も多く、「人工透析」(2.0%)、「ぼうこう留置カテーテル」(1.6%)と続いている。

施設サービス利用者は、「じょくそうの処置」(3.1%)が最も多く、「ぼうこう留置カテーテル」と「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(ともに2.1%)、「インスリン注射」と「IVH(中心静脈栄養法)」(ともに1.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「インスリン注射」(4.4%)が最も多く、「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(3.7%)、「人工透析」と「ぼうこう留置カテーテル」と「じょくそうの処置」と「酸素療法」(いずれも2.7%)と続いている。



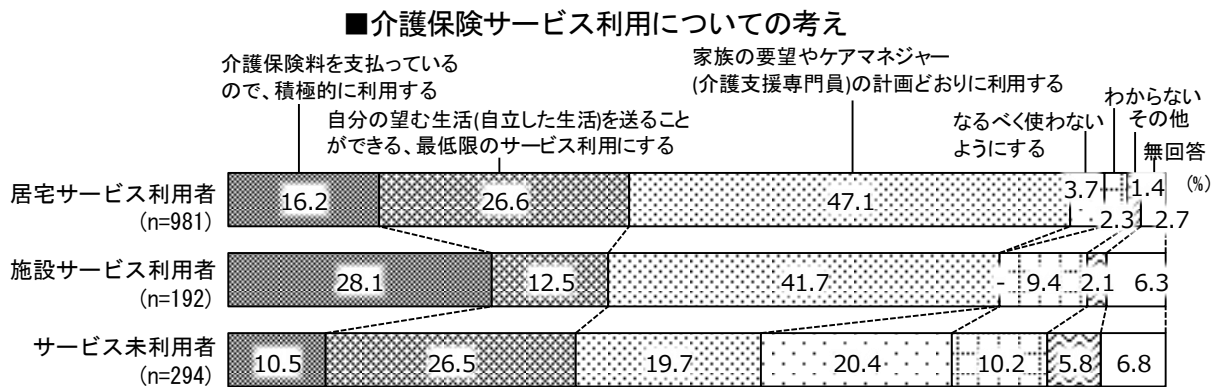
5 介護保険について

(1) 介護保険サービス利用についての考え (問7)

介護保険サービス利用についての考えは、居宅サービス利用者は、「家族の要望やケアマネジャー(介護支援専門員)の計画どおりに利用する」(47.1%)が最も多く、「自分の望む生活(自立した生活)を送ることができる、最低限のサービス利用にする」(26.6%)、「介護保険料を支払っているので、積極的に利用する」(16.2%)と続いている。

施設サービス利用者は、「家族の要望やケアマネジャー(介護支援専門員)の計画どおりに利用する」(41.7%)が最も多く、「介護保険料を支払っているので、積極的に利用する」(28.1%)、「自分の望む生活(自立した生活)を送ることができる、最低限のサービス利用にする」(12.5%)と続いている。

サービス未利用者は、「自分の望む生活(自立した生活)を送ることができる、最低限のサービス利用にする」(26.5%)が最も多く、「なるべく使わないようにする」(20.4%)、「家族の要望やケアマネジャー(介護支援専門員)の計画どおりに利用する」(19.7%)と続いている。



居宅サービス利用者について

性別にみると、女性は「自分の望む生活(自立した生活)を送ることができる、最低限のサービス利用にする」(28.9%)が男性に比べて多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「自分の望む生活(自立した生活)を送ることができる、最低限のサービス利用にする」(37.3%)、中重度者は「家族の要望やケアマネジャー(介護支援専門員)の計画どおりに利用する」(60.0%)が全体に比べて多くなっている。

■介護保険サービス利用についての考え (居宅サービス利用者)

		介護保険料を支払っている ので、積極的に利用する	自分の望む生活(自立した生活)を送ること ができる、最低限のサービス利用にする	家族の要望やケアマネジャー (介護支援専門員)の計画どおりに利用する	なるべく使わない ようにする	わからない その他	無回答
全体(n=981)		16.2	26.6	47.1	3.7	2.3	1.4
性別	男性(n=316)	15.8	21.8	50.0	5.4	3.2	0.9
	女性(n=653)	16.4	28.9	45.9	2.9	2.0	1.7
要介護度別	要支援者(n=217)	15.2	37.3	35.9	3.7	2.3	2.3
	軽度者(n=485)	16.5	28.0	46.2	3.5	2.3	1.0
	中重度者(n=255)	16.9	14.9	60.0	3.5	2.4	1.2

2. 要支援・要介護認定者調査

サービス未利用者について

要介護度別にみると、要支援者は「なるべく使わないようにする」(34.1%)、中重度者は「介護保険料を支払っているのに、積極的に利用する」(18.8%)、「家族の要望やケアマネジャー(介護支援専門員)の計画どおりに利用する」(40.6%)が全体に比べ多くなっている。

■介護保険サービス利用についての考え(サービス未利用者)

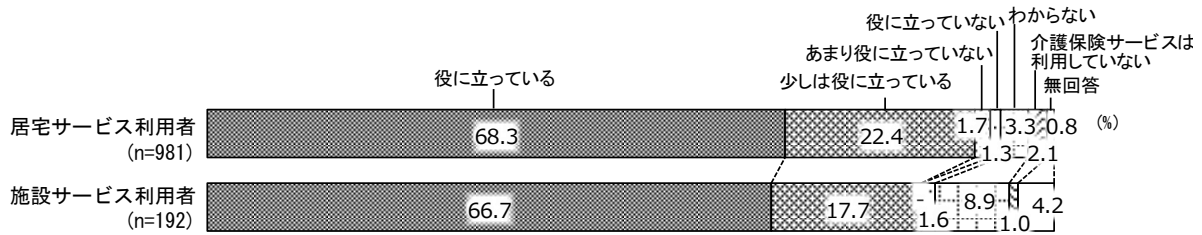
		(%)						
		用い介 する護 の保 で險 、料 積を 極支 的払 につ 利て	サがし自 ーでた分 ビき生の スる活望 利、む 用最を生 に低送活 す限るへ るのこ自 と立	用員ジ家 すーャ族 るのーの 計へ要 画介望 ど護や お支ケ り援ア に専マ 利門ネ	にな する るべ く使 わな いよ う	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体(n=294)		10.5	26.5	19.7	20.4	10.2	5.8	6.8
要介護度別	要支援者(n=123)	5.7	31.7	10.6	34.1	6.5	4.9	6.5
	軽度者(n=87)	11.5	34.5	17.2	13.8	10.3	5.7	6.9
	中重度者(n=64)	18.8	9.4	40.6	7.8	12.5	6.3	4.7

(2) 介護保険サービスは自らが望む生活を送るために役に立っているか (問8)

介護保険サービスは自らが望む生活を送るために役に立っているか聞いたところ、居宅サービス利用者は、「役に立っている」(68.3%)が最も多く、「少しは役に立っている」(22.4%)、「あまり役に立っていない」(1.7%)と続いている。「役に立っている」「少しは役に立っている」を合わせた“役に立っている”は90.7%となっている。

施設サービス利用者は、「役に立っている」(66.7%)が最も多く、「少しは役に立っている」(17.7%)、「役に立っていない」(1.6%)と続いている。“役に立っている”は84.4%となっている。

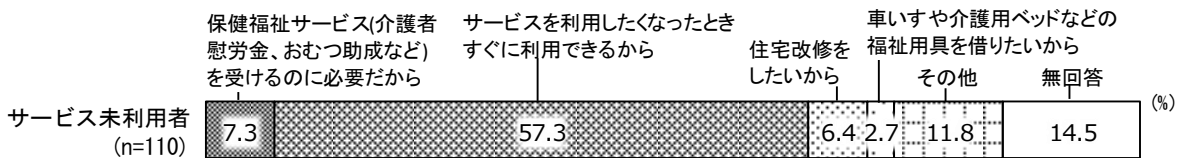
■介護保険サービスは自らが望む生活を送るために役に立っているか



(3) 要介護認定の申請をしようと思った理由 (問8-1)

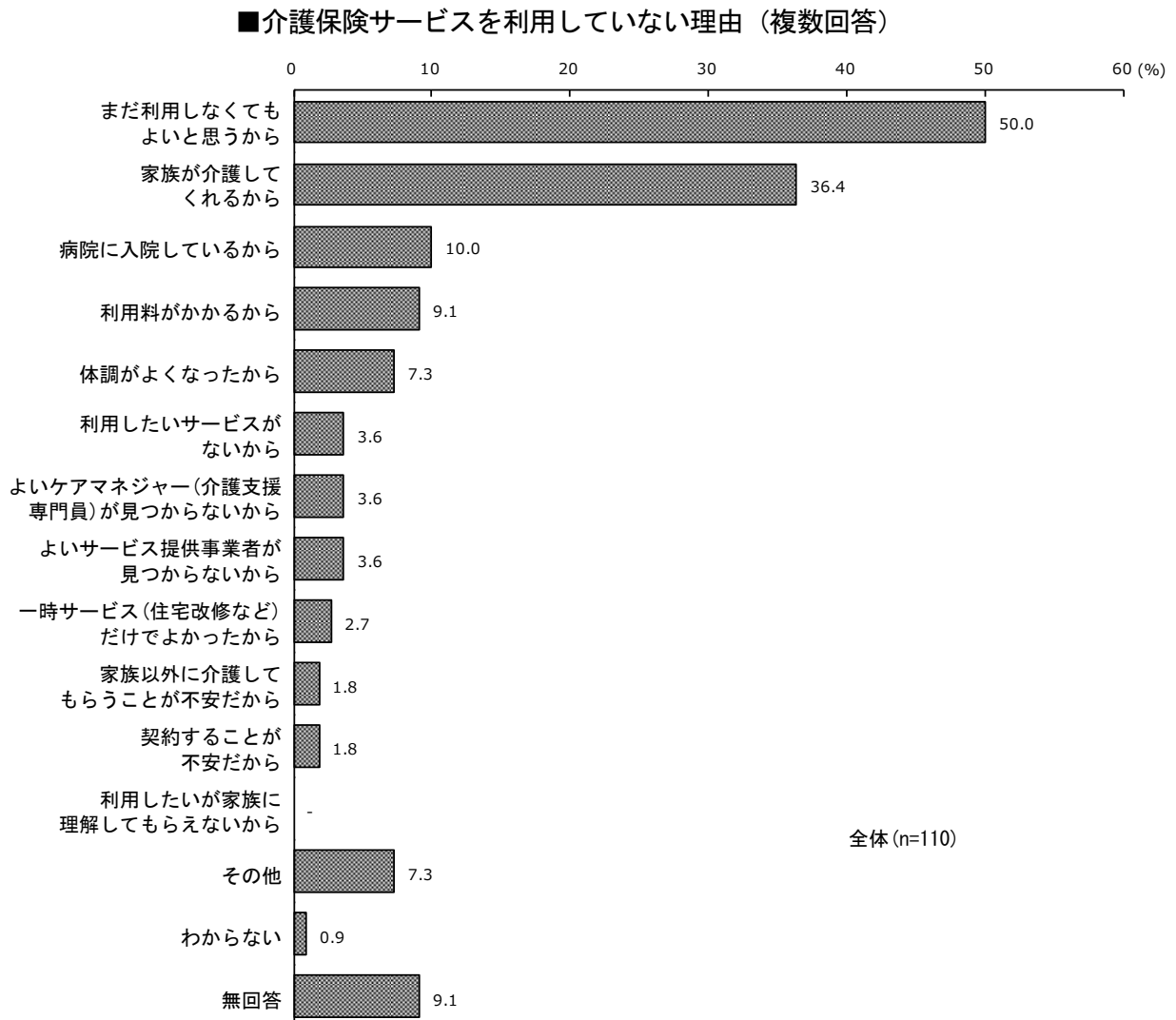
「介護保険サービスは利用していない」と回答した人に要介護認定の申請をしようと思った理由を聞いたところ、「サービスを利用したくなったときすぐに利用できるから」(57.3%)が最も多く、「保健福祉サービス(介護者慰労金、おむつ助成など)を受けるのに必要だから」(7.3%)、「住宅改修をしたいから」(6.4%)と続いている。

■要介護認定の申請をしようと思った理由



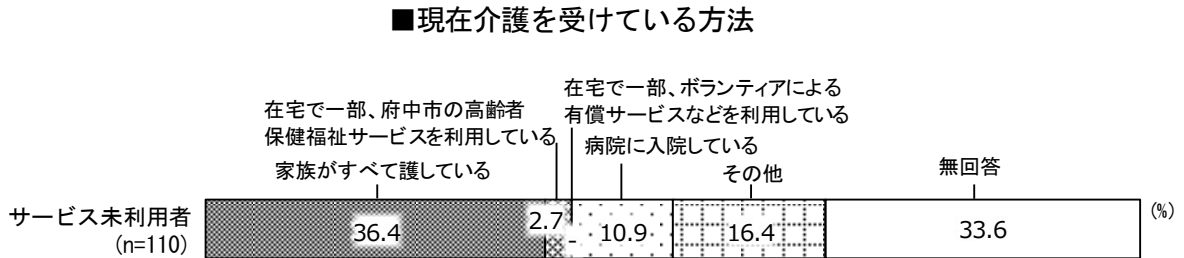
(4) 介護保険サービスを利用していない理由（問8-2）

「介護保険サービスは利用していない」と回答した人に介護保険サービスを利用していない理由を聞いたところ、「まだ利用しなくてもよいと思うから」（50.0%）が最も多く、「家族が介護してくれるから」（36.4%）、「病院に入院しているから」（10.0%）と続いている。



(5) 現在介護を受けている方法 (問8-3)

「介護保険サービスは利用していない」と回答した人に現在介護を受けている方法を聞いたところ、「家族がすべて介護している」(36.4%)が最も多く、「病院に入院している」(10.9%)、「在宅で一部、府中市の高齢者保健福祉サービスを利用している」(2.7%)と続いている。

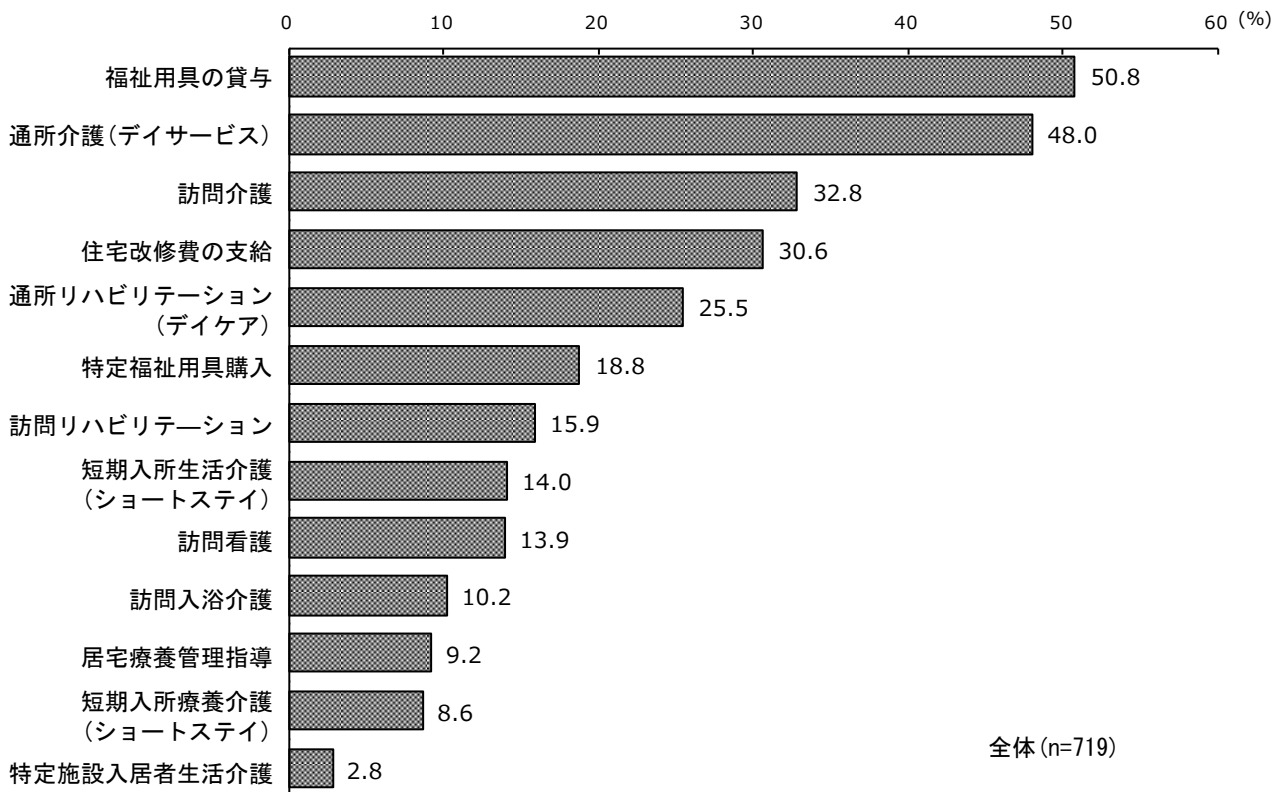


(6) 介護保険サービスの利用状況、満足度 (問9)

居宅サービスの利用状況、満足度

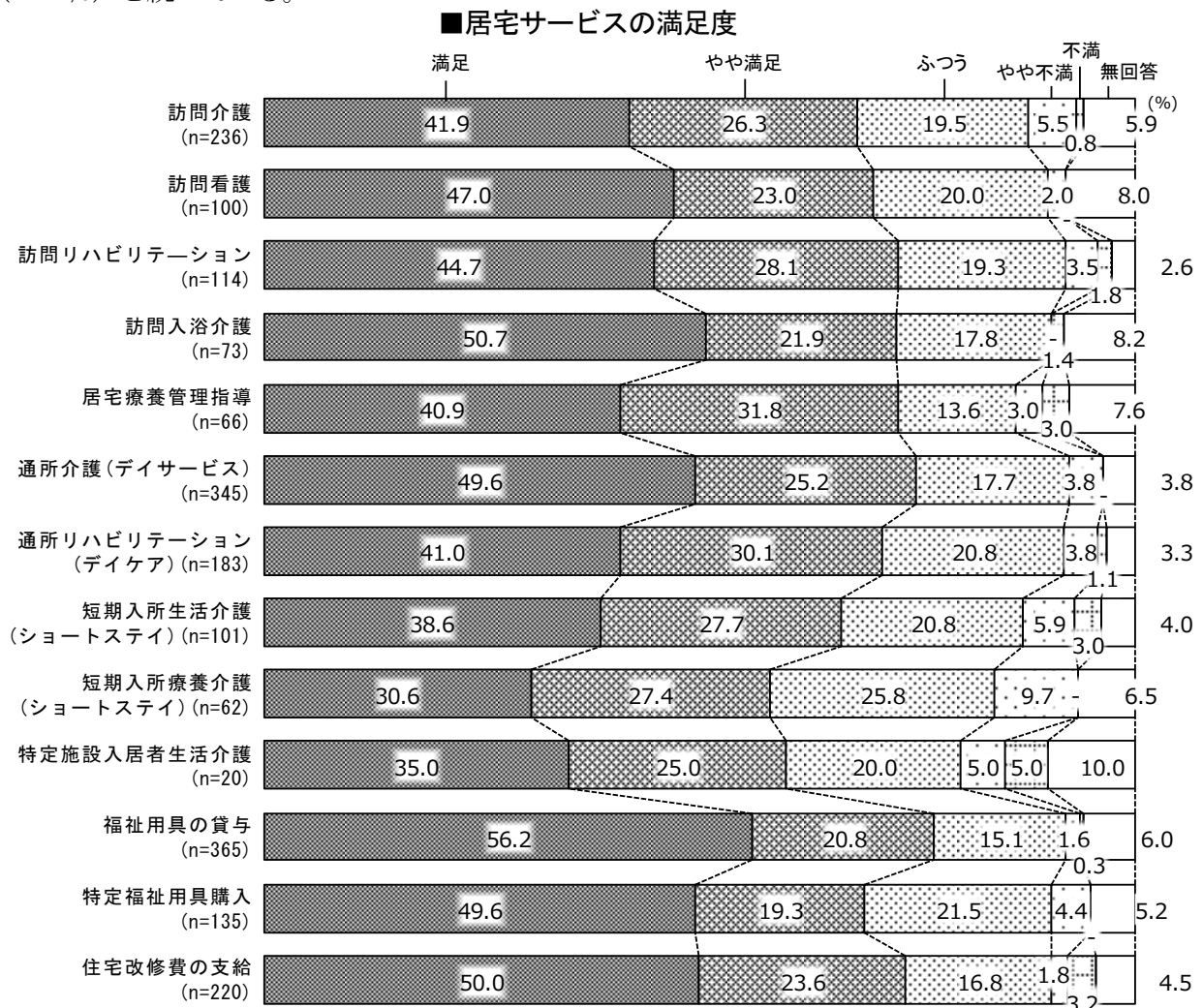
居宅サービスの利用状況は「福祉用具の貸与」(50.8%)が最も多く、「通所介護(デイサービス)」(48.0%)、「訪問介護」(32.8%)と続いている。

■居宅サービスの利用状況 (複数回答) (※いずれかの居宅サービスを利用している人のみ集計)



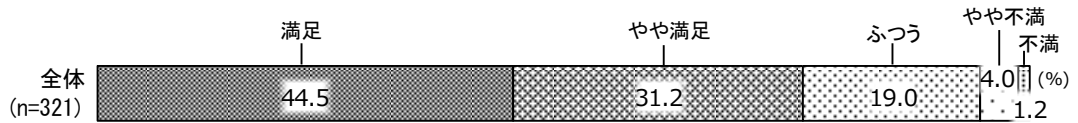
2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービスの満足度について、「満足」「やや満足」を合わせた“満足”は、『福祉用具の貸与』（77.0%）が最も多く、『通所介護（デイサービス）』（74.8%）、『住宅改修費の支給』（73.6%）と続いている。



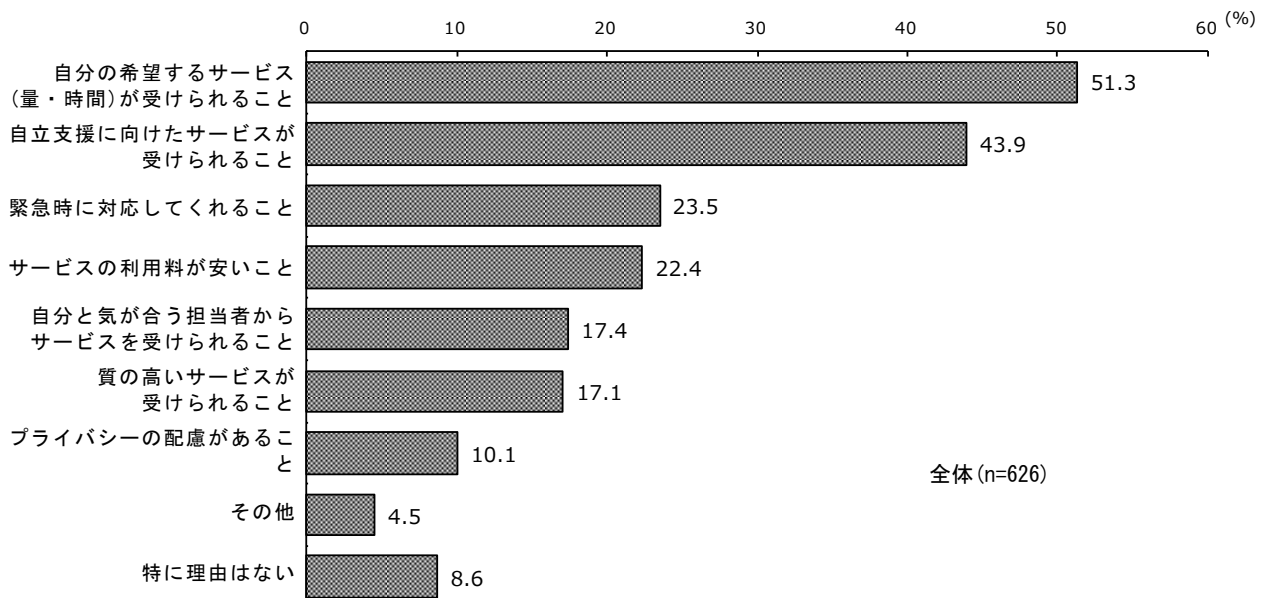
居宅サービス全体の総合的な満足度は、「満足」(44.5%)が最も多く、「やや満足」(31.2%)、「ふつう」(19.0%)と続いている。「満足」は75.7%となっている。

■居宅サービス全体の総合的な満足度(※総合的な満足度を回答した人のみ集計)



居宅サービス全体の総合的な満足度の回答基準は、「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(51.3%)が最も多く、「自立支援に向けたサービスが受けられること」(43.9%)、「緊急時に対応してくれること」(23.5%)と続いている。

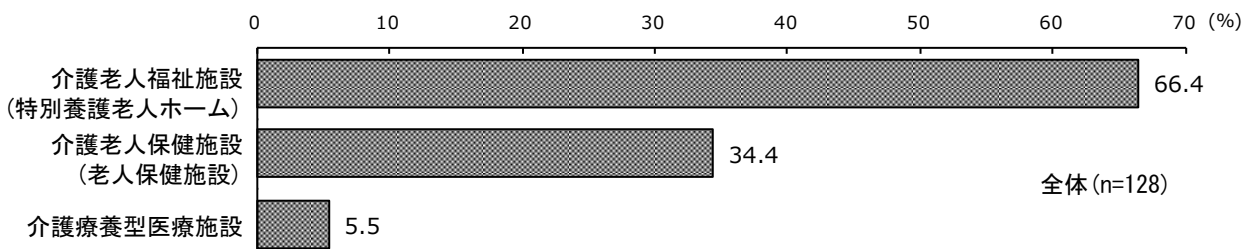
■居宅サービス全体の総合的な満足度の基準(複数回答)(※基準を回答した人のみ集計)



施設サービスの利用状況、満足度

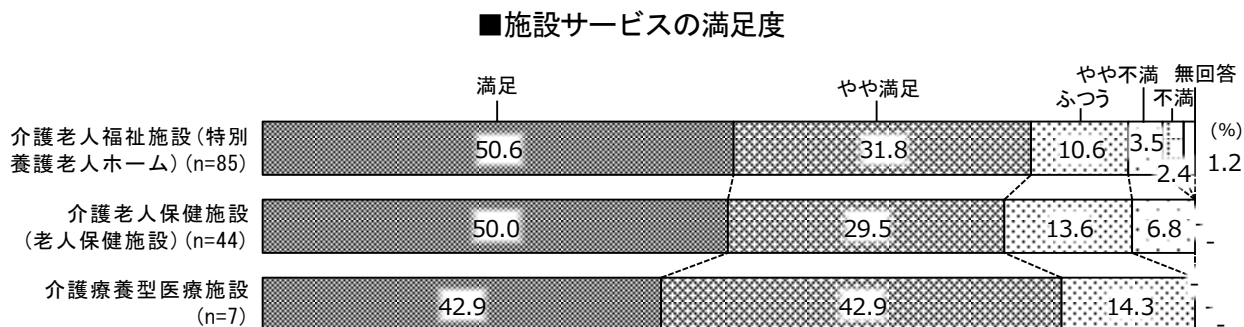
施設サービスの利用状況は、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」(66.4%)が最も多く、「介護老人保健施設(老人保健施設)」(34.4%)、「介護療養型医療施設」(5.5%)と続いている。

■施設サービスの利用状況(複数回答)(※いずれかの施設サービスを利用している人のみ集計)



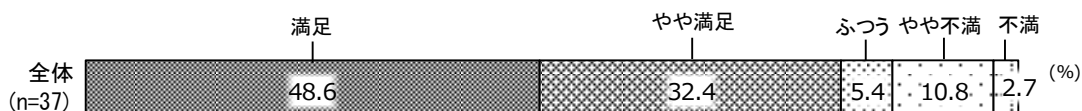
2. 要支援・要介護認定者調査

施設サービスの満足度について、“満足”は、『介護療養型医療施設』（85.8%）が最も多く、『介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）』（82.4%）、『介護老人保健施設（老人保健施設）』（79.5%）と続いている。



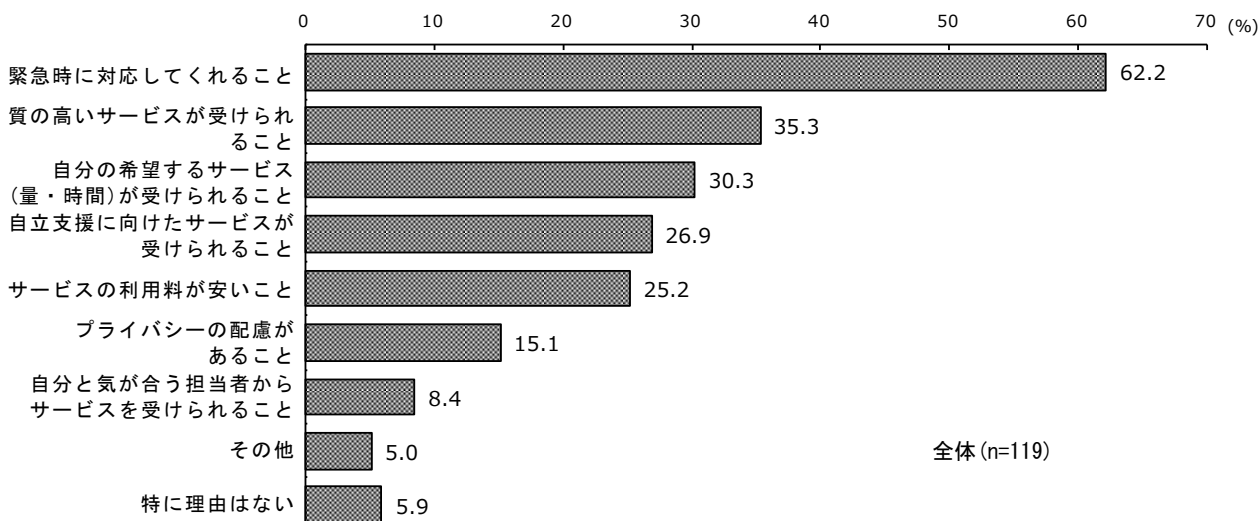
施設サービス全体の総合的な満足度は、「満足」（48.6%）が最も多く、「やや満足」（32.4%）、「やや不満」（10.8%）と続いている。“満足”は81.0%となっている。

■施設サービス全体の総合的な満足度（※総合的な満足度を回答した人のみ集計）



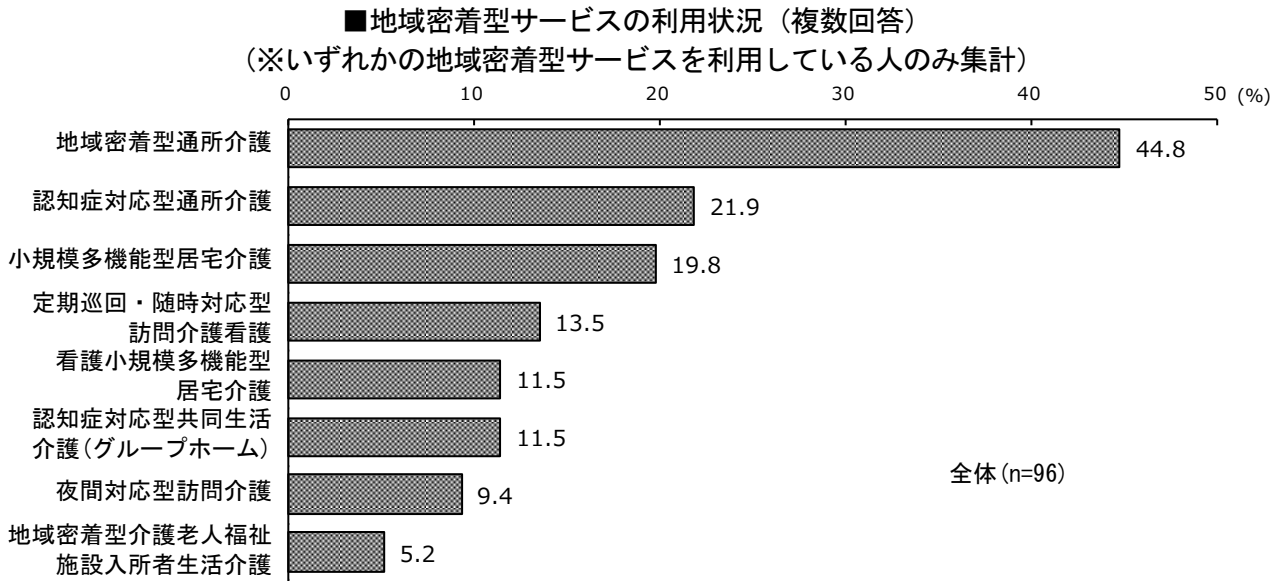
施設サービス全体の総合的な満足度の回答基準は、「緊急時に対応してくれること」（62.2%）が最も多く、「質の高いサービスが受けられること」（35.3%）、「自分の希望するサービス（量・時間）が受けられること」（30.3%）と続いている。

■施設サービス全体の総合的な満足度の基準（複数回答）（※基準を回答した人のみ集計）

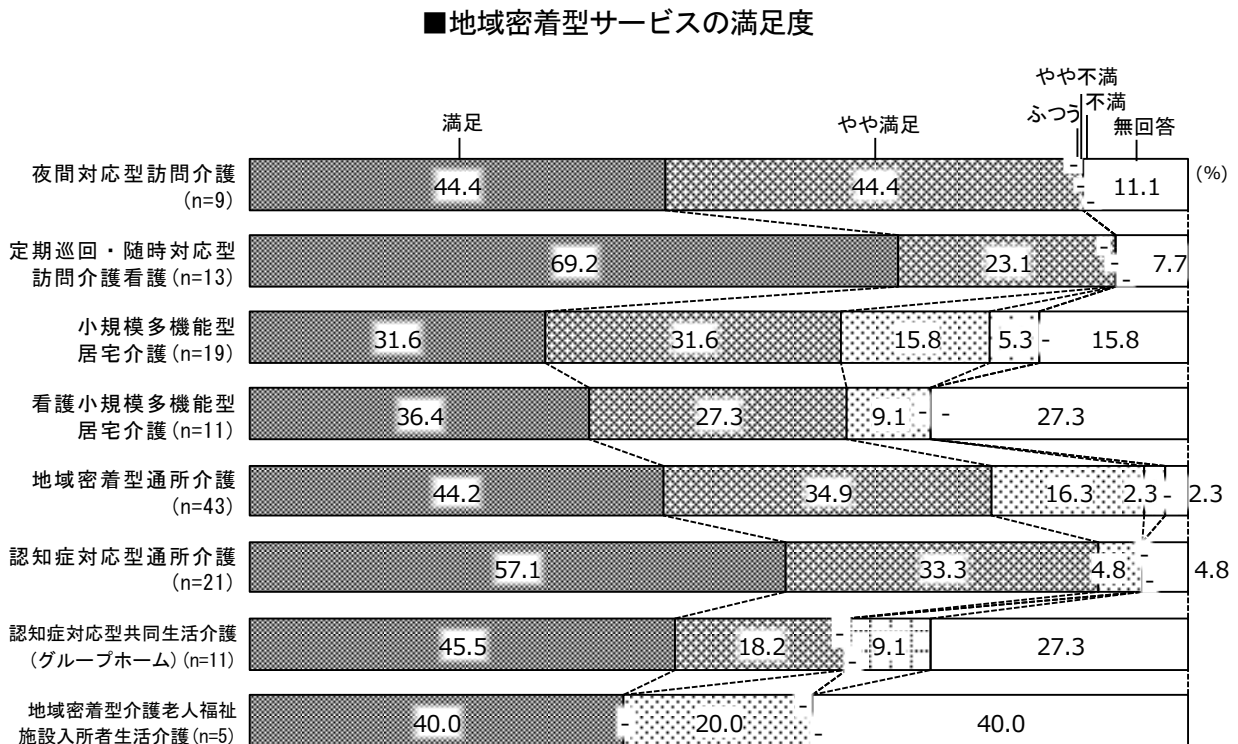


地域密着型サービスの利用状況、満足度

地域密着型サービスの利用状況は、「地域密着型通所介護」（44.8%）が最も多く、「認知症対応型通所介護」（21.9%）、「小規模多機能型居宅介護」（19.8%）と続いている。



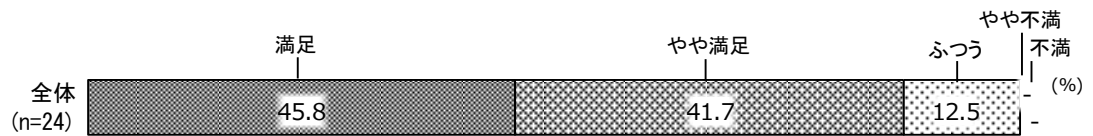
地域密着型サービスの満足度について、“満足”は、『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』（92.3%）が最も多く、『認知症対応型通所介護』（90.4%）、『夜間対応型訪問介護』（88.8%）と続いている。



2. 要支援・要介護認定者調査

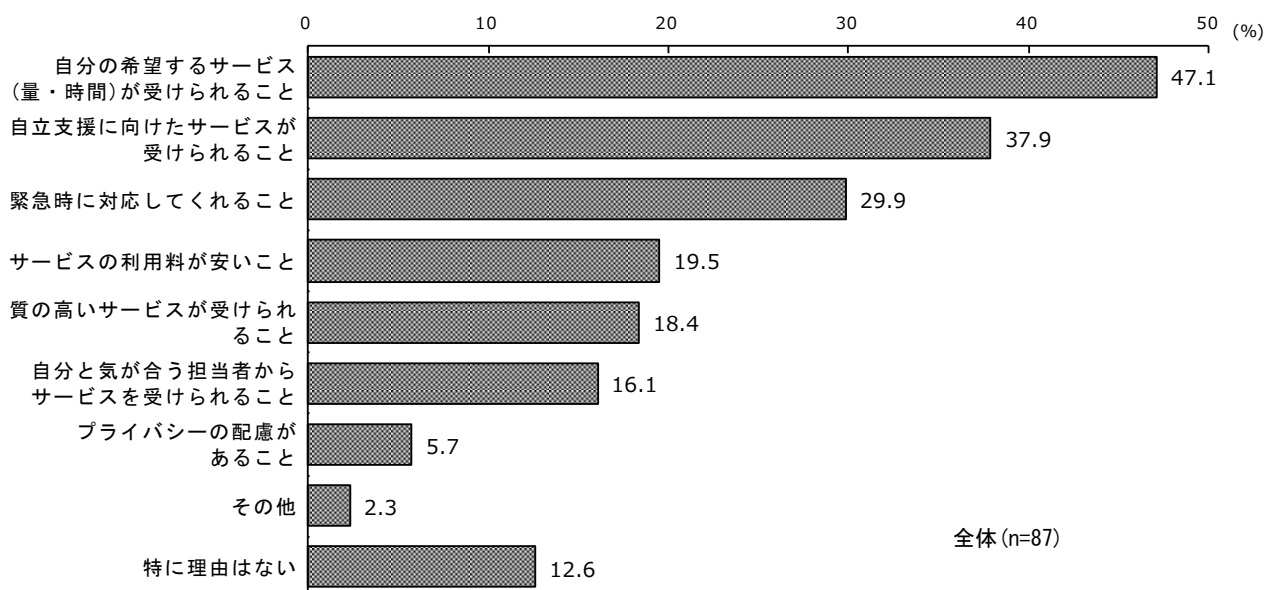
地域密着型サービス全体の総合的な満足度は、「満足」(45.8%)が最も多く、「やや満足」(41.7%)、「ふつう」(12.5%)と続いている。「満足」は87.5%となっている。

■地域密着型サービス全体の総合的な満足度（※総合的な満足度を回答した人のみ集計）



地域密着型サービス全体の総合的な満足度の回答基準は、「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(47.1%)が最も多く、「自立支援に向けたサービスが受けられること」(37.9%)、「緊急時に対応してくれること」(29.9%)と続いている。

■地域密着型サービス全体の総合的な満足度の基準（複数回答）（※基準を回答した人のみ集計）



(7) 自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス (問 10)

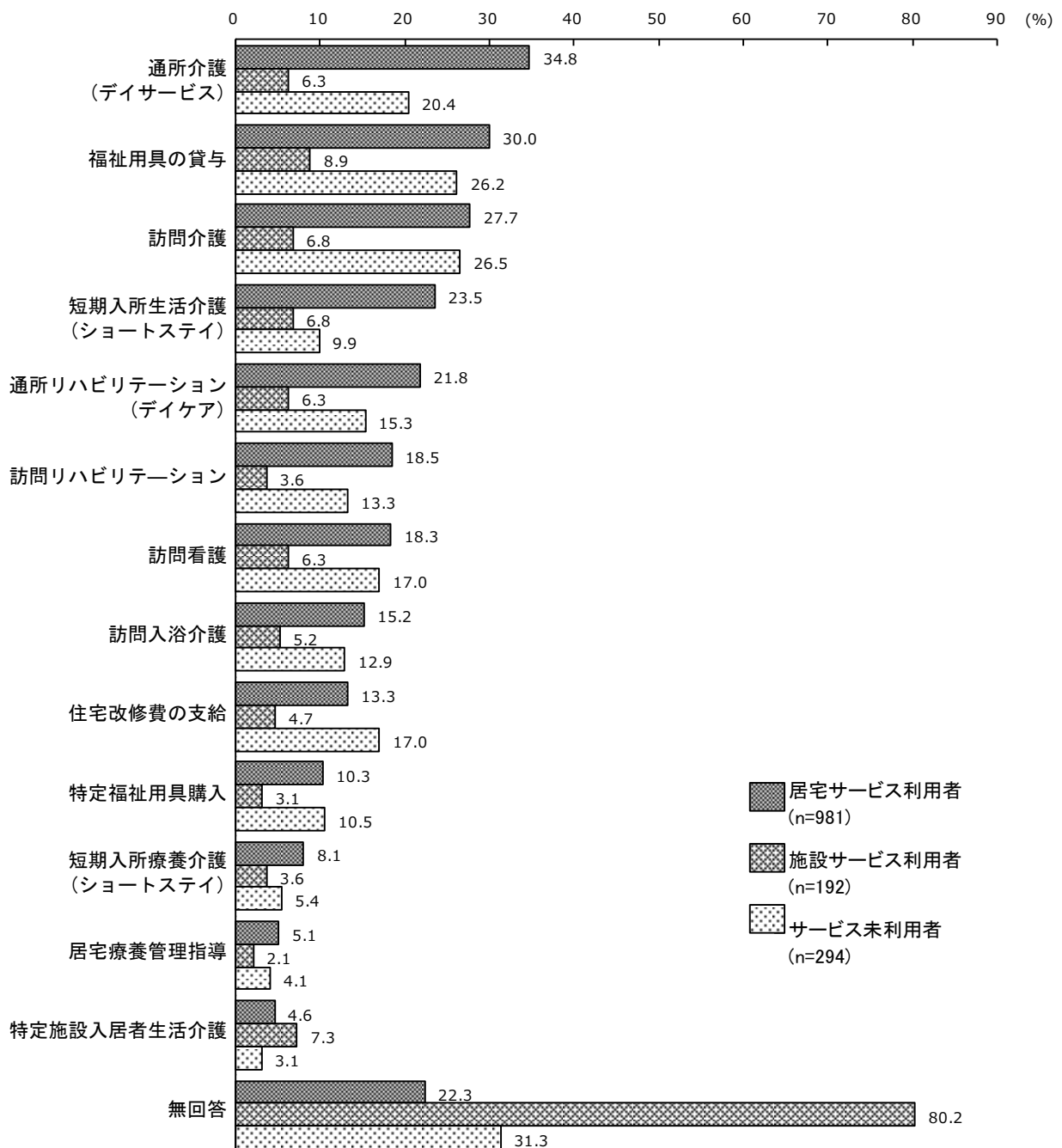
自らが望む生活を送るために今後利用したい居宅サービス

自らが望む生活を送るために今後利用したい居宅サービスは、居宅サービス利用者は、「通所介護(デイサービス)」(34.8%)が最も多く、「福祉用具の貸与」(30.0%)、「訪問介護」(27.7%)と続いている。

施設サービス利用者は、「福祉用具の貸与」(8.9%)が最も多く、「特定施設入居者生活介護」(7.3%)、「訪問介護」と「短期入所生活介護(ショートステイ)」(ともに6.8%)と続いている。

サービス未利用者は、「訪問介護」(26.5%)が最も多く、「福祉用具の貸与」(26.2%)、「通所介護(デイサービス)」(20.4%)と続いている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス (居宅サービス) (複数回答)



2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、中重度者はいずれの介護サービスも全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第2地区は「福祉用具の貸与」（38.6%）、「訪問介護」（34.5%）が全体に比べ多くなっている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス（居宅サービス）（複数回答） （居宅サービス利用者）

		(%)													
		通所介護（デイサービス）	福祉用具の貸与	訪問介護	短期入所生活介護（ショートステイ）	通所リハビリテーション（デイケア）	訪問リハビリテーション	訪問看護	訪問入浴介護	住宅改修費の支給	特定福祉用具購入	短期入所療養介護（ショートステイ）	居宅療養管理指導	介護特定施設入居者生活	無回答
全体(n=981)		34.8	30.0	27.7	23.5	21.8	18.5	18.3	15.2	13.3	10.3	8.1	5.1	4.6	22.3
要介護度別	要支援者(n=217)	28.6	22.6	28.6	10.6	20.7	14.3	13.4	9.7	11.5	8.8	4.6	6.5	5.5	27.6
	軽度者(n=485)	35.3	27.4	24.7	24.1	20.8	16.5	16.9	14.0	10.9	8.2	8.7	3.7	3.5	21.0
	中重度者(n=255)	40.0	42.0	33.7	35.3	24.3	26.7	26.3	23.5	20.0	16.5	10.6	6.3	6.3	18.4
地区別	第1地区(n=173)	39.9	32.4	27.7	26.0	19.1	18.5	19.1	17.3	16.2	11.0	10.4	4.0	3.5	18.5
	第2地区(n=171)	36.3	38.6	34.5	20.5	27.5	22.8	22.8	20.5	13.5	14.6	5.8	6.4	5.8	20.5
	第3地区(n=194)	29.4	32.0	28.9	27.3	19.6	14.9	18.0	14.4	12.9	11.3	7.7	4.6	2.1	21.6
	第4地区(n=127)	30.7	26.0	27.6	21.3	22.0	20.5	22.0	15.0	9.4	5.5	6.3	3.1	3.9	26.8
	第5地区(n=142)	33.1	26.1	23.9	21.8	21.8	21.1	16.2	11.3	12.0	7.7	8.5	7.0	4.9	21.1
	第6地区(n=141)	41.8	28.4	23.4	26.2	24.1	15.6	12.8	12.8	15.6	12.1	11.3	5.7	7.8	21.3

サービス未利用者について

性別にみると、女性は「福祉用具の貸与」（31.4%）、「短期入所療養介護（ショートステイ）」（8.0%）が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、中重度者はほとんどの介護サービスが全体に比べ多くなっている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス（居宅サービス）（複数回答） （サービス未利用者）

		(%)													
		通所介護（デイサービス）	福祉用具の貸与	訪問介護	短期入所生活介護（ショートステイ）	通所リハビリテーション（デイケア）	訪問リハビリテーション	訪問看護	訪問入浴介護	住宅改修費の支給	特定福祉用具購入	短期入所療養介護（ショートステイ）	居宅療養管理指導	介護特定施設入居者生活	無回答
全体(n=294)		20.4	26.2	26.5	9.9	15.3	13.3	17.0	12.9	17.0	10.5	5.4	4.1	3.1	31.3
性別	男性(n=116)	19.0	18.1	24.1	6.9	11.2	11.2	20.7	11.2	13.8	6.9	1.7	3.4	3.4	33.6
	女性(n=175)	21.7	31.4	28.6	11.4	18.3	14.9	14.9	14.3	18.9	13.1	8.0	4.0	2.9	29.7
要介護度別	要支援者(n=123)	16.3	22.8	27.6	4.9	13.8	8.1	13.0	10.6	17.1	8.1	3.3	3.3	2.4	30.1
	軽度者(n=87)	21.8	32.2	28.7	10.3	13.8	17.2	19.5	13.8	12.6	10.3	2.3	1.1	2.3	25.3
	中重度者(n=64)	26.6	29.7	26.6	18.8	18.8	21.9	25.0	18.8	25.0	17.2	12.5	10.9	4.7	35.9

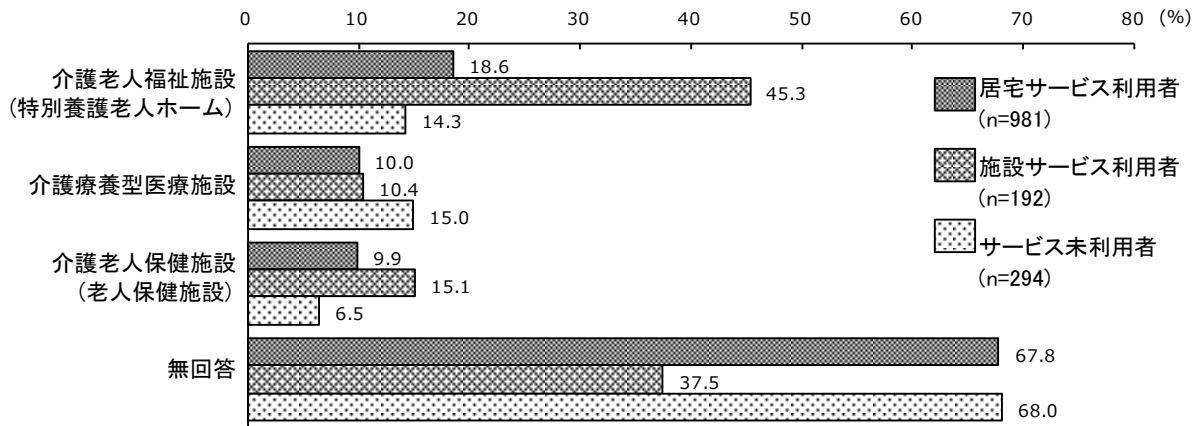
自らが望む生活を送るために今後利用したい施設サービス

自らが望む生活を送るために今後利用したい施設サービスは、居宅サービス利用者は「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」(18.6%)が最も多く、「介護療養型医療施設」(10.0%)、「介護老人保健施設(老人保健施設)」(9.9%)と続いている。

施設サービス利用者は、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」(45.3%)が最も多く、「介護老人保健施設(老人保健施設)」(15.1%)、「介護療養型医療施設」(10.4%)と続いている。

サービス未利用者は、「介護療養型医療施設」(15.0%)が最も多く、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」(14.3%)、「介護老人保健施設(老人保健施設)」(6.5%)と続いている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス（施設サービス）（複数回答）



居宅サービス利用者について

性別にみると、男性は「介護老人保健施設(老人保健施設)」(13.3%)が女性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、中重度者は「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」(29.4%)が全体に比べ多くなっている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス（施設サービス）（複数回答）
（居宅サービス利用者）

		介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護療養型医療施設	介護老人保健施設(老人保健施設)	無回答
全体(n=981)		18.6	10.0	9.9	67.8
性別	男性(n=316)	16.8	11.1	13.3	66.1
	女性(n=653)	19.6	9.6	8.4	68.1
要介護度別	要支援者(n=217)	13.4	12.4	10.6	70.0
	軽度者(n=485)	15.7	9.3	8.2	72.8
	中重度者(n=255)	29.4	9.8	13.3	54.5

サービス未利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「介護療養型医療施設」(25.0%)が全体に比べ多くなっている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス（施設サービス）（複数回答）
（サービス未利用者）

		介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護療養型医療施設	介護老人保健施設(老人保健施設)	無回答
全体(n=294)		14.3	15.0	6.5	68.0
要介護度別	要支援者(n=123)	13.8	14.6	7.3	65.9
	軽度者(n=87)	13.8	10.3	5.7	75.9
	中重度者(n=64)	15.6	25.0	7.8	57.8

2. 要支援・要介護認定者調査

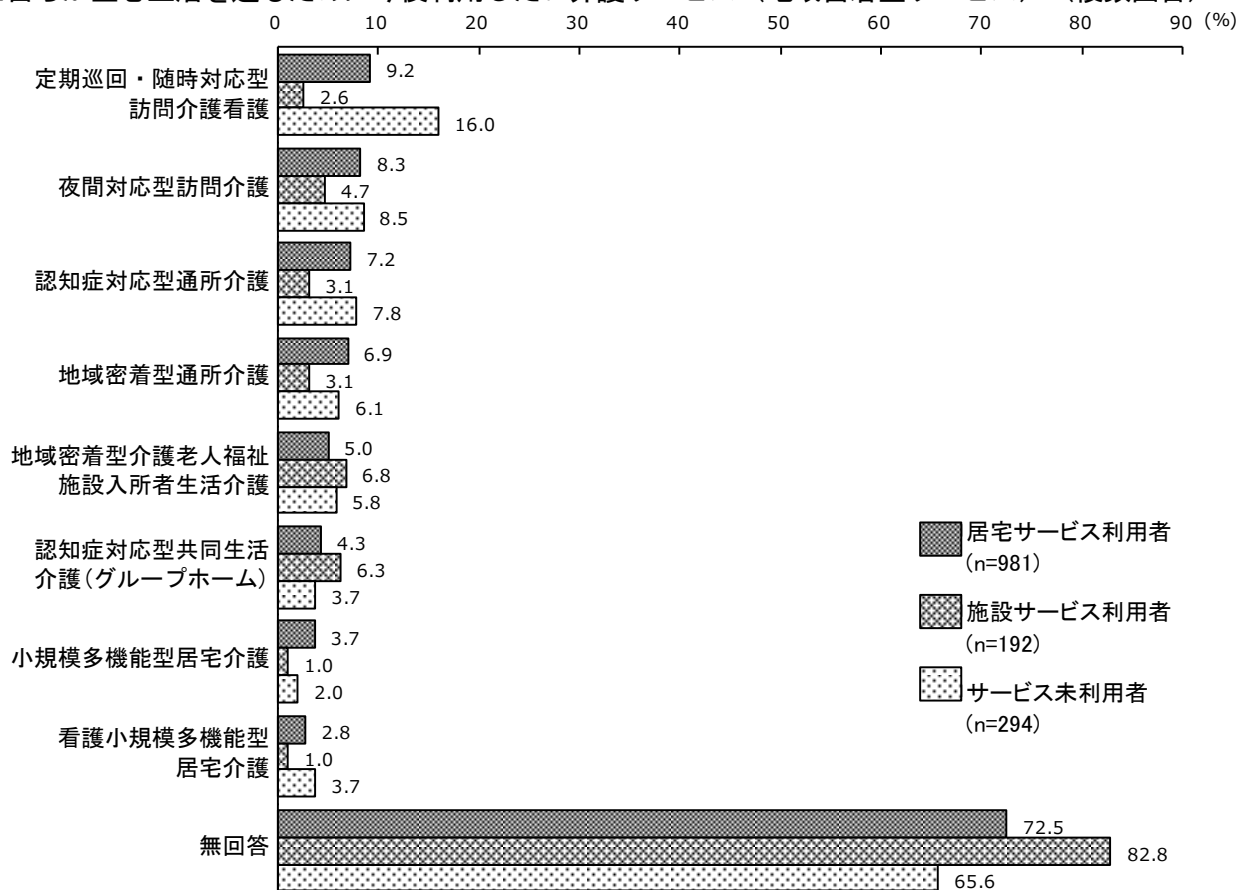
自らが望む生活を送るために今後利用したい地域密着型サービス

自らが望む生活を送るために今後利用したい地域密着型サービスは、居宅サービス利用者は「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（9.2%）が最も多く、「夜間対応型訪問介護」（8.3%）、「認知症対応型通所介護」（7.2%）と続いている。

施設サービス利用者は、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」（6.8%）が最も多く、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」（6.3%）、「夜間対応型訪問介護」（4.7%）と続いている。

サービス未利用者は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（16.0%）が最も多く、「夜間対応型訪問介護」（8.5%）、「認知症対応型通所介護」（7.8%）と続いている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス（地域密着型サービス）（複数回答）



居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、要支援者は「地域密着型通所介護」（10.6%）、中重度者は「認知症対応型通所介護」（10.6%）、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」（7.5%）が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第4地区は「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」（9.4%）が全体に比べ多くなっている。

■自らが望む生活を送るために今後利用したい介護サービス（地域密着型サービス）（複数回答） （居宅サービス利用者）

		介時定期 看護対応 巡回型 訪問・問	問夜 介間 護対 応型 訪	通認 所知 介症 対 応型	所地 介域 密 着 型 通	介設 護入 所老 者密 福着 祉型 活施 介	ホー ム グ ル ー プ 介 護	共 同 生 活 対 応 型	認 知 症 対 応 型	型小 居規 宅模 介多 護機 能	護機 能 型 小 居 宅 模 介 多	無 回 答	(%)
全体(n=981)		9.2	8.3	7.2	6.9	5.0	4.3	3.7	2.8	72.5			
要介護度別	要支援者(n=217)	11.1	9.2	6.0	10.6	5.5	3.7	2.8	3.7	70.0			
	軽度者(n=485)	9.1	7.4	6.4	4.5	4.9	3.1	3.5	2.1	74.2			
	中重度者(n=255)	8.2	9.8	10.6	8.6	4.7	7.5	4.7	3.5	69.8			
地区別	第1地区(n=173)	10.4	9.8	11.0	6.4	3.5	4.6	4.6	4.0	68.8			
	第2地区(n=171)	9.9	8.2	4.7	7.6	2.3	4.1	3.5	1.2	76.0			
	第3地区(n=194)	6.7	5.2	5.2	5.7	5.2	4.1	2.6	3.1	77.3			
	第4地区(n=127)	11.8	11.0	5.5	10.2	9.4	4.7	3.9	1.6	66.9			
	第5地区(n=142)	7.0	4.2	8.5	4.2	4.9	4.2	2.8	2.1	75.4			
	第6地区(n=141)	11.3	12.1	9.9	8.5	5.0	4.3	5.7	4.3	66.7			

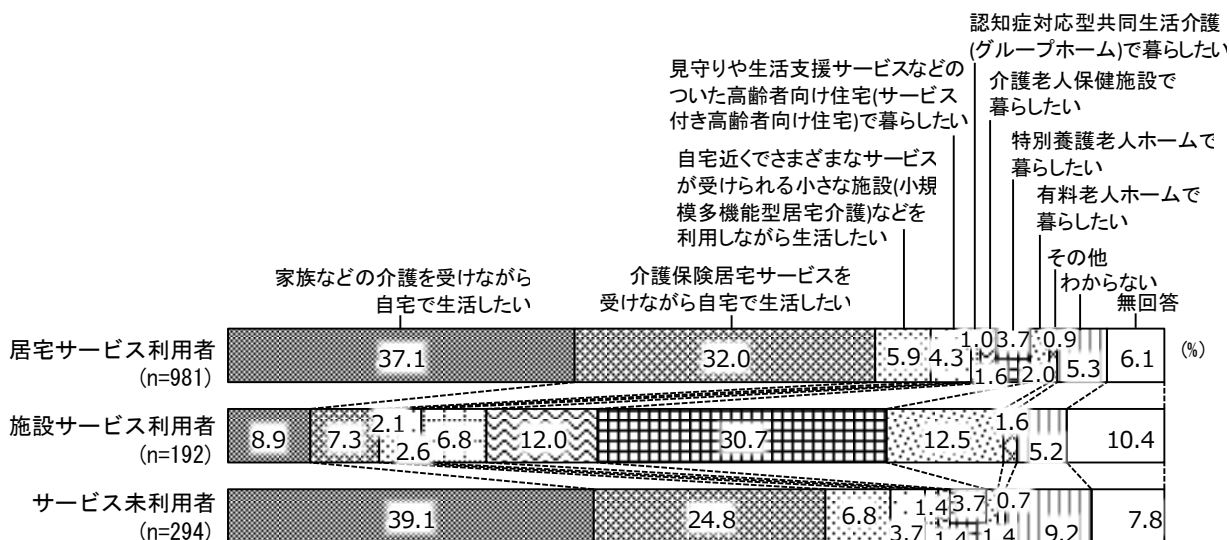
(8) 今後生活したいところ (問11)

今後生活したいところは、居宅サービス利用者は「家族などの介護を受けながら自宅で生活したい」(37.1%)が最も多く、「介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活したい」(32.0%)、「自宅近くでさまざまなサービスが受けられる小さな施設(小規模多機能型居宅介護)などを利用しながら生活したい」(5.9%)と続いている。

施設サービス利用者は、「特別養護老人ホームで暮らしたい」(30.7%)が最も多く、「有料老人ホームで暮らしたい」(12.5%)、「介護老人保健施設で暮らしたい」(12.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「家族などの介護を受けながら自宅で生活したい」(39.1%)が最も多く、「介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活したい」(24.8%)、「自宅近くでさまざまなサービスが受けられる小さな施設(小規模多機能型居宅介護)などを利用しながら生活したい」(6.8%)と続いている。

■今後生活したいところ



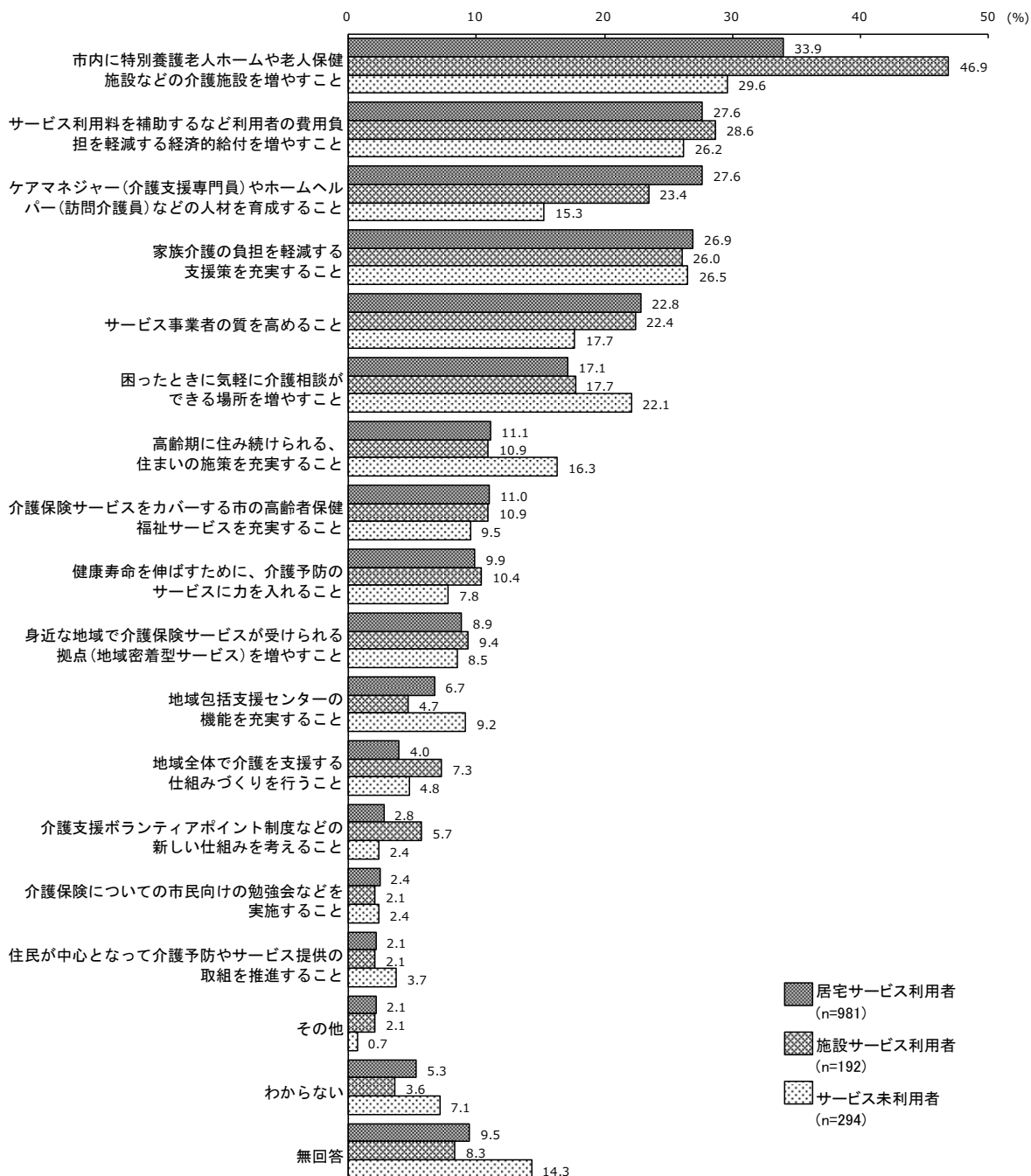
(9) 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (問 12)

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、居宅サービス利用者は「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」(33.9%)が最も多く、「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」と「ケアマネジャー(介護支援専門員)やホームヘルパー(訪問介護員)などの人材を育成すること」(ともに27.6%)、「家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること」(26.9%)と続いている。

施設サービス利用者は、「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」(46.9%)が最も多く、「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」(28.6%)、「家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること」(26.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」(29.6%)が最も多く、「家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること」(26.5%)、「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」(26.2%)と続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと (複数回答)



居宅サービス利用者について

性別にみると、男性は「介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること」(14.2%)が女性に比べ多く、女性は「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」(37.1%)、「身近な地域で介護保険サービスが受けられる拠点(地域密着型サービス)を増やすこと」(10.3%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「サービス事業者の質を高めること」(33.8%)が75歳以上に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「健康寿命を伸ばすために、介護予防のサービスに力を入れること」(15.7%)、中重度者は「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」(35.7%)、「家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること」(38.0%)、「サービス事業者の質を高めること」(29.4%)が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第1地区は「サービス事業者の質を高めること」(32.9%)、第2地区は「介護支援ボランティアポイント制度などの新しい仕組みを考えること」(6.4%)、第3地区は「介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること」(4.6%)が全体に比べ多くなっている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと(複数回答)(居宅サービス利用者)

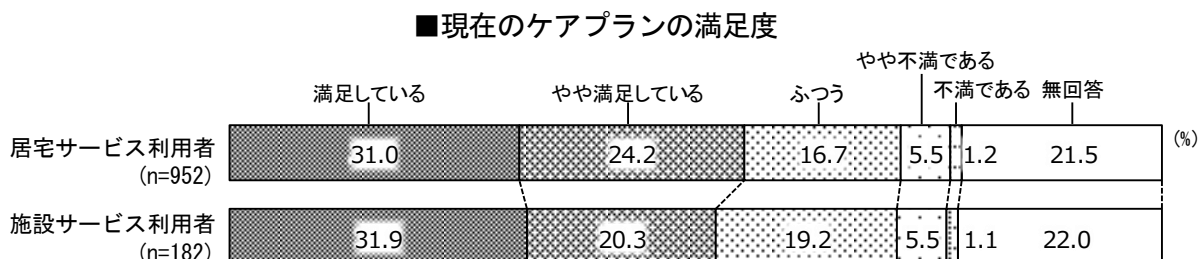
		(%)																	
		市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	介護保険サービスをカバーする市の高齢者保健福祉サービスを充実すること
全体(n=981)		33.9	27.6	27.6	26.9	22.8	17.1	11.1	11.0	9.9	8.9	6.7	4.0	2.8	2.4	2.1	2.1	5.3	9.5
性別	男性(n=316)	27.8	29.7	26.6	28.5	21.5	14.2	9.8	14.2	9.8	6.0	5.7	4.7	1.6	2.8	1.9	2.2	4.7	13.0
	女性(n=653)	37.1	26.6	28.3	26.3	23.7	18.4	11.8	9.5	9.6	10.3	7.4	3.4	3.4	2.1	2.1	2.1	5.7	7.5
年齢別	75歳以上(n=905)	33.3	27.1	27.6	27.2	22.0	17.6	11.0	10.9	9.5	9.1	7.2	4.0	2.8	2.4	2.1	2.3	5.3	9.5
	65～74歳(n=68)	42.6	35.3	29.4	25.0	33.8	11.8	13.2	13.2	14.7	7.4	1.5	2.9	2.9	1.5	2.9	0.0	5.9	5.9
要介護度別	要支援者(n=217)	31.8	21.7	28.1	16.1	18.0	20.3	12.4	9.2	15.7	12.0	9.7	4.1	3.2	0.9	1.4	0.5	6.0	11.5
	軽度者(n=485)	33.4	26.6	28.2	26.8	22.1	17.7	10.5	11.5	8.2	8.7	7.2	2.7	2.7	2.5	2.9	5.8	9.5	
	中重度者(n=255)	38.0	35.7	27.5	38.0	29.4	12.2	11.8	12.2	7.1	6.7	3.5	5.9	2.7	3.1	2.0	2.4	3.9	5.5
地区別	第1地区(n=173)	33.5	24.3	28.3	24.3	32.9	19.7	12.1	12.7	6.4	6.9	8.7	4.0	0.6	3.5	1.2	2.3	6.4	6.4
	第2地区(n=171)	32.7	25.1	27.5	28.1	25.1	18.1	7.0	7.6	9.4	12.9	8.8	6.4	6.4	1.8	2.9	1.2	6.4	9.4
	第3地区(n=194)	36.6	31.4	29.9	25.8	17.5	12.4	10.8	11.3	10.3	10.3	5.7	3.1	1.5	4.6	2.1	3.1	6.7	6.7
	第4地区(n=127)	30.7	22.8	24.4	23.6	20.5	18.9	11.8	13.4	11.8	7.9	5.5	3.1	2.4	2.4	3.9	2.4	2.4	15.0
	第5地区(n=142)	36.6	31.7	26.8	28.9	20.4	17.6	12.0	12.7	12.0	7.7	5.6	2.1	0.7	1.4	1.4	1.4	3.5	7.7
	第6地区(n=141)	34.0	32.6	30.5	31.2	23.4	17.7	14.2	8.5	12.1	5.7	7.1	2.8	3.5	0.7	2.1	2.1	5.0	10.6

6 利用者本位のサービスのあり方について

(1) 現在のケアプランの満足度（問13）

現在のケアプランの満足度は、居宅サービス利用者は「満足している」（31.0%）が最も多く、「やや満足している」（24.2%）、「ふつう」（16.7%）と続いている。「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”は55.2%となっている。

施設サービス利用者は、「満足している」（31.9%）が最も多く、「やや満足している」（20.3%）、「ふつう」（19.2%）と続いている。“満足している”は52.2%となっている。



施設サービス利用者について

性別にみると、男性は“満足している”（39.2%）が女性に比べ少なくなっている。

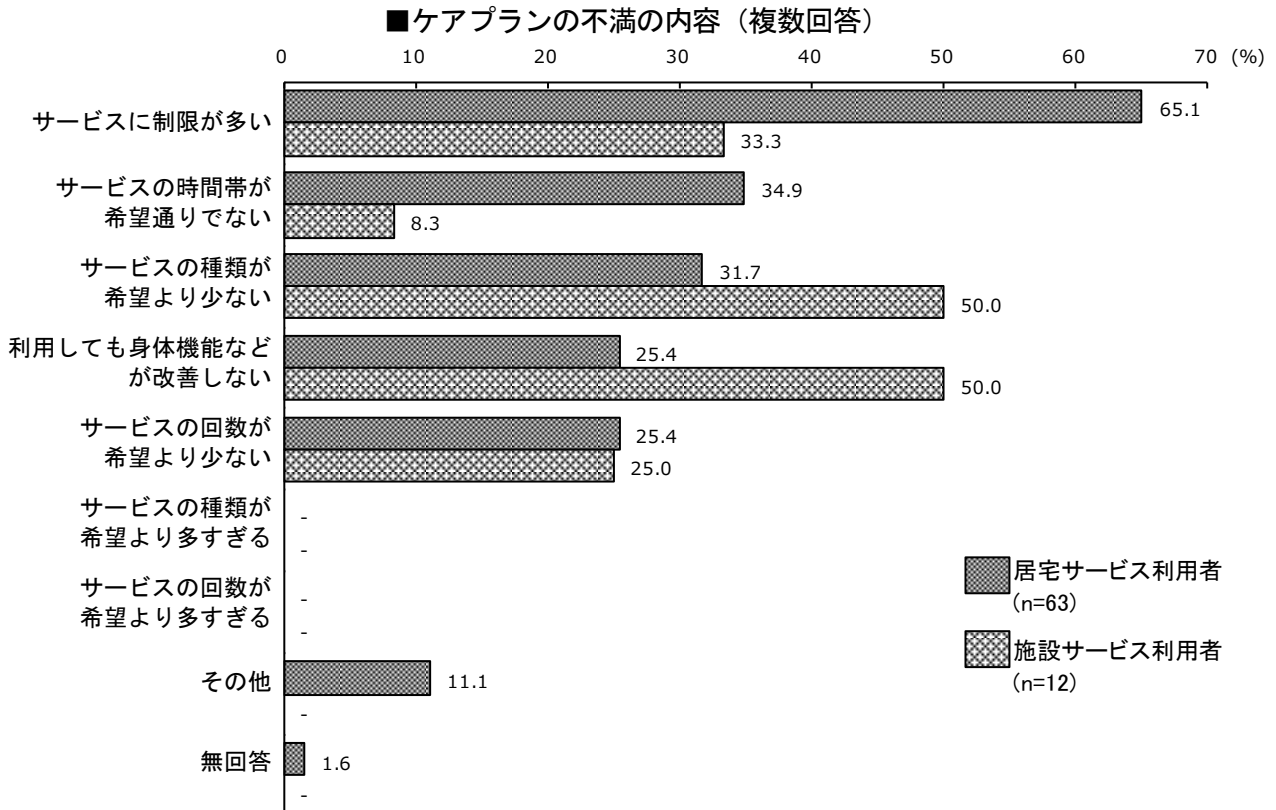
■現在のケアプランの満足度施設サービス利用者

		(%)					
		い満	しや	ふ	でや	る不	無
		る足	てや	つ	あや	不	回
		して	い満	う	る不	満	答
			る足		る不	あ	
全体(n=182)		31.9	20.3	19.2	5.5	1.1	22.0
性別	男性(n=46)	19.6	19.6	19.6	6.5	0.0	34.8
	女性(n=136)	36.0	20.6	19.1	5.1	1.5	17.6

(2) ケアプランの不满の内容 (問 13-1)

「やや不満である」「不満である」と回答した人にケアプランの不满の内容を聞いたところ、居宅サービス利用者は「サービスに制限が多い」(65.1%)が最も多く、「サービスの時間帯が希望通りでない」(34.9%)、「サービスの種類が希望より少ない」(31.7%)と続いている。

施設サービス利用者は、「サービスの種類が希望より少ない」と「利用しても身体機能などが改善しない」(ともに50.0%)が最も多く、「サービスに制限が多い」(33.3%)、「サービスの回数が希望より少ない」(25.0%)と続いている。

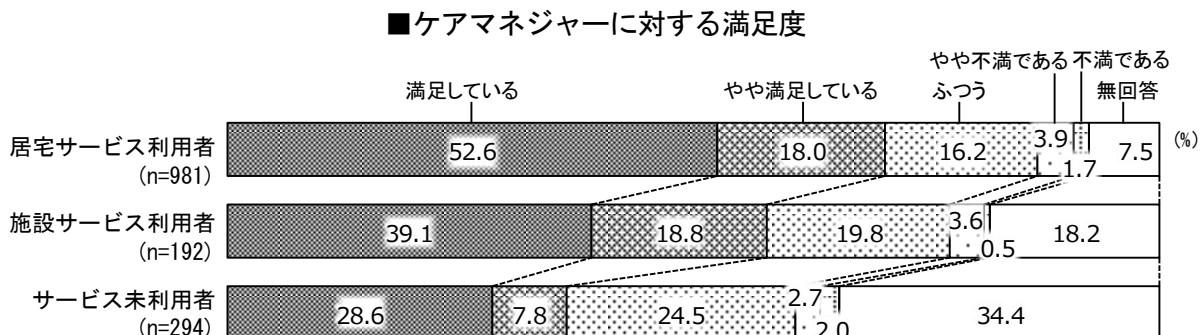


(3) ケアマネジャー (介護支援専門員) に対する満足度 (問 14)

ケアマネジャーに対する満足度は、居宅サービス利用者は「満足している」(52.6%)が最も多く、「やや満足している」(18.0%)、「ふつう」(16.2%)と続いている。「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”は70.6%となっている。

施設サービス利用者は、「満足している」(39.1%)が最も多く、「ふつう」(19.8%)、「やや満足している」(18.8%)と続いている。“満足している”は57.9%となっている。

サービス未利用者は、「満足している」(28.6%)が最も多く、「ふつう」(24.5%)、「やや満足している」(7.8%)と続いている。“満足している”は36.4%となっている。

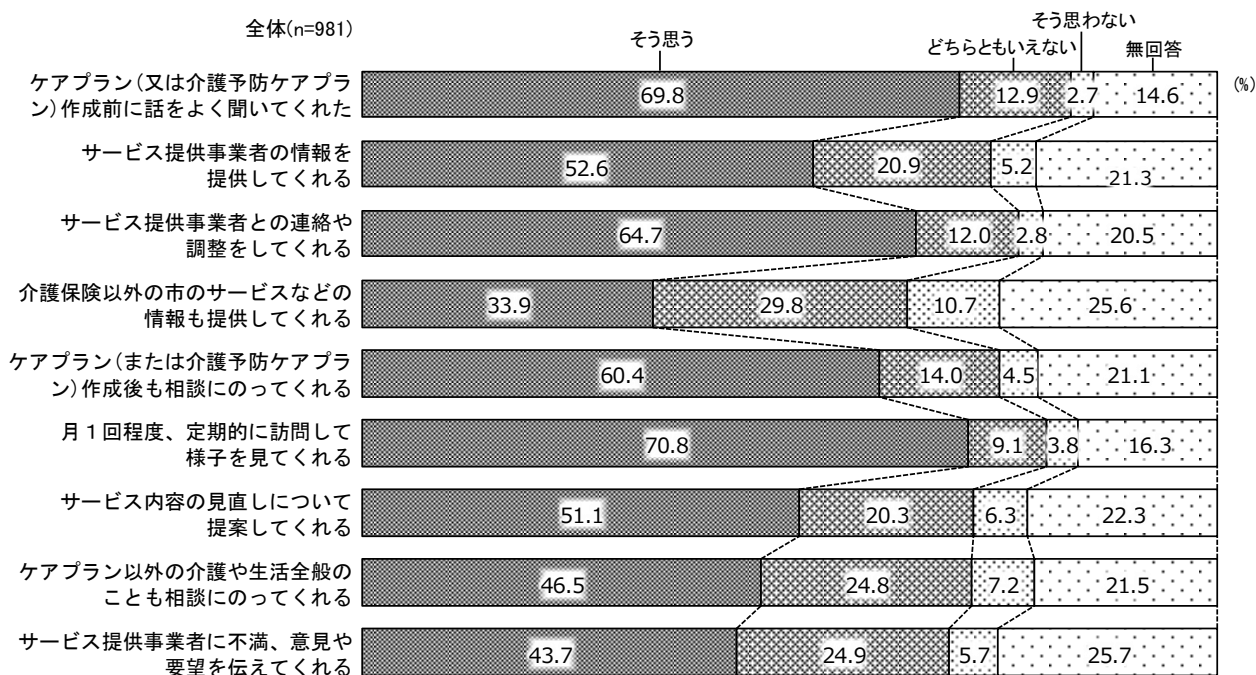


2. 要支援・要介護認定者調査

(4) ケアマネジャー（介護支援専門員）の評価（問15）

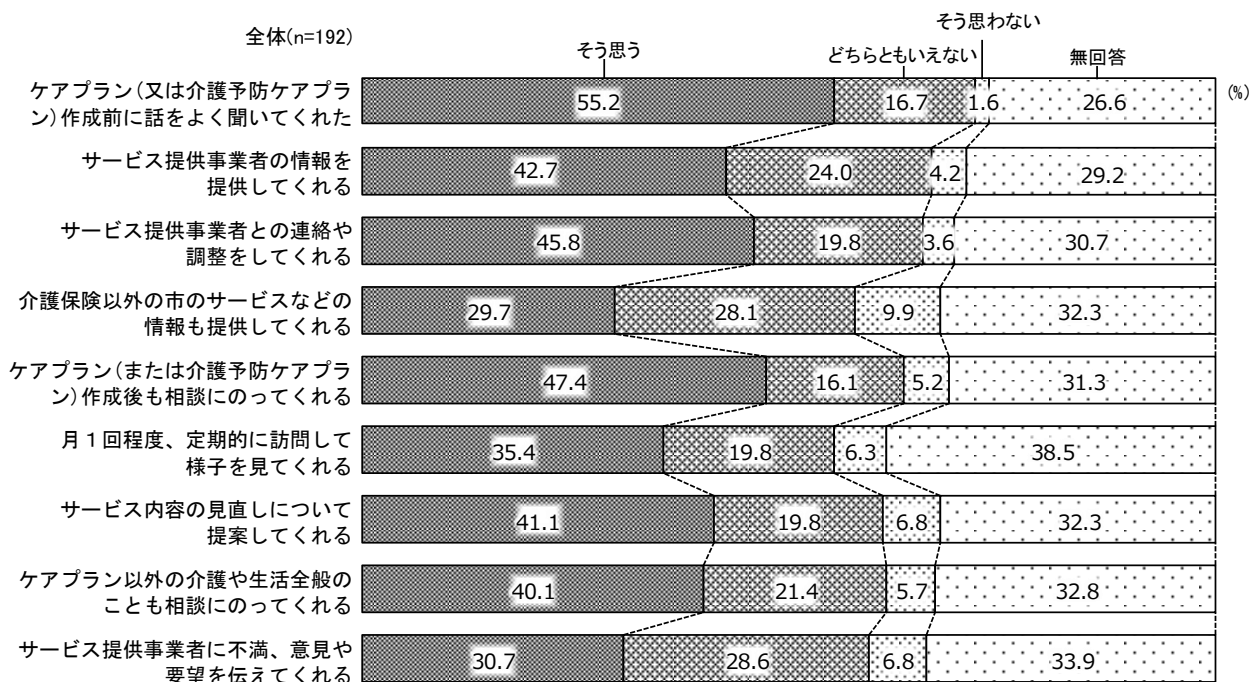
居宅サービス利用者のケアマネジャーの評価について、「そう思う」は『月1回程度、定期的に訪問して様子を見てくれる』（70.8%）が最も多く、『ケアプラン(又は介護予防ケアプラン)作成前に話をよく聞いてくれた』（69.8%）、『サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる』（64.7%）と続いている。

■ケアマネジャーの評価（居宅サービス利用者）



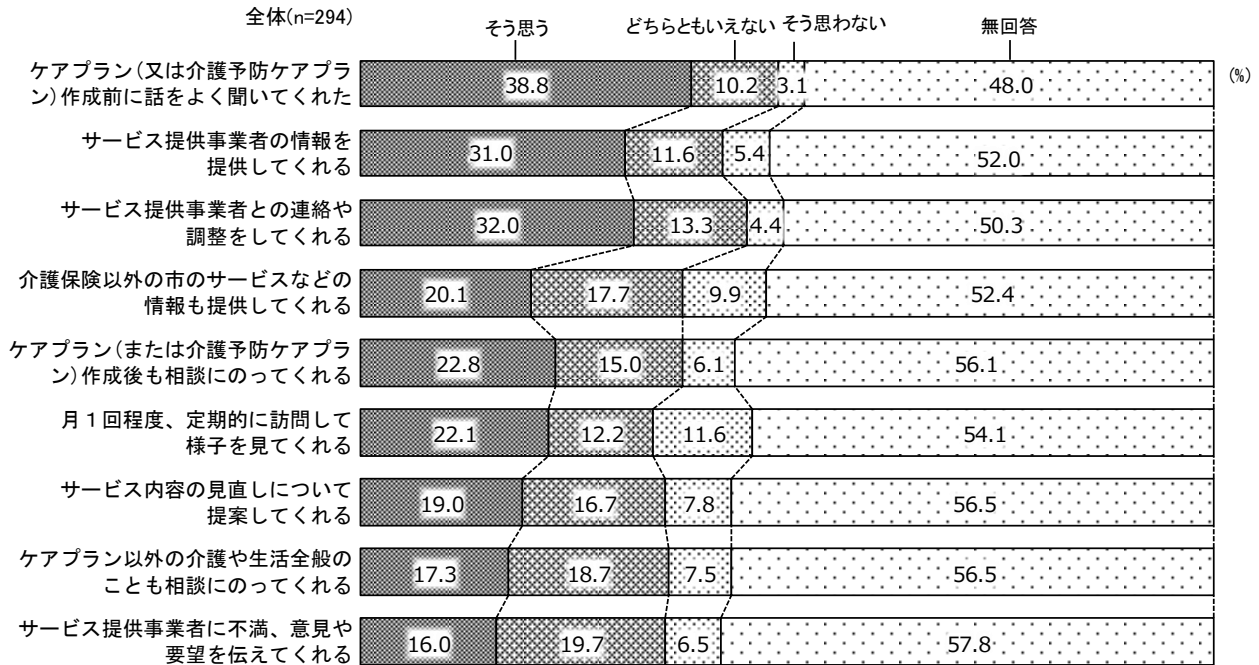
施設サービス利用者のケアマネジャーの評価について、「そう思う」は『ケアプラン(又は介護予防ケアプラン)作成前に話をよく聞いてくれた』（55.2%）が最も多く、『ケアプラン(または介護予防ケアプラン)作成後も相談にのってくれる』（47.4%）、『サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる』（45.8%）と続いている。

■ケアマネジャーについての評価（施設サービス利用者）



サービス未利用者のケアマネジャーの評価について、「そう思う」は『ケアプラン(又は介護予防ケアプラン)作成前に話をよく聞いてくれた』(38.8%)が最も多く、『サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる』(32.0%)、『サービス提供事業者の情報を提供してくれる』(31.0%)と続いている。

■ケアマネジャーについての評価（サービス未利用者）



7 高齢者の権利擁護について

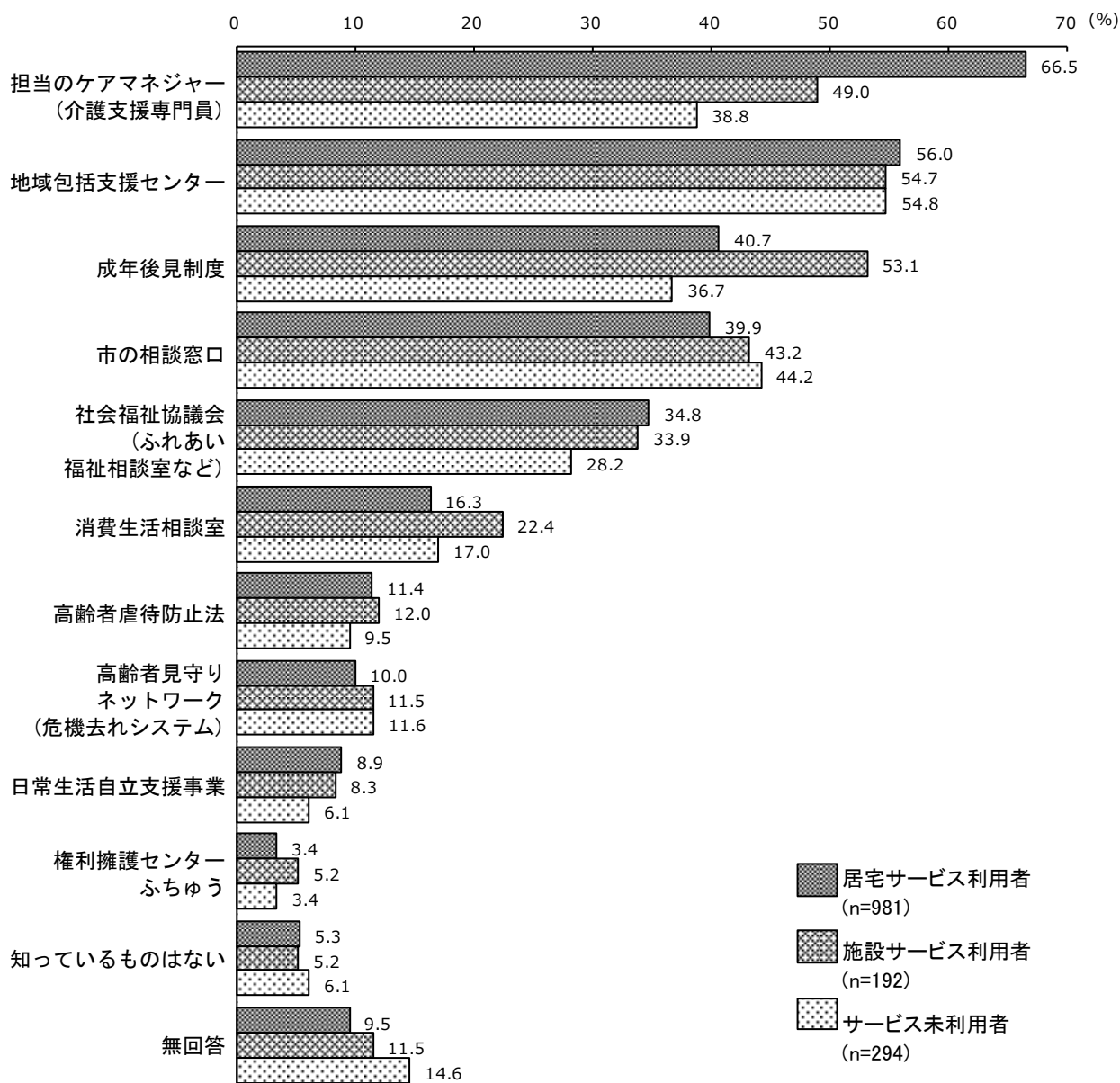
(1) 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度 (問 16)

高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度は、居宅サービス利用者は「担当のケアマネジャー(介護支援専門員)」(66.5%)が最も多く、「地域包括支援センター」(56.0%)、「成年後見制度」(40.7%)と続いている。

施設サービス利用者は、「地域包括支援センター」(54.7%)が最も多く、「成年後見制度」(53.1%)、「担当のケアマネジャー(介護支援専門員)」(49.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「地域包括支援センター」(54.8%)が最も多く、「市の相談窓口」(44.2%)、「担当のケアマネジャー(介護支援専門員)」(38.8%)と続いている。

■高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度 (複数回答)



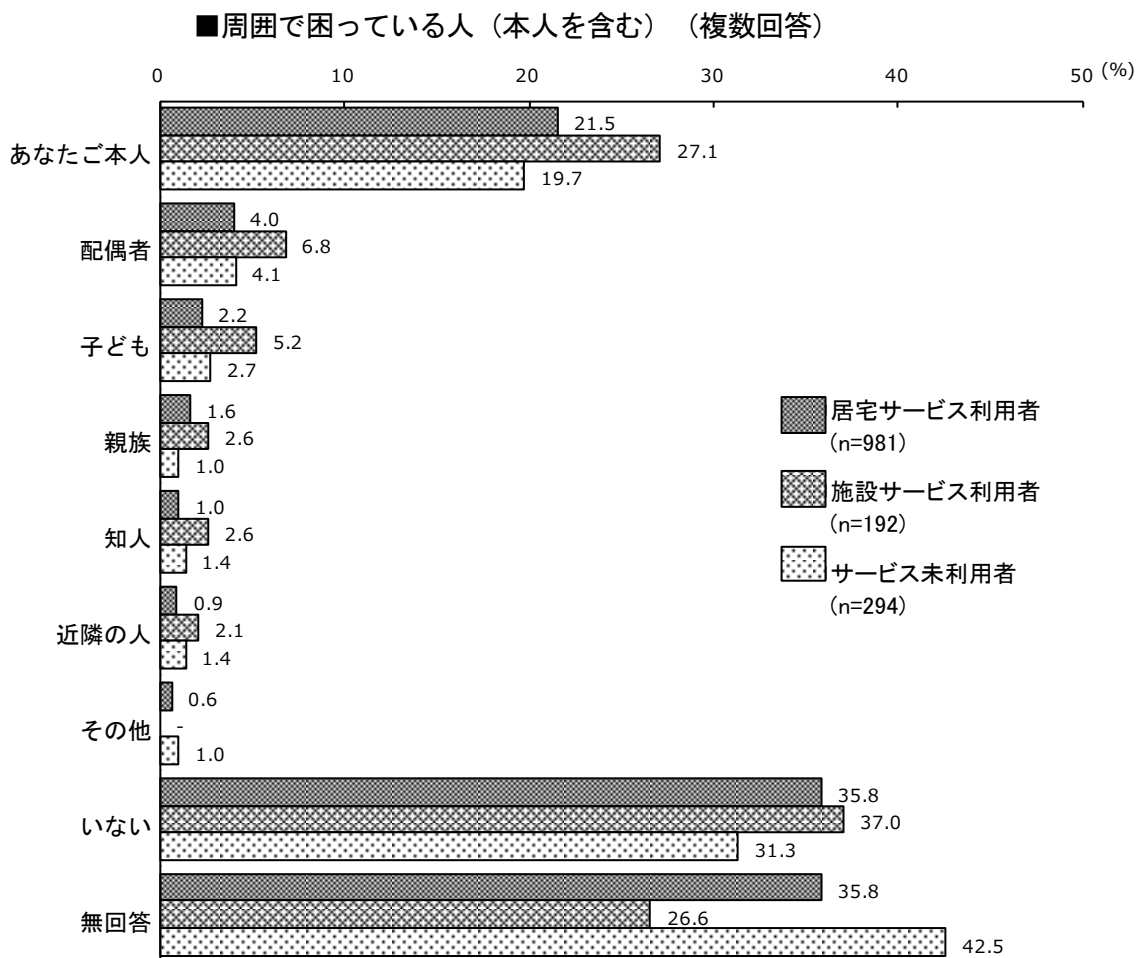
(2) 周囲で困っている人(本人を含む) (問17)

周囲で困っている人(本人を含む)は、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者のいずれも「いない」が最も多い。

困っている人の中では、居宅サービス利用者は「あなたご本人」(21.5%)が最も多く、「配偶者」(4.0%)、「子ども」(2.2%)と続いている。

施設サービス利用者は、「あなたご本人」(27.1%)が最も多く、「配偶者」(6.8%)、「子ども」(5.2%)と続いている。

サービス未利用者は、「あなたご本人」(19.7%)が最も多く、「配偶者」(4.1%)、「子ども」(2.7%)と続いている。

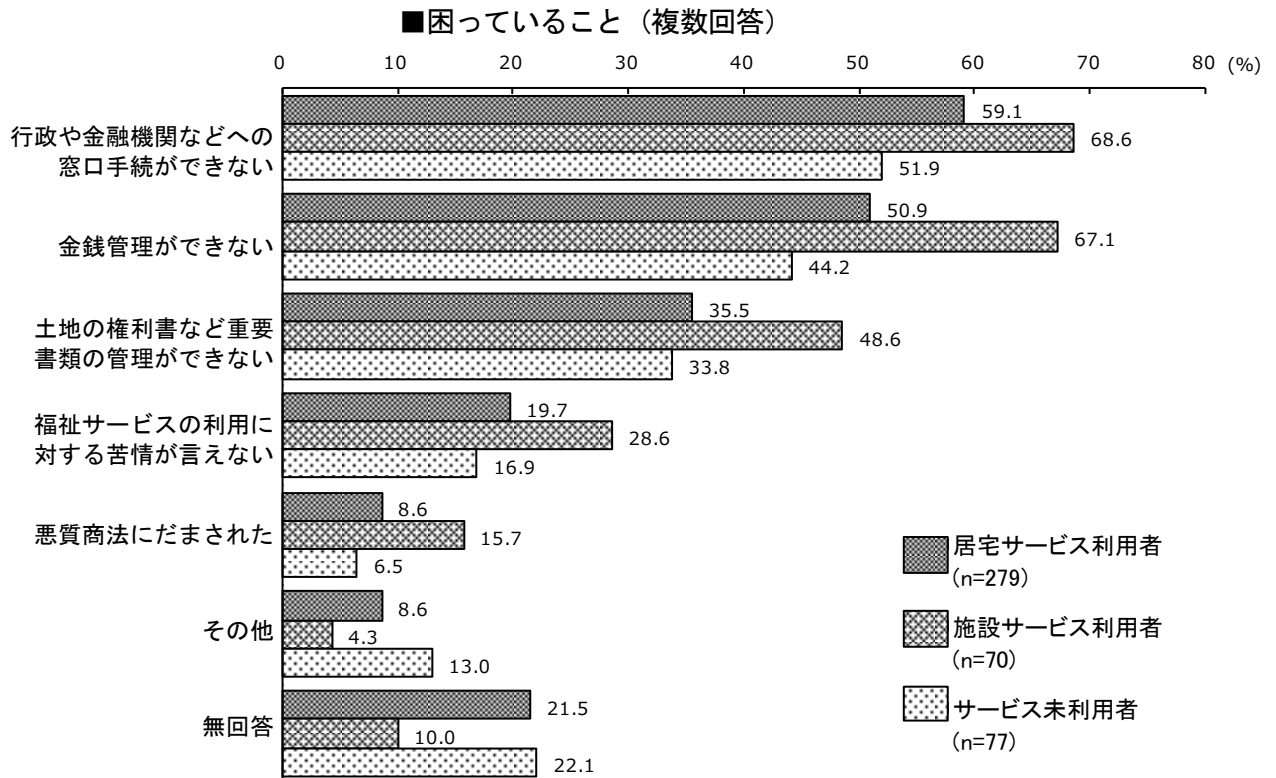


(3) 困っていること (問17-1)

「いない」以外を回答した人に困っていることを聞いたところ、居宅サービス利用者は、「行政や金融機関などへの窓口手続きができない」(59.1%)が最も多く、「金銭管理ができない」(50.9%)、「土地の権利書など重要書類の管理ができない」(35.5%)と続いている。

施設サービス利用者は、「行政や金融機関などへの窓口手続きができない」(68.6%)が最も多く、「金銭管理ができない」(67.1%)、「土地の権利書など重要書類の管理ができない」(48.6%)と続いている。

サービス未利用者は、「行政や金融機関などへの窓口手続きができない」(51.9%)が最も多く、「金銭管理ができない」(44.2%)、「土地の権利書など重要書類の管理ができない」(33.8%)と続いている。



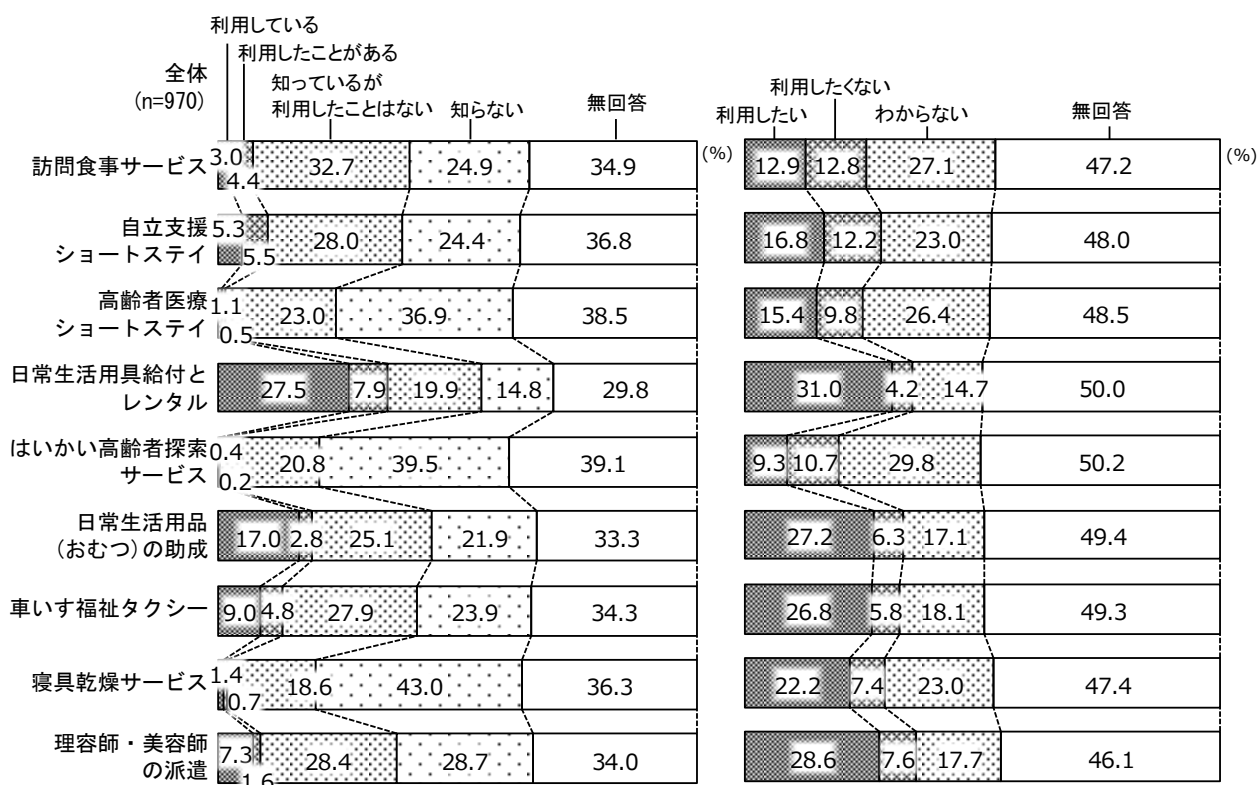
8 高齢者保健福祉サービスについて

(1) 高齢者保健福祉サービスに関する利用状況、利用意向（問18）

高齢者保健福祉サービスについて、居宅サービス利用者の「利用している」「利用したことがある」を合わせた“利用状況”は、『日常生活用具給付とレンタル』（35.4%）が最も多く、『日常生活用品（おむつ）の助成』（19.8%）、『車いす福祉タクシー』（13.8%）と続いている。「利用している」「利用したことがある」「知っているが利用していない」「知らない」を合わせた“認知度”は、『日常生活用具給付とレンタル』（55.3%）が最も多く、『日常生活用品（おむつ）の助成』（44.9%）、『車いす福祉タクシー』（41.7%）と続いている。

利用意向の「利用したい」は、『日常生活用具給付とレンタル』（31.0%）が最も多く、『理容師・美容師の派遣』（28.6%）、『日常生活用品（おむつ）の助成』（27.2%）と続いている。

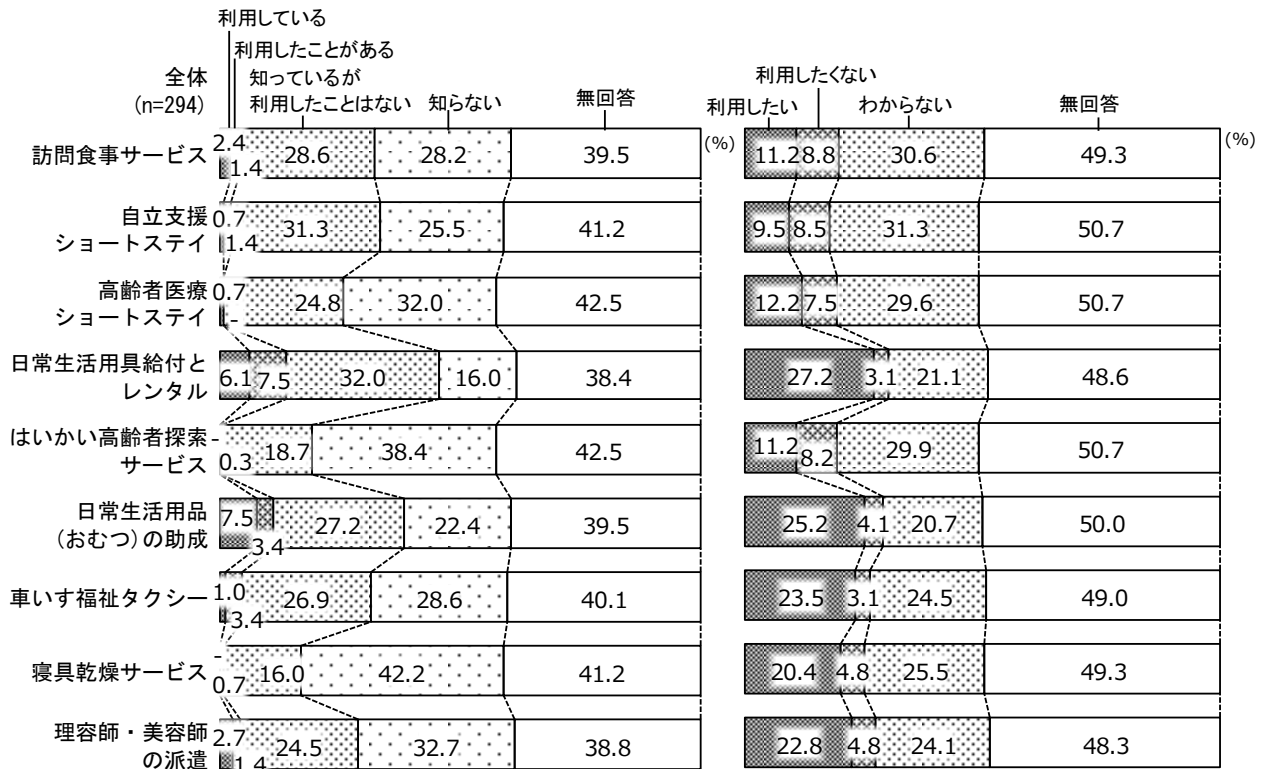
■高齢者保健福祉サービスに関する利用状況（左）、利用意向（右）（居宅サービス利用者）



高齢者保健福祉サービスについて、サービス未利用者の“利用状況”は、『日常生活用具給付とレンタル』（13.6%）が最も多く、『日常生活用品（おむつ）の助成』（10.9%）、『車いす福祉タクシー』（4.4%）と続いている。“認知度”は、『日常生活用具給付とレンタル』（45.6%）が最も多く、『日常生活用品（おむつ）の助成』（38.1%）、『自立支援ショートステイ』（33.4%）と続いている。

利用意向は、『日常生活用具給付とレンタル』（27.2%）が最も多く、『日常生活用品（おむつ）の助成』（25.2%）、『車いす福祉タクシー』（23.5%）と続いている。

■高齢者保健福祉サービスに関する利用状況（左）、利用意向（右）（サービス未利用者）



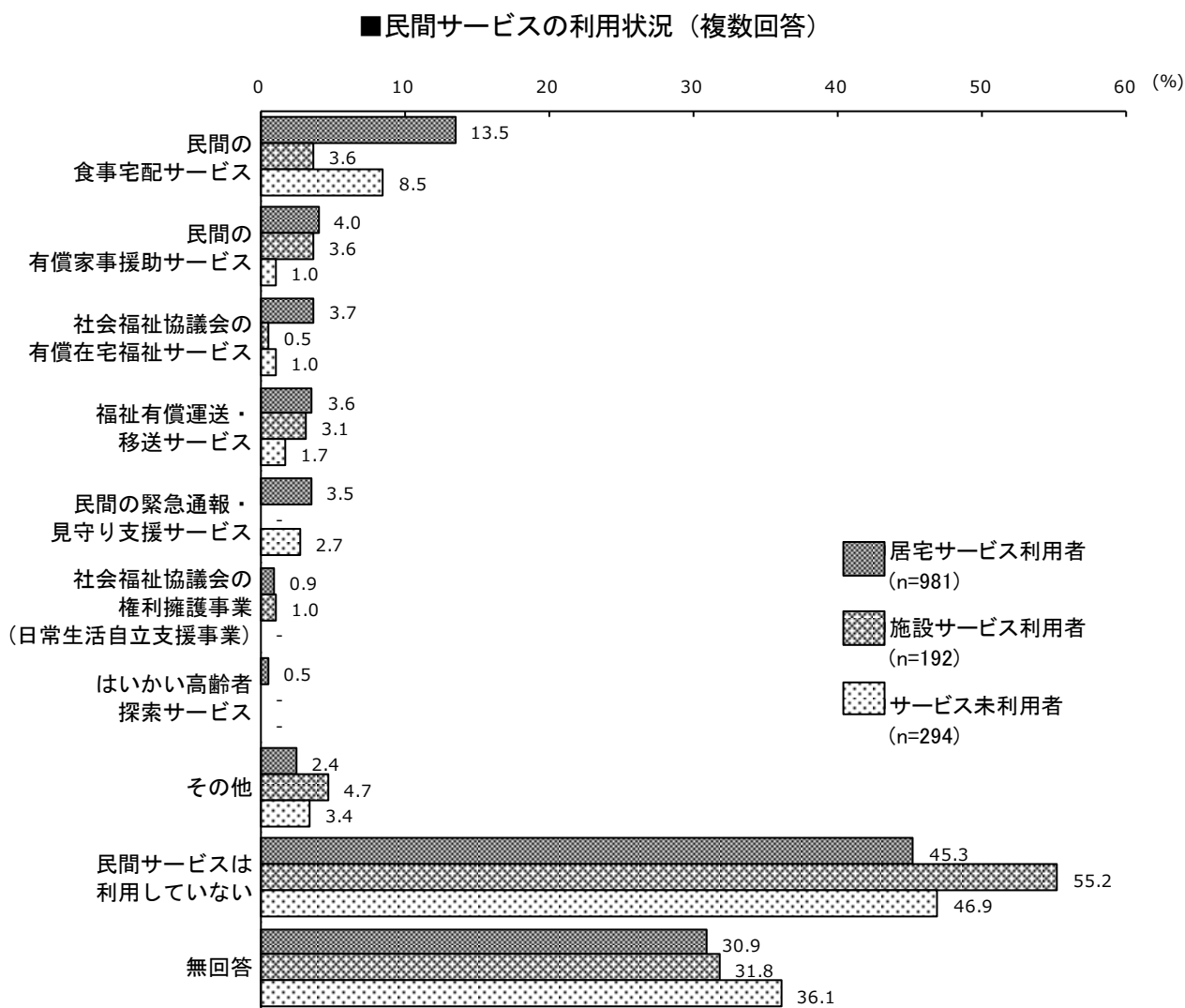
(2) 民間サービスの利用状況 (問 19)

民間サービスの利用状況は、居宅サービス利用者、施設サービス利用者、サービス未利用者のいずれも「民間サービスは利用していない」が最も多い。

利用している民間サービスでは、居宅サービス利用者は「民間の食事宅配サービス」(13.5%)が最も多く、「民間の有償家事援助サービス」(4.0%)、「社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス」(3.7%)と続いている。

施設サービス利用者は、「民間の食事宅配サービス」と「民間の有償家事援助サービス」(ともに3.6%)が最も多く、「福祉有償運送・移送サービス」(3.1%)、「社会福祉協議会の権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」(1.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「民間の食事宅配サービス」(8.5%)が最も多く、「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(2.7%)、「福祉有償運送・移送サービス」(1.7%)と続いている。

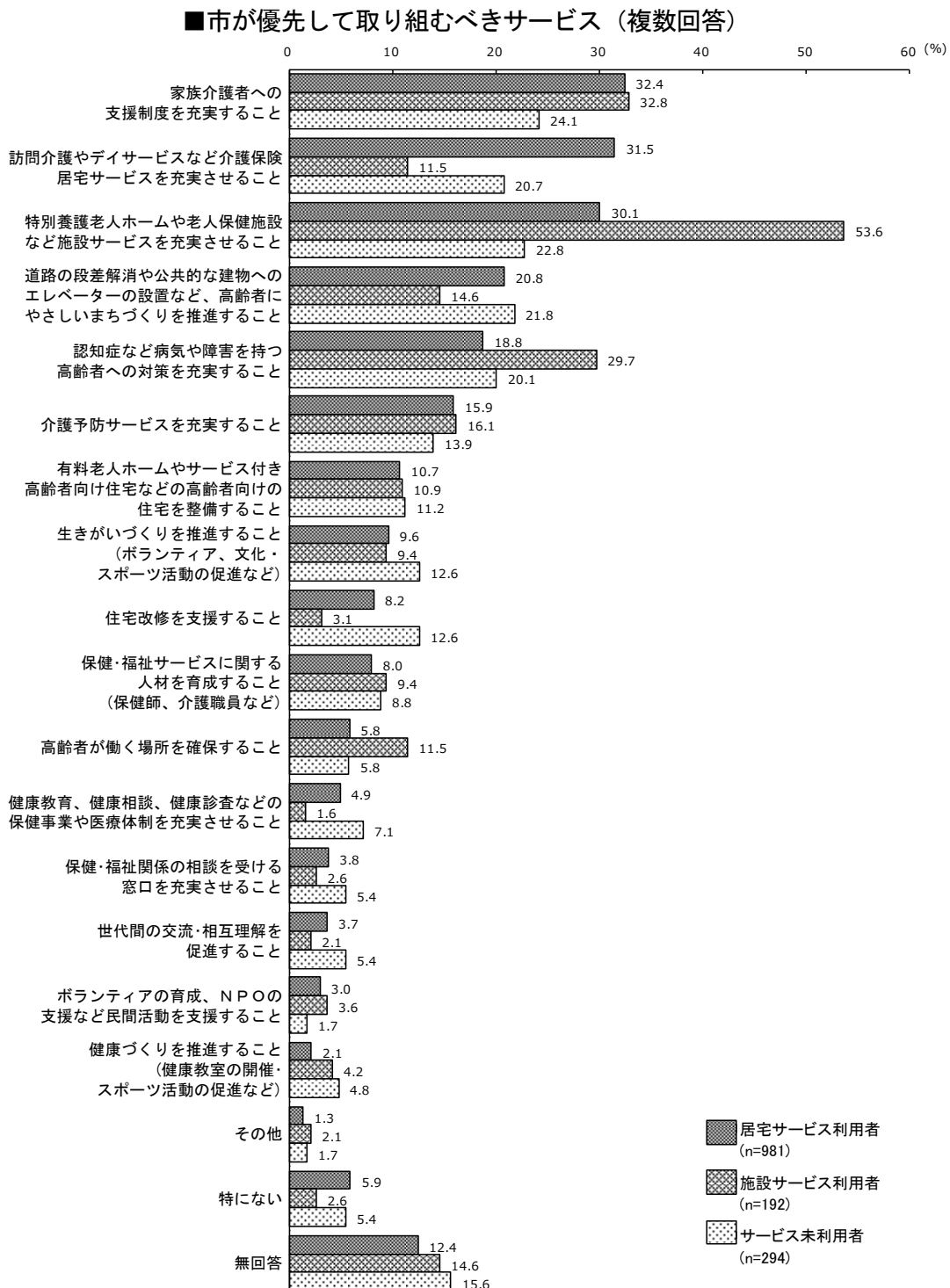


(3) 市が優先して取り組むべきサービス (問 20)

市が優先して取り組むべきサービスは、居宅サービス利用者は「家族介護者への支援制度を充実すること」(32.4%)が最も多く、「訪問介護やデイサービスなど介護保険居宅サービスを充実させること」(31.5%)、「特別養護老人ホームや老人保健施設など施設サービスを充実させること」(30.1%)と続いている。

施設サービス利用者は、「特別養護老人ホームや老人保健施設など施設サービスを充実させること」(53.6%)が最も多く、「家族介護者への支援制度を充実すること」(32.8%)、「認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること」(29.7%)と続いている。

サービス未利用者は、「家族介護者への支援制度を充実すること」(24.1%)が最も多く、「特別養護老人ホームや老人保健施設など施設サービスを充実させること」(22.8%)、「道路の段差解消や公共的な建物へのエレベーターの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること」(21.8%)と続いている。



2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービス利用者について

性別にみると、女性は「訪問介護やデイサービスなど介護保険居宅サービスを充実させること」(34.0%)、「保健・福祉サービスに関する人材を育成すること(保健師、介護職員など)」(9.2%)が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「介護予防サービスを充実すること」(22.6%)、「健康教育、健康相談、健康診査などの保健事業や医療体制を充実させること」(8.8%)、中重度者は「家族介護者への支援制度を充実すること」(44.7%)、「認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること」(24.3%)、「高齢者が働く場所を確保すること」(9.8%)が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第2地区は「生きがいをづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)」(15.8%)、「健康教育、健康相談、健康診査などの保健事業や医療体制を充実させること」(8.2%)、第4地区は「健康づくりを推進すること(健康教室の開催・スポーツ活動の促進など)」(4.7%)、第5地区は「保健・福祉関係の相談を受ける窓口を充実させること」(8.5%)が全体に比べ多くなっている。

■市が優先して取り組むべきサービス(複数回答)(居宅サービス利用者)

		と家族介護者への支援制度を充実すること	訪問介護やデイサービスなど介護保険居宅サービスを充実させること	特別養護老人ホームや老人保健施設など施設サービスを充実させること	道路の段差解消や公共的な建物へのエレベーターの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること	認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること	介護予防サービスを充実すること	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向けの住宅を整備すること	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向けの住宅を整備すること	生きがいをづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)	住宅改修を支援すること	保健・福祉サービスに関する人材を育成すること(保健師、介護職員など)	高齢者が働く場所を確保すること	健康教育、健康相談、健康診査などの保健事業や医療体制を充実させること	充実させること	保健・福祉関係の相談を受ける窓口を充実させること	世代間の交流・相互理解を促進すること	ボランティアの育成、NPOの支援など民間活動を支援すること	健康づくりを推進すること(健康教室の開催・スポーツ活動の促進など)	その他	特にな	無回答
全体(n=981)		32.4	31.5	30.1	20.8	18.8	15.9	10.7	9.6	8.2	8.0	5.8	4.9	3.8	3.7	3.0	2.1	1.3	5.9	12.4		
性別	男性(n=316)	30.4	27.2	26.6	20.9	19.3	15.2	9.8	10.8	8.9	5.4	5.1	2.2	2.5	1.9	1.6	1.6	6.0	15.8			
	女性(n=653)	33.8	34.0	32.3	20.7	18.8	16.2	11.3	8.7	7.8	9.2	6.3	4.6	4.4	4.0	3.5	2.3	1.2	6.0	10.4		
要介護度別	要支援者(n=217)	21.7	27.6	27.6	21.2	15.2	22.6	12.9	11.5	7.8	8.8	4.6	8.8	5.1	4.6	2.3	3.2	0.9	4.1	13.8		
	軽度者(n=485)	32.0	32.0	29.5	21.2	18.1	14.6	11.5	10.3	8.0	6.6	4.5	3.1	3.7	3.9	3.3	2.1	1.6	7.6	11.1		
	中重度者(n=255)	44.7	36.1	35.3	20.4	24.3	12.9	7.5	6.3	9.4	10.2	9.8	3.1	2.7	2.4	3.1	1.2	1.2	4.7	9.4		
地区別	第1地区(n=173)	28.9	32.4	32.9	22.5	17.9	13.9	9.2	8.7	8.7	7.5	8.1	1.7	1.7	5.2	2.3	0.6	0.6	5.2	16.2		
	第2地区(n=171)	30.4	34.5	29.2	16.4	21.6	21.1	8.8	15.8	7.6	8.2	7.0	8.2	4.7	1.8	1.8	0.0	5.3	12.3			
	第3地区(n=194)	37.1	33.5	27.3	24.2	14.4	16.0	10.8	6.7	9.8	7.7	3.6	5.2	2.6	2.6	2.6	2.6	2.1	7.7	8.2		
	第4地区(n=127)	32.3	29.9	29.9	15.7	18.1	14.2	13.4	7.1	3.1	3.9	4.7	4.7	3.9	2.4	2.4	4.7	3.9	7.1	15.7		
	第5地区(n=142)	37.3	31.0	29.6	20.4	21.1	12.7	12.7	8.5	7.7	9.9	4.2	4.2	8.5	2.1	4.2	2.8	0.7	4.9	9.9		
	第6地区(n=141)	31.2	29.8	30.5	26.2	21.3	17.7	9.2	9.2	12.1	9.9	7.1	5.0	2.1	5.0	4.3	1.4	1.4	5.0	10.6		

サービス未利用者について

性別にみると、男性は「生きがいをづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)」(19.8%)が女性に比べ多く、女性は「訪問介護やデイサービスなど介護保険居宅サービスを充実させること」(24.6%)、「道路の段差解消や公共的な建物へのエレベーターの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること」(28.0%)が男性に比べ多くなっている。

■市が優先して取り組むべきサービス(複数回答)(サービス未利用者)

		と家族介護者への支援制度を充実すること	訪問介護やデイサービスなど介護保険居宅サービスを充実させること	特別養護老人ホームや老人保健施設など施設サービスを充実させること	道路の段差解消や公共的な建物へのエレベーターの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること	認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること	介護予防サービスを充実すること	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向けの住宅を整備すること	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向けの住宅を整備すること	生きがいをづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)	住宅改修を支援すること	保健・福祉サービスに関する人材を育成すること(保健師、介護職員など)	高齢者が働く場所を確保すること	健康教育、健康相談、健康診査などの保健事業や医療体制を充実させること	充実させること	保健・福祉関係の相談を受ける窓口を充実させること	世代間の交流・相互理解を促進すること	ボランティアの育成、NPOの支援など民間活動を支援すること	健康づくりを推進すること(健康教室の開催・スポーツ活動の促進など)	その他	特にな	無回答
全体(n=294)		24.1	20.7	22.8	21.8	20.1	13.9	11.2	12.6	12.6	8.8	5.8	7.1	5.4	5.4	1.7	4.8	1.7	5.4	15.6		
性別	男性(n=116)	25.0	13.8	17.2	12.9	22.4	10.3	11.2	19.8	11.2	9.5	6.0	6.0	6.9	7.8	1.7	5.2	2.6	8.6	16.4		
	女性(n=175)	24.0	24.6	25.7	28.0	18.9	16.0	10.9	8.0	13.7	8.6	5.7	8.0	4.6	4.0	1.7	4.6	1.1	3.4	14.9		

9 認知症について

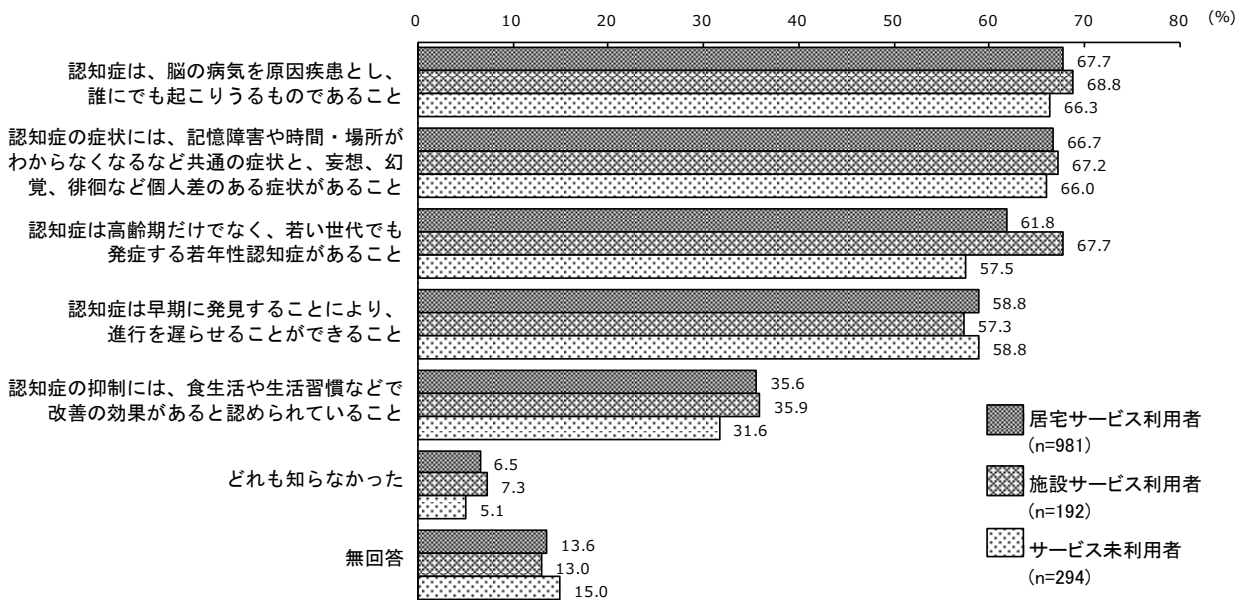
(1) 認知症について知っていること (問 21)

認知症について知っていることは、居宅サービス利用者は「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(67.7%)が最も多く、「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所がわからなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(66.7%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(61.8%)と続いている。

施設サービス利用者は、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(68.8%)が最も多く、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(67.7%)、「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所がわからなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(67.2%)と続いている。

サービス未利用者は、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(66.3%)が最も多く、「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所がわからなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(66.0%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(58.8%)と続いている。

■ 認知症について知っていること (複数回答)



居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、要支援者は「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(66.8%)、中重度者は「認知症の抑制には、食生活や生活習慣などで改善の効果があると認められていること」(42.0%)が全体に比べ多くなっている。

■ 認知症について知っていること (複数回答) (居宅サービス利用者)

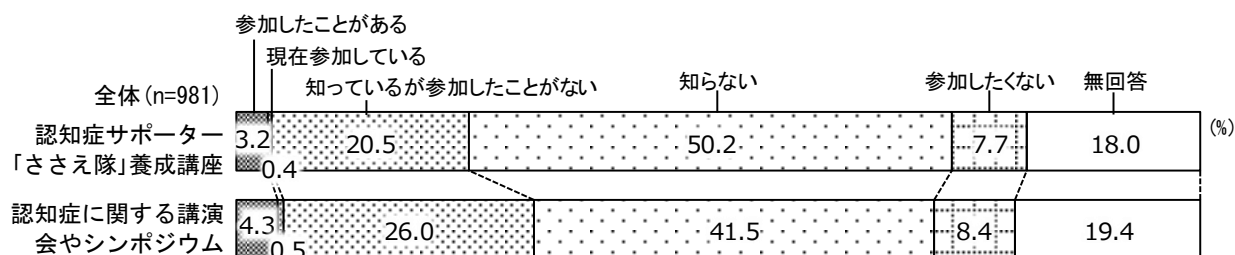
		こりし気認 とう、を知 る誰原症 もに因は ので疾、 でも患脳 あ起との るこ病	あ人幻のな間は認 る差覚症く・、知 この、状な場記症 とあ徘徊とる所憶の 症な妄どわ害状 状ど想共かやに が個、通ら時	こ年代け認 と性でで知 認めな症 知発くは 症症、高 がす若齡 あるい期 る若世だ	とるり見認 こ、す知 と進る症 が行こは でをと早 き遅に期 るらよに こせ発	ら効習は認 れ果慣、知 てがな食症 いあど生の るで活抑 こと改や制 と認善生に めの活	たど れも 知ら な かつ	無 回 答
全体(n=981)		67.7	66.7	61.8	58.8	35.6	6.5	13.6
要介護度別	要支援者(n=217)	69.1	72.4	65.0	66.8	39.6	3.7	14.3
	軽度者(n=485)	66.8	63.1	59.2	56.1	31.5	7.8	11.8
	中重度者(n=255)	71.0	71.8	66.7	60.0	42.0	6.7	12.9

(2) 認知症予防啓発活動への参加・認知状況 (問 22)

居宅サービス利用者について

居宅サービス利用者の認知症予防啓発活動について、「参加したことがある」「現在参加している」を合わせた“参加状況”は、『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』が3.6%、『認知症に関する講演会やシンポジウム』が4.8%となっている。「参加したことがある」「現在参加している」「知っているが参加したことがない」を合わせた“認知度”は、『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』が24.1%、『認知症に関する講演会やシンポジウム』が30.8%となっている。

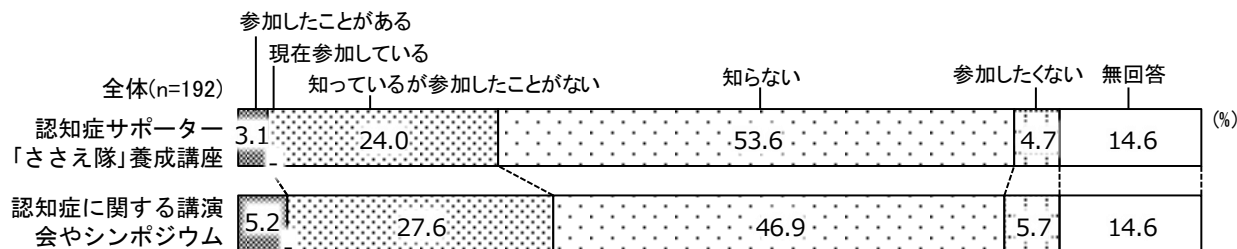
■認知症予防啓発活動への参加・認知状況 (居宅サービス利用者)



施設サービス利用者について

施設サービス利用者の認知症予防啓発活動について、“参加状況”は、『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』が3.1%、『認知症に関する講演会やシンポジウム』が5.2%となっている。“認知度”は、『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』が27.1%、『認知症に関する講演会やシンポジウム』が32.8%となっている。

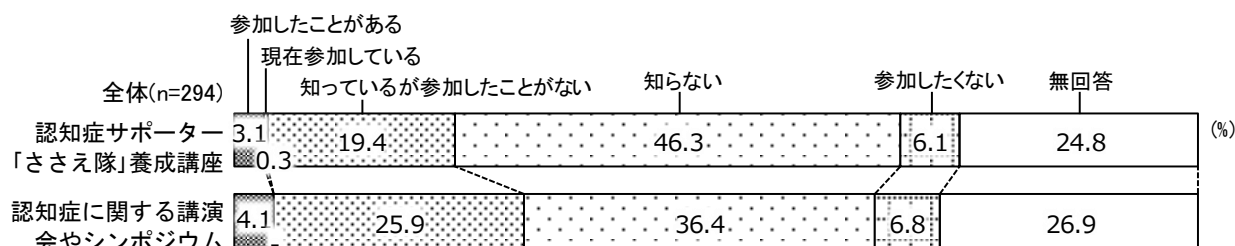
■認知症予防啓発活動への参加・認知状況 (施設サービス利用者)



サービス未利用者について

サービス未利用者の認知症予防啓発活動について、“参加状況”は、『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』が3.4%、『認知症に関する講演会やシンポジウム』が4.1%となっている。“認知度”は、『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』が22.8%、『認知症に関する講演会やシンポジウム』が30.0%となっている。

■認知症予防啓発活動への参加・認知状況 (サービス未利用者)

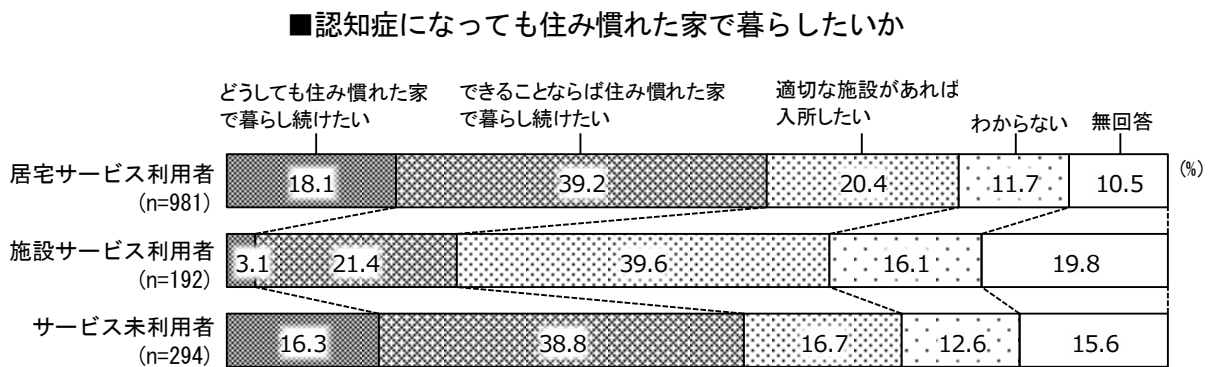


(3) 認知症になっても住み慣れた家で暮らしたいか (問 23)

認知症になっても住み慣れた家で暮らしたいか聞いたところ、居宅サービス利用者は「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」(39.2%)が最も多く、「適切な施設があれば入所したい」(20.4%)、「どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい」(18.1%)と続いている。

施設サービス利用者は、「適切な施設があれば入所したい」(39.6%)が最も多く、「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」(21.4%)、「どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい」(3.1%)と続いている。

サービス未利用者は、「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」(38.8%)が最も多く、「適切な施設があれば入所したい」(16.7%)、「どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい」(16.3%)と続いている。



居宅サービス利用者について

性別にみると、女性は「適切な施設があれば入所したい」(23.1%)が男性に比べ多くなっている。

地区別にみると、第1地区は「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」(47.4%)、第5地区は「適切な施設があれば入所したい」(28.2%)が全体に比べ多くなっている。

さらに世帯の状況別にみると、ひとり暮らしの人は「適切な施設があれば入所したい」(30.6%)がひとり暮らし以外の人に比べ多く、ひとり暮らし以外の方は「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」(42.7%)がひとり暮らしの人に比べ多くなっている。

■認知症になっても住み慣れた家で暮らしたいか (居宅サービス利用者)

		し 慣 ど 続 れ う け た し た 家 て い で も 暮 住 ら み	い で ば で 暮 住 き ら み る し 慣 こ 続 れ と け た な た 家 ら	れ 適 ば 切 入 な 所 施 し 設 た が い あ	わ か ら 不 い	無 回 答
全体(n=981)		18.1	39.2	20.4	11.7	10.5
性別	男性(n=316)	20.6	38.3	15.2	13.9	12.0
	女性(n=653)	16.8	39.8	23.1	10.7	9.5
地区別	第1地区(n=173)	15.6	47.4	14.5	13.9	8.7
	第2地区(n=171)	21.6	34.5	23.4	8.8	11.7
	第3地区(n=194)	21.6	39.2	20.1	10.3	8.8
	第4地区(n=127)	16.5	39.4	16.5	15.7	11.8
	第5地区(n=142)	16.9	32.4	28.2	12.7	9.9
	第6地区(n=141)	15.6	45.4	19.9	8.5	10.6
世帯の 状況別	ひとり暮らし(n=248)	15.3	30.6	30.6	13.3	10.1
	ひとり暮らし以外(n=709)	19.2	42.7	17.1	11.3	9.7

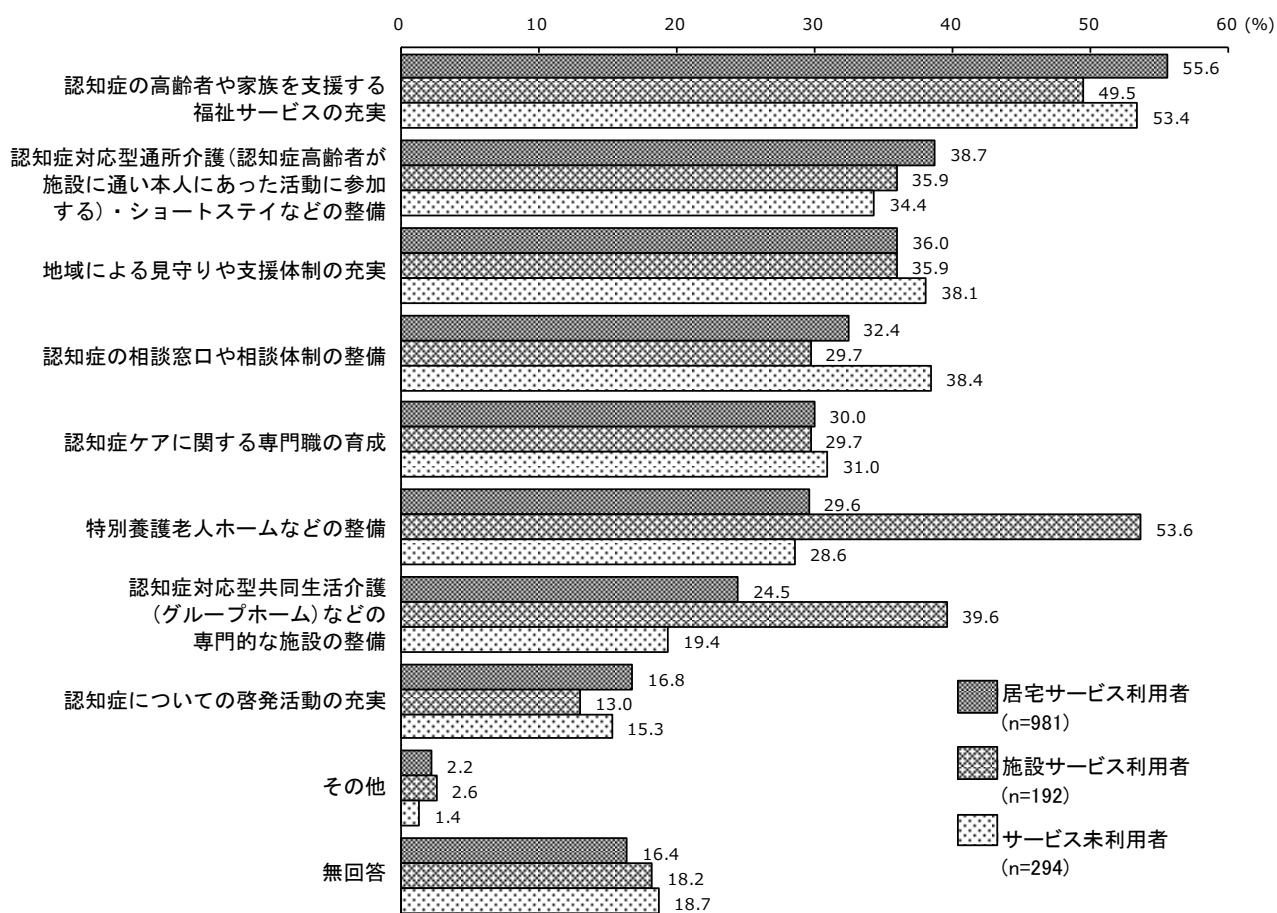
(4) 認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと (問 24)

認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なことは、居宅サービス利用者は「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(55.6%)が最も多く、「認知症対応型通所介護(認知症高齢者が施設に通い本人にあった活動に参加する)・ショートステイなどの整備」(38.7%)、「地域による見守りや支援体制の充実」(36.0%)と続いている。

施設サービス利用者は、「特別養護老人ホームなどの整備」(53.6%)が最も多く、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(49.5%)、「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などの専門的な施設の整備」(39.6%)と続いている。

サービス未利用者は、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(53.4%)が最も多く、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(38.4%)、「地域による見守りや支援体制の充実」(38.1%)と続いている。

■ 認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと (複数回答)



居宅サービス利用者について

性別にみると、女性は「地域による見守りや支援体制の充実」(39.4%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(34.8%)、「特別養護老人ホームなどの整備」(32.8%)が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(39.6%)、「認知症ケアに関する専門職の育成」(37.8%)、中重度者は「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(64.3%)、「認知症対応型通所介護(認知症高齢者が施設に通い本人にあった活動に参加する)・ショートステイなどの整備」(46.7%)、「特別養護老人ホームなどの整備」(36.9%)が全体に比べ多くなっている。

■認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと(複数回答)(居宅サービス利用者)

(%)

		認知症の高齢者や家族の充実	認知症対応型通所介護(認知症高齢者が施設に通い本人にあった活動に参加する)・ショートステイなどの整備	地域による見守りや支援体制の充実	認知症の相談窓口や相談体制の整備	認知症ケアに関する専門職の育成	特別養護老人ホームなどの整備	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などの専門	認知症についての啓発活動の充実	その他	無回答
全体(n=981)		55.6	38.7	36.0	32.4	30.0	29.6	24.5	16.8	2.2	16.4
性別	男性(n=316)	54.4	35.8	30.1	28.2	26.9	24.1	22.2	17.7	2.5	19.0
	女性(n=653)	56.5	40.1	39.4	34.8	31.7	32.8	26.0	16.4	2.0	14.7
要介護度別	要支援者(n=217)	54.4	35.9	38.7	39.6	37.8	30.0	23.0	21.2	2.3	15.7
	軽度者(n=485)	52.8	36.3	34.2	30.7	26.2	26.4	23.9	14.4	1.9	16.9
	中重度者(n=255)	64.3	46.7	38.4	30.6	32.2	36.9	28.6	17.6	2.7	13.3

サービス未利用者について

性別にみると、女性は「認知症対応型通所介護(認知症高齢者が施設に通い本人にあった活動に参加する)・ショートステイなどの整備」(40.6%)が男性に比べ多くなっている。

■認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと(複数回答)(サービス未利用者)

(%)

		認知症の高齢者や家族の充実	認知症対応型通所介護(認知症高齢者が施設に通い本人にあった活動に参加する)・ショートステイなどの整備	地域による見守りや支援体制の充実	認知症の相談窓口や相談体制の整備	認知症ケアに関する専門職の育成	特別養護老人ホームなどの整備	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などの専門	認知症についての啓発活動の充実	その他	無回答
全体(n=294)		53.4	34.4	38.1	38.4	31.0	28.6	19.4	15.3	1.4	18.7
性別	男性(n=116)	50.9	25.9	34.5	41.4	34.5	29.3	19.0	17.2	1.7	16.4
	女性(n=175)	55.4	40.6	40.6	36.0	29.1	27.4	20.0	14.3	1.1	20.0

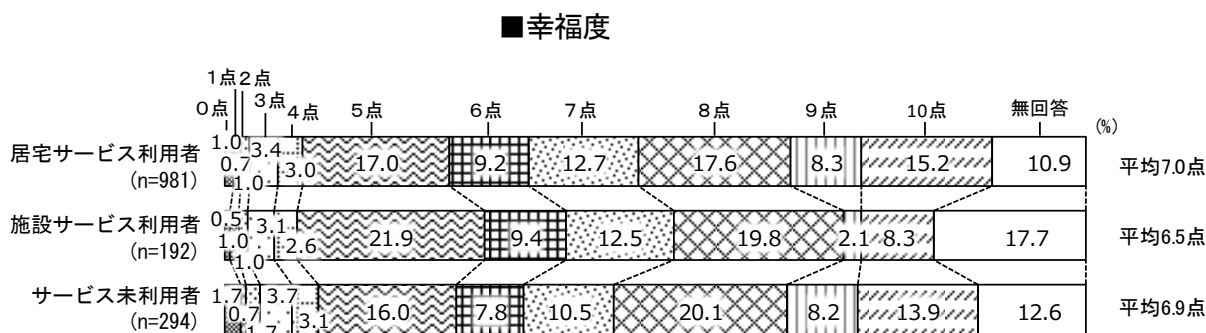
10 日ごろの生活について

(1) 幸福度 (問 25)

幸福度（「とても不幸」が0点、「とても幸せ」が10点）は、居宅サービス利用者は、「8点」（17.6%）が最も多く、「5点」（17.0%）、「10点」（15.2%）と続いており、平均は7.0点である。

施設サービス利用者は、「5点」（21.9%）が最も多く、「8点」（19.8%）、「7点」（12.5%）と続いており、平均は6.5点である。

サービス未利用者は、「8点」（20.1%）が最も多く、「5点」（16.0%）、「10点」（13.9%）と続いており、平均は6.9点である。



居宅サービス利用者について

年齢別にみると、65～74歳は「9点」（1.5%）、「10点」（2.9%）が75歳以上に比べ少なくなっている。

地区別にみると、第6地区は「10点」（9.2%）が全体に比べ少なくなっている。

■幸福度（居宅サービス利用者）

		幸福度 (%)												平均点
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体(n=981)		1.0	0.7	1.0	3.4	3.0	17.0	9.2	12.7	17.6	8.3	15.2	10.9	7.0
年齢別	75歳以上(n=905)	1.1	0.7	1.1	3.2	3.0	16.9	8.6	12.6	17.6	8.7	16.1	10.4	7.0
	65～74歳(n=68)	-	1.5	-	5.9	2.9	19.1	16.2	16.2	19.1	1.5	2.9	14.7	6.2
地区別	第1地区(n=173)	1.2	1.2	1.7	1.7	1.7	17.3	10.4	13.9	18.5	8.1	13.3	11.0	6.9
	第2地区(n=171)	1.2	1.2	1.2	2.9	4.1	12.9	8.8	18.7	15.2	8.2	14.0	11.7	6.9
	第3地区(n=194)	0.5	-	1.0	3.1	1.5	18.6	7.7	10.8	19.6	9.8	20.1	7.2	7.3
	第4地区(n=127)	1.6	0.8	1.6	5.5	3.1	15.7	8.7	7.9	18.9	6.3	15.7	14.2	6.8
	第5地区(n=142)	0.7	1.4	0.7	2.1	3.5	16.2	11.3	10.6	16.2	9.9	19.7	7.7	7.2
	第6地区(n=141)	0.7	-	-	4.3	5.0	21.3	8.5	14.9	15.6	7.8	9.2	12.8	6.7

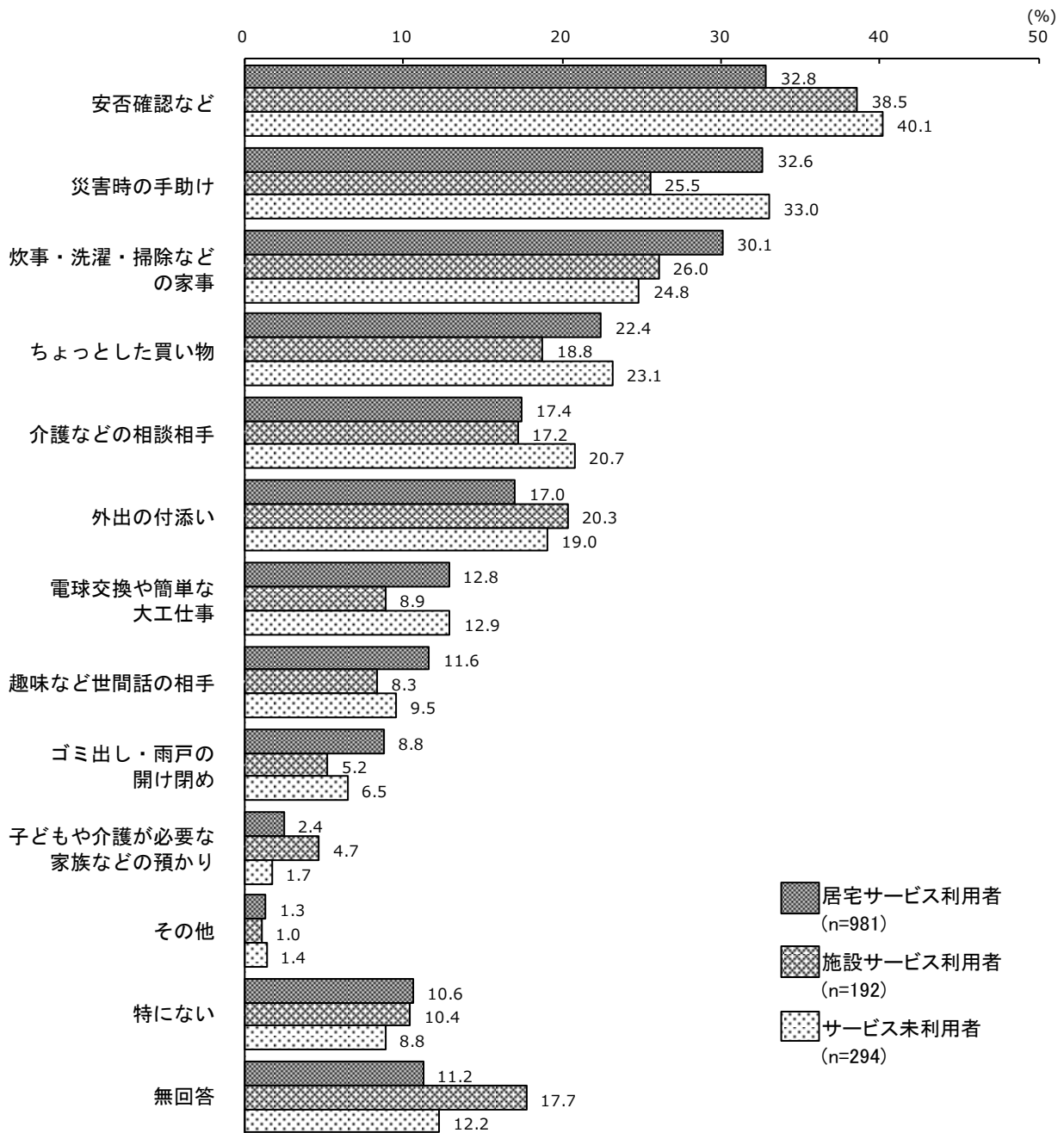
(2) 日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け（問26）

日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助けは、居宅サービス利用者は「安否確認など」（32.8%）が最も多く、「災害時の手助け」（32.6%）、「炊事・洗濯・掃除などの家事」（30.1%）と続いている。

施設サービス利用者は、「安否確認など」（38.5%）が最も多く、「炊事・洗濯・掃除などの家事」（26.0%）、「災害時の手助け」（25.5%）と続いている。

サービス未利用者は、「安否確認など」（40.1%）が最も多く、「災害時の手助け」（33.0%）、「炊事・洗濯・掃除などの家事」（24.8%）と続いている。

■日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け（複数回答）



2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービス利用者について

年齢別にみると、75歳以上は「介護などの相談相手」（18.2%）が65～74歳に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「ちょっとした買い物」（31.3%）、「電球交換や簡単な大工仕事」（18.0%）が全体に比べ多くなっている。

■日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け（複数回答）（居宅サービス利用者）

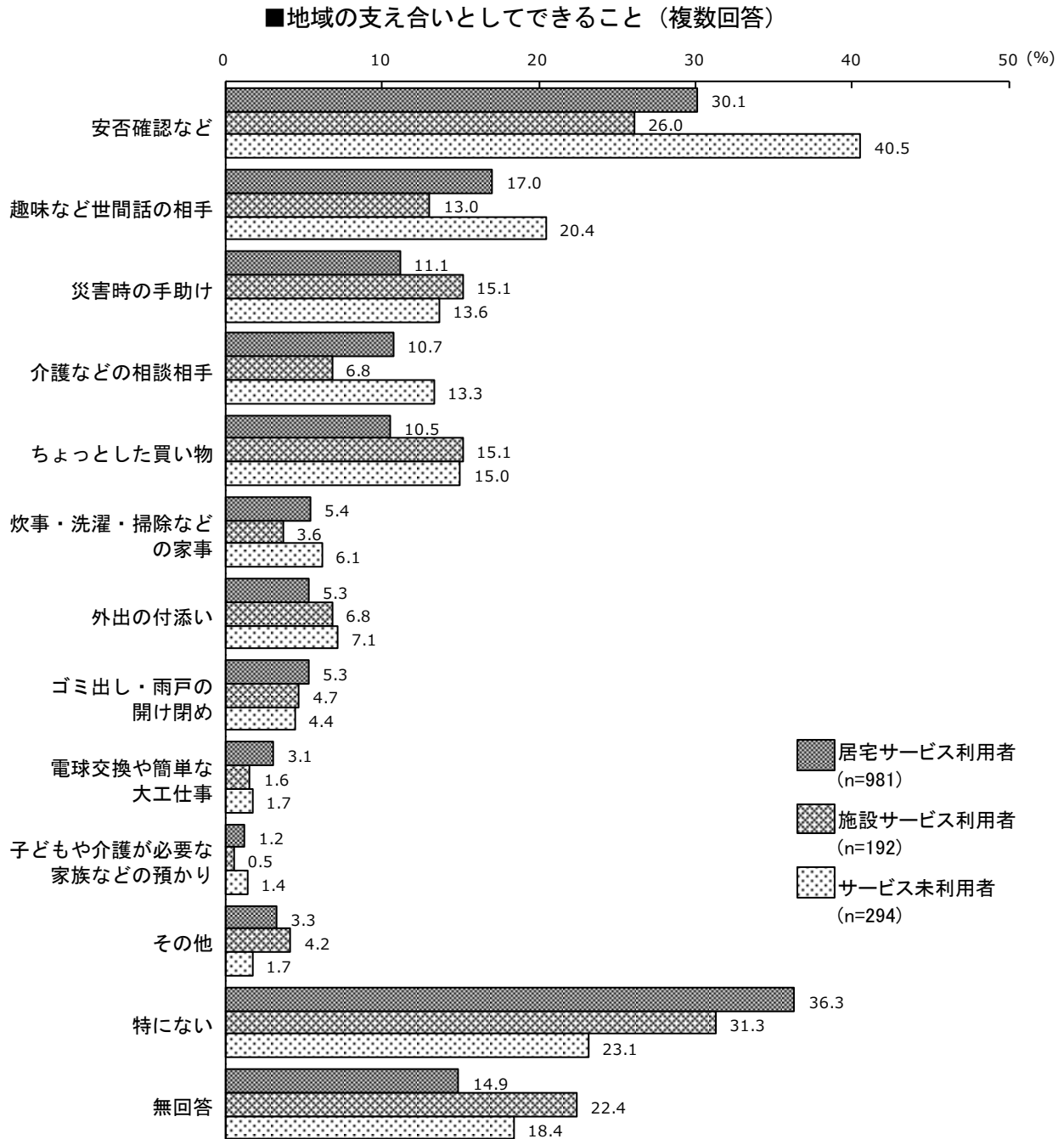
	安否確認など	災害時の手助け	掃除・洗濯・家事	炊事・洗濯・買い物	ちょっとした買い物	介護などの相談相手	外出の付添い	単球交換や簡単な工事	電球交換や簡単な工事	趣味など世間話の相手	戸の出し入れ・ゴミの回収	がどの必要な家族	子どもや介護	その他	特になし	無回答
全体(n=981)	32.8	32.6	30.1	22.4	17.4	17.0	12.8	11.6	8.8	2.4	1.3	10.6	11.2			
年齢別	75歳以上(n=905)	33.3	32.8	30.2	22.1	18.2	16.8	12.8	11.0	8.8	2.3	1.4	10.6	11.3		
	65～74歳(n=68)	27.9	33.8	30.9	27.9	5.9	20.6	14.7	17.6	8.8	4.4	0.0	8.8	8.8		
要介護度別	要支援者(n=217)	35.0	31.8	31.8	31.3	21.2	17.1	18.0	8.8	9.2	0.5	0.5	8.8	9.7		
	軽度者(n=485)	32.2	31.1	30.3	22.3	17.1	19.2	13.4	11.3	8.5	1.9	2.3	10.5	10.7		
	中重度者(n=255)	33.7	37.3	29.4	14.9	14.9	12.9	8.2	13.7	9.0	5.5	0.4	12.2	12.2		

(3) 地域の支え合いとしてできること (問27)

地域の支え合いとしてできることは、居宅サービス利用者は「安否確認など」(30.1%)が最も多く、「趣味など世間話の相手」(17.0%)、「災害時の手助け」(11.1%)と続いている。

施設サービス利用者は、「安否確認など」(26.0%)が最も多く、「災害時の手助け」と「ちょっとした買い物」(ともに15.1%)、「趣味など世間話の相手」(13.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「安否確認など」(40.5%)が最も多く、「趣味など世間話の相手」(20.4%)、「ちょっとした買い物」(15.0%)と続いている。



2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービス利用者について

性別にみると、男性は「電球交換や簡単な大工仕事」（4.4%）が女性に比べ多く、女性は「ちょっとした買い物」（11.9%）、「炊事・洗濯・掃除などの家事」（6.4%）が男性に比べ多くなっている。要介護度別にみると、要支援者は「趣味など世間話の相手」（24.9%）、「ちょっとした買い物」（14.7%）、「外出の付添い」（8.8%）が全体に比べ多くなっている。

■地域の支え合いとしてできること（複数回答）（居宅サービス利用者）

		安否確認など	趣味など世間話の相手	災害時の手助け	介護などの相談相手	ちょっとした買い物	炊事・洗濯・掃除などの家事	外出の付添い	ゴミ出し・雨戸の閉め	電球交換や簡単な大工仕事	必要家族の預かり	子どもや介護	その他	特になし	無回答
全体(n=981)		30.1	17.0	11.1	10.7	10.5	5.4	5.3	5.3	3.1	1.2	3.3	36.3	14.9	
性別	男性(n=316)	27.5	13.9	12.0	12.3	7.6	3.2	5.1	5.7	4.4	0.9	3.5	37.0	15.8	
	女性(n=653)	31.2	17.9	10.7	10.1	11.9	6.4	5.2	5.2	2.1	1.4	3.2	36.3	14.2	
要介護度別	要支援者(n=217)	35.0	24.9	8.8	14.7	14.7	6.0	8.8	4.1	2.8	0.5	3.2	28.1	14.3	
	軽度者(n=485)	29.5	14.6	10.3	9.3	8.9	4.9	4.1	6.8	3.5	0.6	4.1	37.5	15.1	
	中重度者(n=255)	27.8	12.9	14.5	10.2	10.6	5.5	4.7	3.9	2.4	3.1	2.0	42.4	13.3	

施設サービス利用者について

性別にみると、女性は「災害時の手助け」（18.2%）が男性に比べ多くなっている。

■地域の支え合いとしてできること（複数回答）（施設サービス利用者）

		安否確認など	趣味など世間話の相手	災害時の手助け	介護などの相談相手	ちょっとした買い物	炊事・洗濯・掃除などの家事	外出の付添い	ゴミ出し・雨戸の閉め	電球交換や簡単な大工仕事	必要家族の預かり	子どもや介護	その他	特になし	無回答
全体(n=192)		26.0	13.0	15.1	6.8	15.1	3.6	6.8	4.7	1.6	0.5	4.2	31.3	22.4	
性別	男性(n=49)	20.4	20.4	6.1	2.0	10.2	4.1	6.1	4.1	2.0	2.0	4.1	22.4	28.6	
	女性(n=143)	28.0	10.5	18.2	8.4	16.8	3.5	7.0	4.9	1.4	0.0	4.2	34.3	20.3	

サービス未利用者について

性別にみると、男性は「子どもや介護が必要な家族などの預かり」（3.4%）が女性に比べ多くなっている。

■地域の支え合いとしてできること（複数回答）（サービス未利用者）

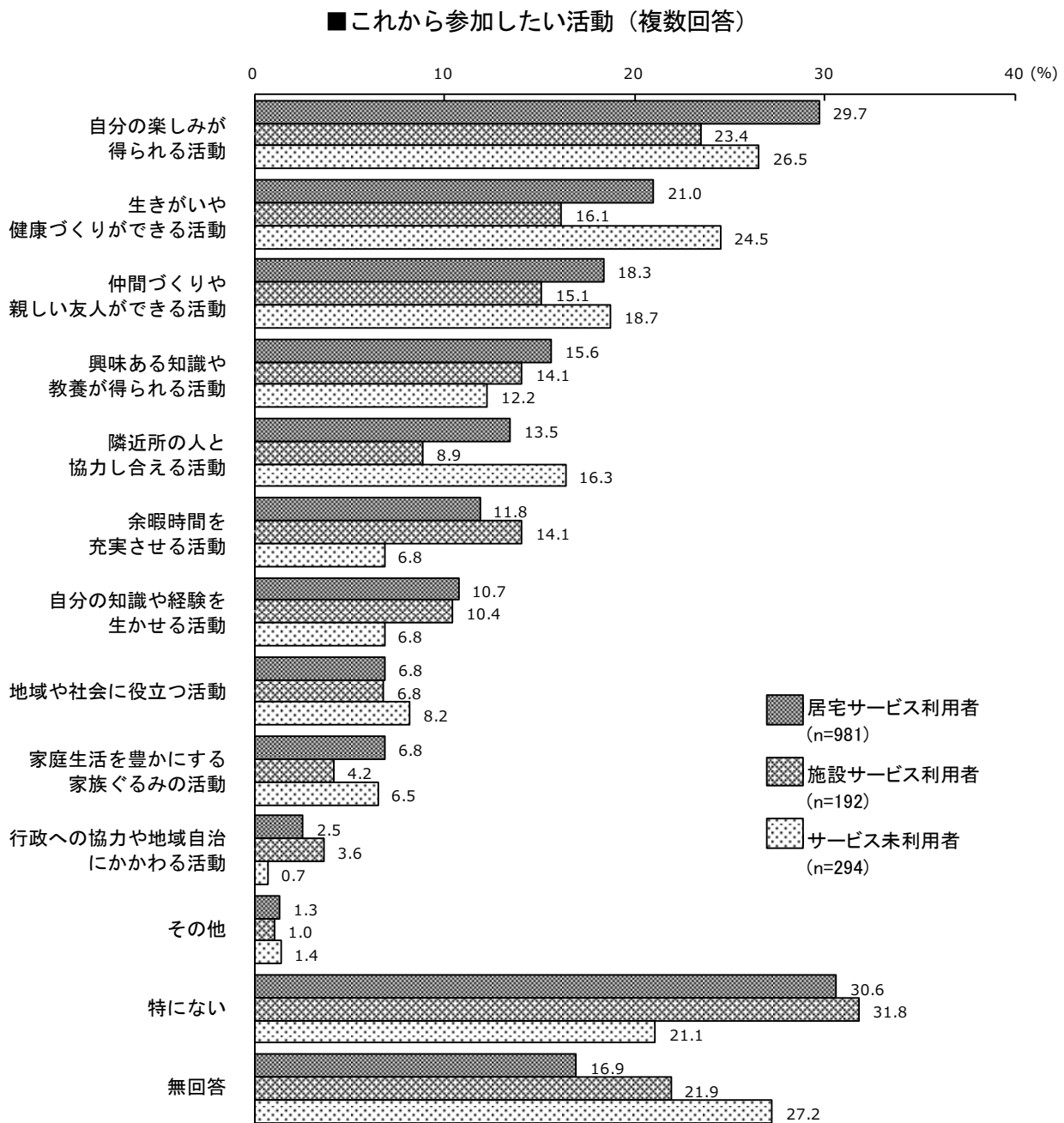
		安否確認など	趣味など世間話の相手	災害時の手助け	介護などの相談相手	ちょっとした買い物	炊事・洗濯・掃除などの家事	外出の付添い	ゴミ出し・雨戸の閉め	電球交換や簡単な大工仕事	必要家族の預かり	子どもや介護	その他	特になし	無回答
全体(n=294)		40.5	20.4	13.6	13.3	15.0	6.1	7.1	4.4	1.7	1.4	1.7	23.1	18.4	
性別	男性(n=116)	38.8	19.0	18.1	12.9	14.7	4.3	6.0	1.7	0.9	3.4	2.6	23.3	16.4	
	女性(n=175)	42.3	21.7	10.9	13.7	14.9	7.4	7.4	6.3	2.3	-	0.6	23.4	19.4	

(4) これから参加したい活動 (問 28)

これから参加したい活動は、居宅サービス利用者は「自分の楽しみが得られる活動」(29.7%)が最も多く、「生きがいや健康づくりができる活動」(21.0%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(18.3%)と続いている。

施設サービス利用者は、「自分の楽しみが得られる活動」(23.4%)が最も多く、「生きがいや健康づくりができる活動」(16.1%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(15.1%)と続いている。

サービス未利用者は、「自分の楽しみが得られる活動」(26.5%)が最も多く、「生きがいや健康づくりができる活動」(24.5%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(18.7%)と続いている。



2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービス利用者について

性別にみると、女性は「自分の楽しみが得られる活動」（32.9%）、「生きがいや健康づくりができる活動」（23.0%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「地域や社会に役立つ活動」（16.2%）が75歳以上に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「生きがいや健康づくりができる活動」（30.4%）、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」（27.6%）、「興味ある知識や教養が得られる活動」（21.2%）、「身近所の人と協力し合える活動」（22.1%）が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第2地区は「興味ある知識や教養が得られる活動」（24.0%）、第3地区は「特になし」（39.7%）が全体に比べ多くなっている。

■これから参加したい活動（複数回答）（居宅サービス利用者）

		得自 ら分 れの 楽し み が	活 動 が い で や き 健 康	生 き が い や 健 康 づ き り が い で や き 健 康	仲 間 づ き り が い で や き 健 康	活 動 が い で や き 健 康	興 味 あ る 知 識 や 教 養 が 得 ら れ る 活 動	力 隣 近 所 の 人 と 協 働	さ 余 暇 の 時 間 を 充 実	動 験 を 分 生 か し て 知 識 や 活 動	立 地 域 や 社 会 に 役 立 つ 活 動	み に す 活 動 を 豊 か く し て い く ら か か か か	わ る 地 域 の 自 治 体 と 協 力 し て い く ら か か か	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全体(n=981)		29.7	21.0	18.3	15.6	13.5	11.8	10.7	6.8	6.8	2.5	1.3	30.6	16.9		
性別	男性(n=316)	23.1	16.8	14.9	13.6	12.3	10.4	13.0	7.3	8.9	3.2	1.3	33.2	19.0		
	女性(n=653)	32.9	23.0	20.1	16.5	14.1	12.4	9.3	6.6	6.0	2.3	1.4	29.7	15.5		
年齢別	75歳以上(n=905)	29.2	21.0	18.5	15.4	13.9	12.0	10.3	6.2	7.1	2.4	1.4	30.6	16.9		
	65～74歳(n=68)	38.2	23.5	16.2	19.1	8.8	8.8	16.2	16.2	4.4	4.4	0.0	32.4	11.8		
要介護度別	要支援者(n=217)	33.6	30.4	27.6	21.2	22.1	14.3	11.1	9.7	6.9	2.8	0.9	22.1	18.0		
	軽度者(n=485)	31.1	18.4	15.3	13.8	11.5	12.2	10.7	5.8	6.6	2.7	1.9	30.7	15.7		
	中重度者(n=255)	23.9	18.4	15.3	13.7	9.4	8.6	10.2	7.1	7.8	2.4	0.8	39.2	16.5		
地区別	第1地区(n=173)	35.8	22.5	20.2	15.6	17.9	11.6	13.9	8.7	9.2	4.0	1.2	29.5	15.6		
	第2地区(n=171)	32.7	24.0	20.5	24.0	17.5	10.5	11.1	7.0	5.8	4.7	0.6	26.3	17.5		
	第3地区(n=194)	24.7	16.5	11.3	8.8	10.3	9.8	8.8	6.2	7.2	1.5	1.5	39.7	13.4		
	第4地区(n=127)	32.3	22.0	19.7	16.5	13.4	12.6	7.1	7.9	5.5	1.6	0.8	30.7	17.3		
	第5地区(n=142)	23.9	18.3	20.4	13.4	11.3	14.1	10.6	4.2	6.3	0.7	2.8	28.9	16.2		
	第6地区(n=141)	29.8	22.7	19.1	18.4	11.3	13.5	12.1	7.1	7.8	2.1	0.7	28.4	17.7		

サービス未利用者について

性別にみると、男性は「生きがいや健康づくりができる活動」（31.0%）、「地域や社会に役立つ活動」（12.9%）が女性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、要支援者は「自分の楽しみが得られる活動」（35.0%）が全体に比べ多くなっている。

■これから参加したい活動（複数回答）（サービス未利用者）

		得自 ら分 れの 楽し み が	活 動 が い で や き 健 康	生 き が い や 健 康 づ き り が い で や き 健 康	仲 間 づ き り が い で や き 健 康	活 動 が い で や き 健 康	興 味 あ る 知 識 や 教 養 が 得 ら れ る 活 動	力 隣 近 所 の 人 と 協 働	さ 余 暇 の 時 間 を 充 実	動 験 を 分 生 か し て 知 識 や 活 動	立 地 域 や 社 会 に 役 立 つ 活 動	み に す 活 動 を 豊 か く し て い く ら か か か	わ る 地 域 の 自 治 体 と 協 力 し て い く ら か か か	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全体(n=294)		26.5	24.5	18.7	12.2	16.3	6.8	6.8	8.2	6.5	0.7	1.4	21.1	27.2		
性別	男性(n=116)	28.4	31.0	15.5	12.9	13.8	7.8	5.2	12.9	3.4	0.9	2.6	24.1	22.4		
	女性(n=175)	25.1	20.6	21.1	12.0	17.7	5.7	8.0	5.1	8.6	0.6	0.6	19.4	29.7		
要介護度別	要支援者(n=123)	35.0	29.3	22.0	13.8	22.0	9.8	5.7	8.1	6.5	0.8	1.6	10.6	27.6		
	軽度者(n=87)	23.0	25.3	19.5	12.6	13.8	5.7	10.3	10.3	3.4	1.1	1.1	31.0	20.7		
	中重度者(n=64)	18.8	12.5	9.4	12.5	9.4	3.1	4.7	4.7	10.9	0.0	1.6	31.3	32.8		

(5) 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度についての意見・要望〈自由回答〉(問 29)

市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、自由回答形式で聞いたところ、全体で 172 件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

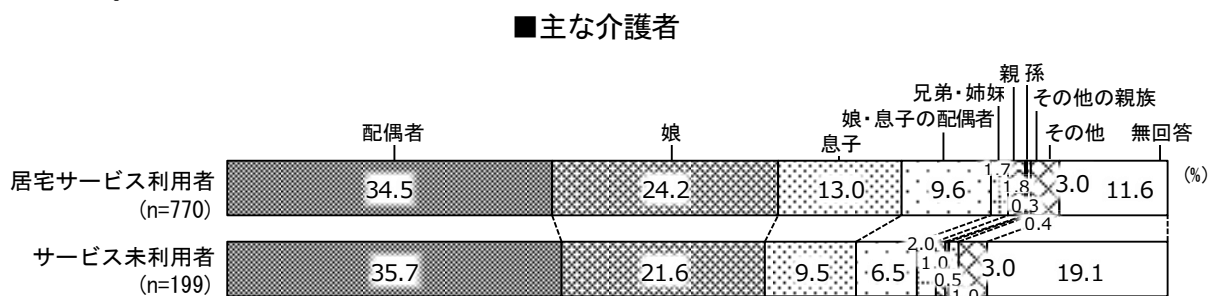
制度、サービス、事業について：41 件
施設について：11 件
人材について：10 件
保険料について：6 件
情報提供、周知について：4 件
相談窓口、連絡先について：4 件
家族への支援について：4 件
手続きについて：3 件
交通・移動支援について：3 件
住居について：2 件
現状や将来について：27 件
アンケートについての意見：2 件
アンケートを回答しての感想：2 件
その他の市への意見・要望：8 件
その他：36 件
わからない・特になし：9 件

11 主な介護者の状況や意向について（主な介護者が回答）

（1）主な介護者（問30）

主な介護者は、居宅サービス利用者は「配偶者」（34.5%）が最も多く、「娘」（24.2%）、「息子」（13.0%）と続いている。

サービス未利用者は、「配偶者」（35.7%）が最も多く、「娘」（21.6%）、「息子」（9.5%）と続いている。



居宅サービス利用者について

性別にみると、男性は「配偶者」（63.6%）が女性に比べ多く、女性は「娘」（29.9%）、「息子」（16.7%）、「娘・息子の配偶者」（12.4%）が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、中重度者は「配偶者」（46.6%）が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第3地区は「息子」（20.9%）、第6地区は「配偶者」（45.0%）が全体に比べ多くなっている。

■主な介護者（居宅サービス利用者）

		(%)									
		配偶者	娘	息子	偶子娘者の・配息	姉兄弟・	親	孫	のそ親の族他	そその他	無回答
全体(n=770)		34.5	24.2	13.0	9.6	1.7	1.8	0.3	0.4	3.0	11.6
性別	男性(n=253)	63.6	13.4	5.1	3.2	1.2	1.2	0.0	0.0	3.6	8.7
	女性(n=509)	20.6	29.9	16.7	12.4	2.0	2.2	0.4	0.6	2.8	12.6
要介護度別	要支援者(n=151)	25.8	19.2	11.9	7.3	3.3	1.3	0.0	0.7	4.0	26.5
	軽度者(n=385)	31.7	25.2	13.2	11.2	1.0	2.6	0.3	0.3	3.6	10.9
	中重度者(n=219)	46.6	26.5	12.8	8.2	1.8	0.9	0.5	0.5	0.9	1.4
地区別	第1地区(n=136)	32.4	24.3	14.0	13.2	2.2	1.5	0.7	0.7	2.9	8.1
	第2地区(n=131)	35.9	26.0	9.9	9.2	0.8	1.5	0.8	0.0	1.5	14.5
	第3地区(n=163)	29.4	23.3	20.9	9.8	3.7	3.1	0.0	0.6	1.8	7.4
	第4地区(n=101)	31.7	24.8	10.9	7.9	1.0	2.0	0.0	1.0	5.0	15.8
	第5地区(n=114)	36.8	22.8	10.5	7.9	1.8	1.8	0.0	0.0	2.6	15.8
	第6地区(n=111)	45.0	24.3	9.9	8.1	0.0	0.9	0.0	0.0	2.7	9.0

サービス未利用者について

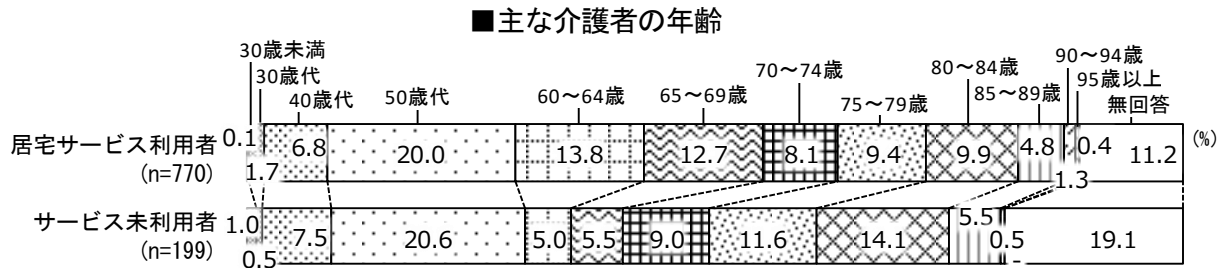
性別にみると、男性は「配偶者」（59.0%）が女性に比べ多く、女性は「娘」（28.8%）が男性に比べ多くなっている。

■主な介護者（サービス未利用者）

		(%)									
		配偶者	娘	息子	偶子娘者の・配息	姉兄弟・	親	孫	のそ親の族他	そその他	無回答
全体(n=199)		35.7	21.6	9.5	6.5	2.0	1.0	0.5	1.0	3.0	19.1
性別	男性(n=78)	59.0	11.5	6.4	5.1	2.6	1.3	0.0	0.0	1.3	12.8
	女性(n=118)	19.5	28.8	11.9	7.6	1.7	0.8	0.8	1.7	3.4	23.7

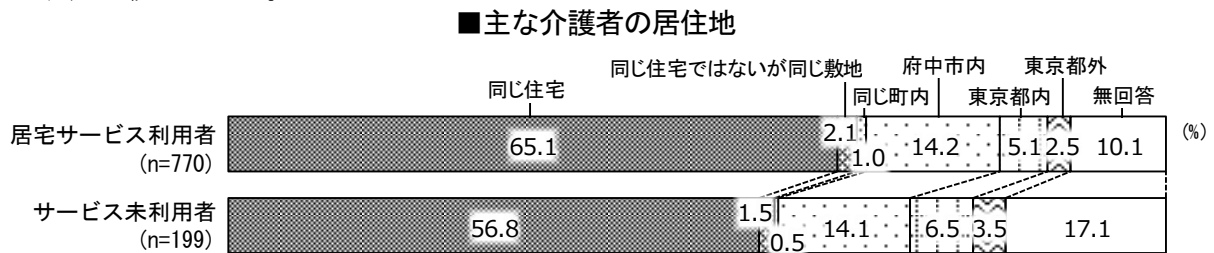
(2) 主な介護者の年齢 (問 31)

主な介護者の年齢は、居宅サービス利用者は「50歳代」(20.0%)が最も多く、「60～64歳」(13.8%)、「65～69歳」(12.7%)と続いている。
 サービス未利用者は、「50歳代」(20.6%)が最も多く、「80～84歳」(14.1%)、「75～79歳」(11.6%)と続いている。



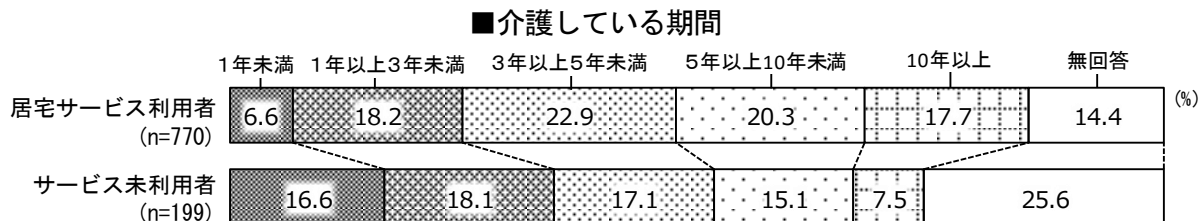
(3) 主な介護者の居住地 (問 32)

主な介護者の居住地は、居宅サービス利用者は「同じ住宅」(65.1%)が最も多く、「府中市内」(14.2%)、「東京都内」(5.1%)と続いている。
 サービス未利用者は、「同じ住宅」(56.8%)が最も多く、「府中市内」(14.1%)、「東京都内」(6.5%)と続いている。



(4) 介護している期間 (問 33)

介護している期間は、居宅サービス利用者は「3年以上5年未満」(22.9%)が最も多く、「5年以上10年未満」(20.3%)、「1年以上3年未満」(18.2%)と続いている。
 サービス未利用者は、「1年以上3年未満」(18.1%)が最も多く、「3年以上5年未満」(17.1%)、「1年未満」(16.6%)と続いている。



居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「5年以上10年未満」(30.6%)、「10年以上」(24.7%)が全体に比べ多くなっている。

■介護している期間 (居宅サービス利用者)

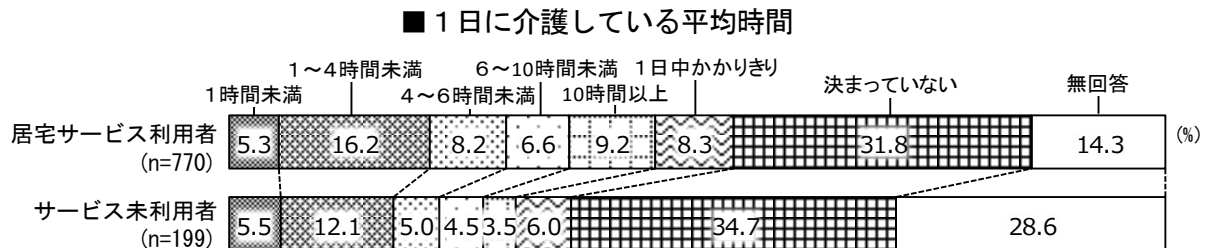
		介護している期間 (%)					
		満1年未	未上1年満3年以	未上3年満5年以	年上5年未1年満0以	以10年以上	無回答
全体(n=770)		6.6	18.2	22.9	20.3	17.7	14.4
要介護度別	要支援者(n=151)	8.6	19.9	18.5	11.9	10.6	30.5
	軽度者(n=385)	7.0	20.0	25.7	17.9	16.4	13.0
	中重度者(n=219)	5.0	15.1	21.0	30.6	24.7	3.7

2. 要支援・要介護認定者調査

(5) 1日に介護している平均時間（問34）

1日に介護している平均時間は、居宅サービス利用者は「決まっていない」（31.8%）が最も多く、「1～4時間未満」（16.2%）、「10時間以上」（9.2%）と続いている。

サービス未利用者は、「決まっていない」（34.7%）が最も多く、「1～4時間未満」（12.1%）、「1日中かかりきり」（6.0%）と続いている。



居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「6～10時間未満」（14.2%）、「10時間以上」（19.6%）、「1日中かかりきり」（17.4%）が全体に比べ多くなっている。

■ 介護している期間（居宅サービス利用者）

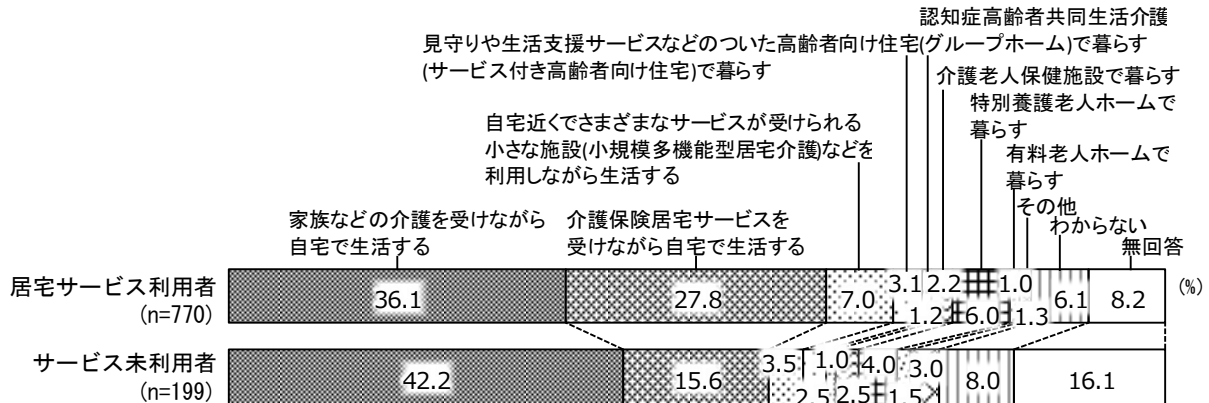
									(%)
		満1時間未満	間1未5満4時	間4未5満6時	時6間5未1満0	以1上0時間	か1り日き中りか	い決なまいて	無回答
全体(n=770)		5.3	16.2	8.2	6.6	9.2	8.3	31.8	14.3
要介護度別	要支援者(n=151)	6.6	15.9	6.0	2.6	2.6	3.3	34.4	28.5
	軽度者(n=385)	7.3	19.5	7.3	4.2	6.0	5.5	37.4	13.0
	中重度者(n=219)	0.9	11.0	11.0	14.2	19.6	17.4	21.5	4.6

(6) 被介護者が生活するのによいところ (問 35)

被介護者が生活するのによいところは、居宅サービス利用者は「家族などの介護を受けながら自宅で生活する」(36.1%)が最も多く、「介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活する」(27.8%)、「自宅近くでさまざまなサービスが受けられる小さな施設(小規模多機能型居宅介護)などを利用しながら生活する」(7.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「家族などの介護を受けながら自宅で生活する」(42.2%)が最も多く、「介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活する」(15.6%)、「特別養護老人ホームで暮らす」(4.0%)と続いている。

■被介護者が生活するのによいところ



居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「特別養護老人ホームで暮らす」(10.5%)が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第2地区と第3地区は「自宅近くでさまざまなサービスが受けられる小さな施設(小規模多機能型居宅介護)などを利用しながら生活する」(順に11.5%、11.0%)が全体に比べ多くなっている。

■被介護者が生活するのによいところ (居宅サービス利用者)

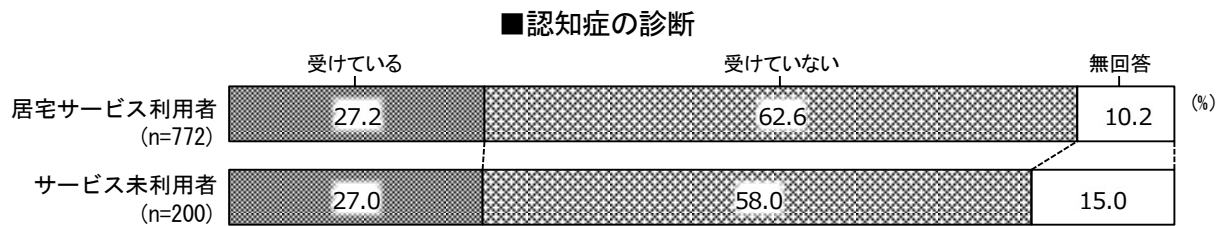
		家族などの介護を受けながら自宅で生活する	介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活する	自宅近くでさまざまなサービスが受けられる小さな施設(小規模多機能型居宅介護)などを利用しながら生活する	見守りや生活支援サービスなどのついた高齢者向け住宅(グループホーム)で暮らす	認知症高齢者共同生活介護	介護老人保健施設で暮らす	特別養護老人ホームで暮らす	有料老人ホームで暮らす	その他	わからない	無回答
全体(n=770)		36.1	27.8	7.0	3.1	1.2	2.2	6.0	1.0	1.3	6.1	8.2
要介護度別	要支援者(n=151)	31.8	26.5	6.6	6.6	0.7	2.6	2.0	0.0	0.7	7.9	14.6
	軽度者(n=385)	38.7	26.0	6.8	2.3	1.6	2.6	4.9	1.8	1.0	5.7	8.6
	中重度者(n=219)	34.2	33.3	8.2	2.3	0.9	1.4	10.5	0.0	2.3	5.0	1.8
地区別	第1地区(n=136)	31.6	29.4	3.7	1.5	2.2	3.7	5.9	1.5	2.2	10.3	8.1
	第2地区(n=131)	41.2	30.5	11.5	2.3	0.8	1.5	1.5	1.5	0.8	1.5	6.9
	第3地区(n=163)	38.0	25.8	11.0	4.3	1.2	1.2	8.6	0.0	1.2	4.3	4.3
	第4地区(n=101)	34.7	20.8	5.9	5.0	1.0	2.0	3.0	1.0	3.0	7.9	15.8
	第5地区(n=114)	41.2	27.2	3.5	2.6	0.0	4.4	5.3	1.8	0.9	4.4	8.8
	第6地区(n=111)	32.4	32.4	5.4	2.7	1.8	0.9	8.1	0.9	0.0	8.1	7.2

2. 要支援・要介護認定者調査

(7) 認知症の診断 (問 36)

認知症の診断は、居宅サービス利用者は「受けている」が27.2%、「受けていない」が62.6%となっている。

サービス未利用者は、「受けている」が27.0%、「受けていない」が58.0%となっている。



居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「受けている」(41.8%)が全体に比べ多くなっている。

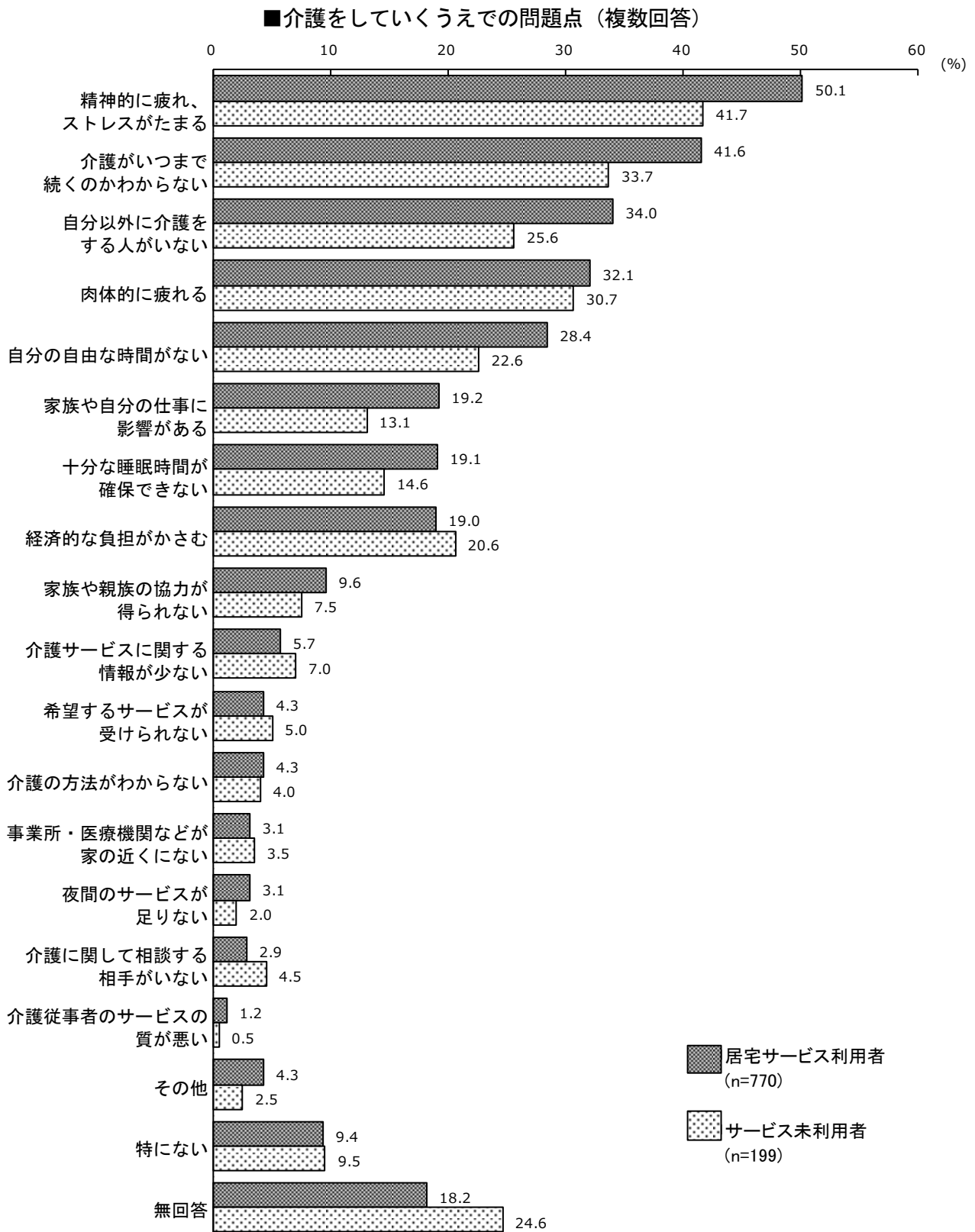
■認知症の診断 (居宅サービス利用者)

		(%)		
		い受 るけ て	い受 なけ いて	無 回 答
全体(n=772)		27.2	62.6	10.2
要介護度別	要支援者(n=151)	9.9	76.8	13.2
	軽度者(n=386)	25.9	66.3	7.8
	中重度者(n=220)	41.8	47.7	10.5

(8) 介護をしていくうえでの問題点 (問 37)

介護をしていくうえでの問題点は、居宅サービス利用者は「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(50.1%)が最も多く、「介護がいつまで続くのかわからない」(41.6%)、「自分以外に介護をする人がいない」(34.0%)と続いている。

サービス未利用者は、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(41.7%)が最も多く、「介護がいつまで続くのかわからない」(33.7%)、「肉体的に疲れる」(30.7%)と続いている。



2. 要支援・要介護認定者調査

居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(68.9%)、「介護がいつまで続くのかわからない」(58.4%)、「自分以外に介護をする人がいない」(41.1%)、「肉体的に疲れる」(53.9%)、「自分の自由な時間がない」(51.1%)、「家族や自分の仕事に影響がある」(28.8%)、「十分な睡眠時間が確保できない」(37.9%)、「経済的な負担がかさむ」(32.4%)が全体に比べ多くなっている。

■介護をしていくうえでの問題点（居宅サービス利用者）

		が精神的に疲れ、ストレス	わからな	介護がいつまで続くのか	が自分以外に介護をする人がいない	肉体的に疲れる	自分の自由な時間がない	家族や自分の仕事に影響がある	十分な睡眠時間が確保できない	経済的な負担がかさむ	家族や親族の協力が得られない	介護サービスに関する情報が少ない	希望するサービスが受けられない	介護の方法がわからない	夜の間のサービスが足りない	事業所・医療機関などが	手がいない	介護に関して相談する相手がいない	介護従事者のサービスの質が悪い	その他	特にな	無回答
全体(n=770)		50.1	41.6	34.0	32.1	28.4	19.2	19.1	19.0	9.6	5.7	4.3	4.3	3.1	3.1	2.9	1.2	4.3	9.4	18.2		
要介護度別	要支援者(n=151)	30.5	20.5	24.5	19.2	11.9	10.6	7.3	11.9	7.9	6.6	4.6	3.3	2.6	3.3	4.6	0.0	4.0	13.2	35.1		
	軽度者(n=385)	48.1	41.0	34.8	25.5	22.9	16.9	13.8	14.0	8.8	5.5	3.6	3.9	2.6	2.9	2.3	1.0	3.9	9.9	17.7		
	中重度者(n=219)	68.9	58.4	41.1	53.9	51.1	28.8	37.9	32.4	12.8	5.9	5.5	5.9	4.1	3.2	2.7	2.3	5.5	5.5	5.9		

サービス未利用者について

要介護度別にみると、軽度者は「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(54.8%)、「家族や親族の協力が得られない」(16.1%)、中重度者は「肉体的に疲れる」(46.9%)、「家族や自分の仕事に影響がある」(24.5%)、「十分な睡眠時間が確保できない」(28.6%)、「経済的な負担がかさむ」(34.7%)が全体に比べ多くなっている。

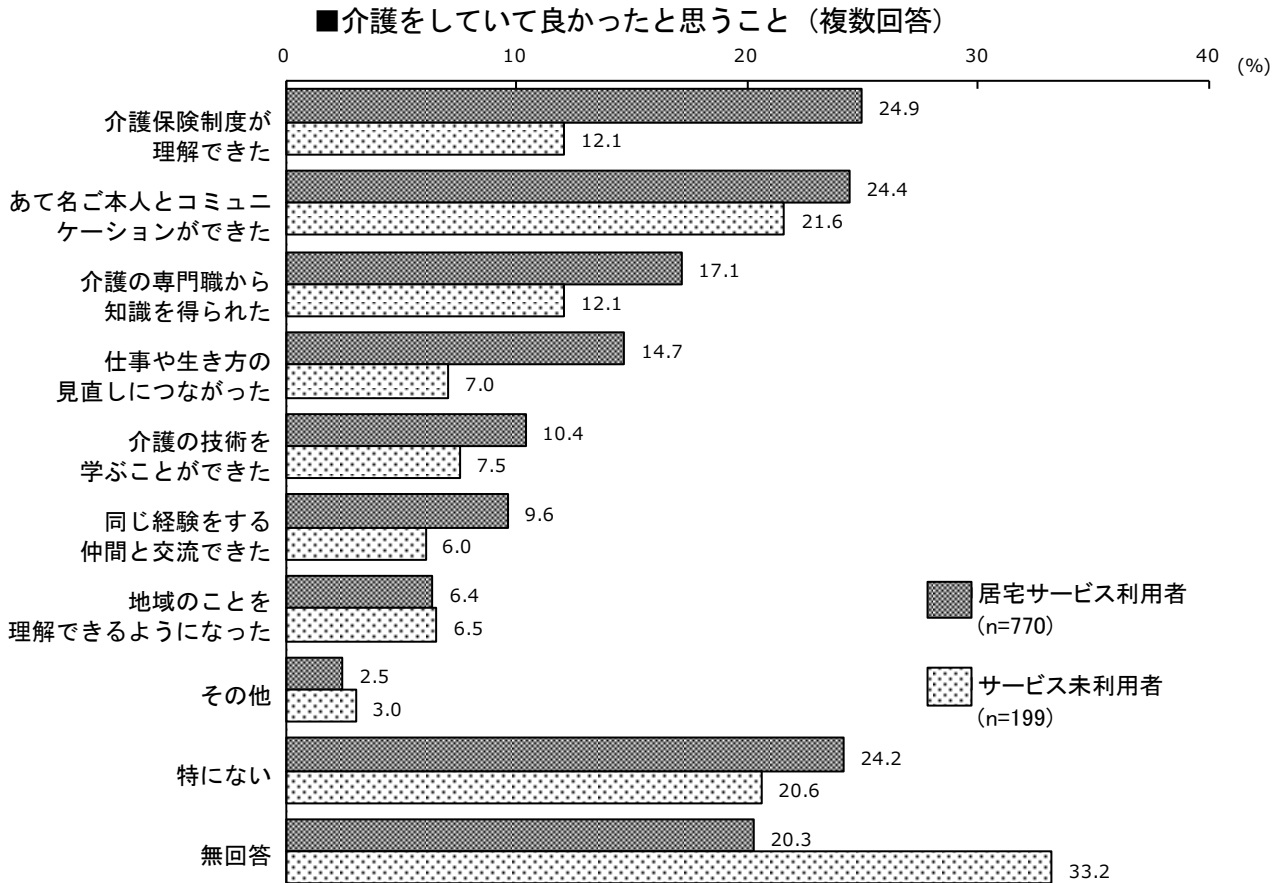
■介護をしていくうえでの問題点（サービス未利用者）

		が精神的に疲れ、ストレス	わからな	介護がいつまで続くのか	が自分以外に介護をする人がいない	肉体的に疲れる	自分の自由な時間がない	家族や自分の仕事に影響がある	十分な睡眠時間が確保できない	経済的な負担がかさむ	家族や親族の協力が得られない	介護サービスに関する情報が少ない	希望するサービスが受けられない	介護の方法がわからない	夜の間のサービスが足りない	事業所・医療機関などが	手がいない	介護に関して相談する相手がいない	介護従事者のサービスの質が悪い	その他	特にな	無回答
全体(n=199)		41.7	33.7	25.6	30.7	22.6	13.1	14.6	20.6	7.5	7.0	5.0	4.0	2.0	3.5	4.5	0.5	2.5	9.5	24.6		
要介護度別	要支援者(n=78)	26.9	24.4	20.5	12.8	11.5	6.4	6.4	10.3	2.6	3.8	5.1	1.3	1.3	2.6	7.7	0.0	0.0	10.3	43.6		
	軽度者(n=62)	54.8	38.7	27.4	37.1	30.6	11.3	11.3	24.2	16.1	9.7	4.8	6.5	3.2	1.6	1.6	0.0	4.8	11.3	8.1		
	中重度者(n=49)	46.9	38.8	32.7	46.9	32.7	24.5	28.6	34.7	6.1	6.1	6.1	4.1	2.0	6.1	2.0	2.0	4.1	6.1	18.4		

(9) 介護をしていて良かったと思うこと (問38)

介護をしていて良かったと思うことは、居宅サービス利用者は「介護保険制度が理解できた」(24.9%)が最も多く、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(24.4%)、「介護の専門職から知識を得られた」(17.1%)と続いている。

サービス未利用者は、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(21.6%)が最も多く、「介護保険制度が理解できた」と「介護の専門職から知識を得られた」(ともに12.1%)、「介護の技術を学ぶことができた」(7.5%)と続いている。



居宅サービス利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「介護保険制度が理解できた」(33.3%)、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(36.1%)、「介護の専門職から知識を得られた」(29.2%)、「介護の技術を学ぶことができた」(21.9%)が全体に比べ多くなっている。

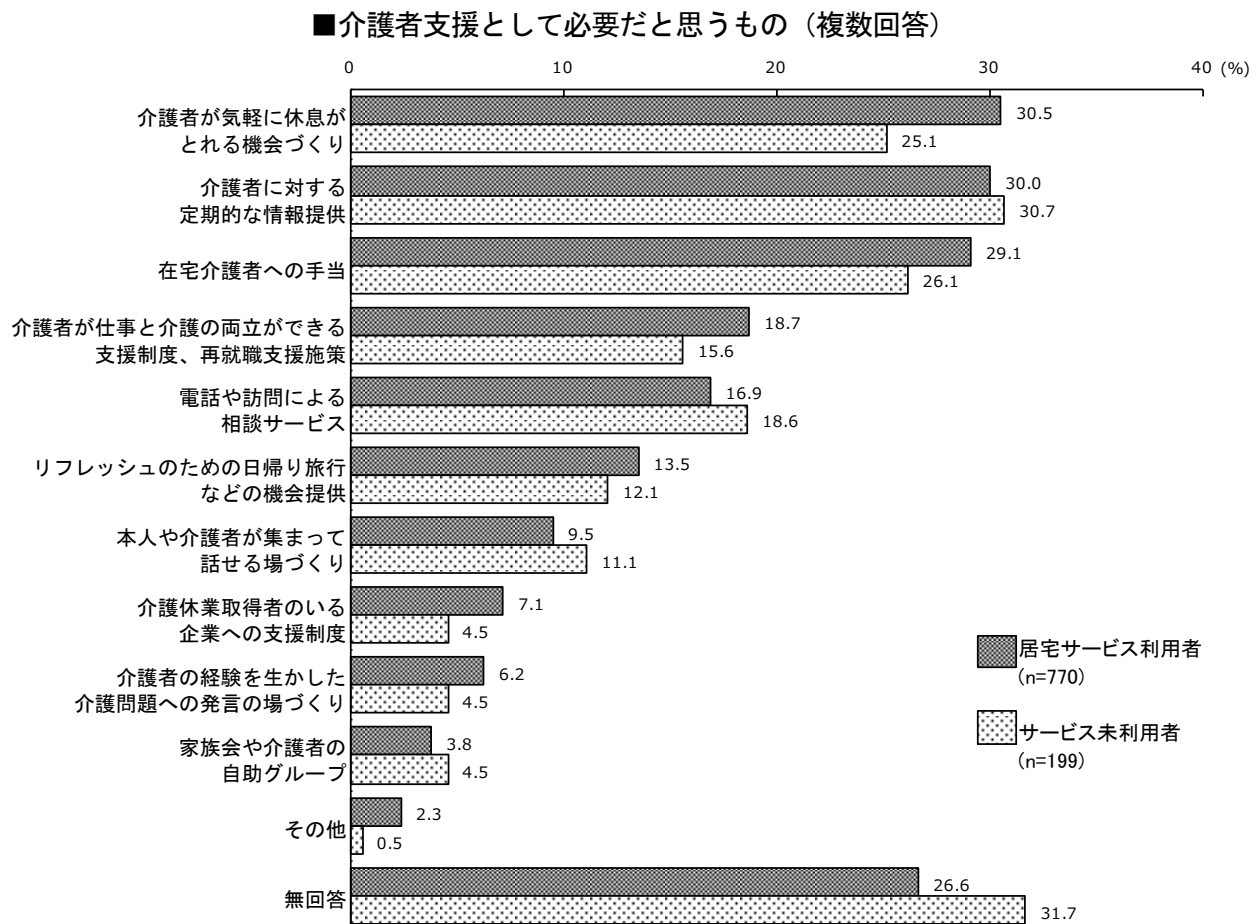
■介護をしていて良かったと思うこと (居宅サービス利用者)

		介護保険制度が理解できた	あて名ご本人とコミュニケーションができた	介護の専門職から知識を得られた	仕事や生き方の見直しにつながった	介護の技術を学ぶことができた	同じ経験をする仲間と交流できた	地域のことを理解できるようになった	その他	特になし	無回答
全体(n=770)		24.9	24.4	17.1	14.7	10.4	9.6	6.4	2.5	24.2	20.3
要介護度別	要支援者(n=151)	16.6	17.9	11.3	10.6	5.3	7.3	7.3	2.0	19.9	39.7
	軽度者(n=385)	24.4	20.5	12.7	15.1	6.0	9.6	4.4	1.8	27.8	18.7
	中重度者(n=219)	33.3	36.1	29.2	16.9	21.9	11.0	9.1	4.1	21.5	8.2

(10) 介護者支援として必要だと思うもの（問 39）

介護者支援として必要だと思うものは、居宅サービス利用者は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」（30.5%）が最も多く、「介護者に対する定期的な情報提供」（30.0%）、「在宅介護者への手当」（29.1%）と続いている。

サービス未利用者は、「介護者に対する定期的な情報提供」（30.7%）が最も多く、「在宅介護者への手当」（26.1%）、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」（25.1%）と続いている。



居宅サービス利用者について

性別にみると、女性は「介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策」(20.8%)、「電話や訪問による相談サービス」(19.4%)、「介護休業取得者のいる企業への支援制度」(8.6%)が男性に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、中重度者は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(43.8%)、「介護者に対する定期的な情報提供」(36.5%)、「在宅介護者への手当」(43.8%)、「介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策」(24.2%)、「介護休業取得者のいる企業への支援制度」(11.0%)が全体に比べ多くなっている。

地区別にみると、第1地区は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(39.7%)、第2地区は「介護者に対する定期的な情報提供」(38.2%)が全体に比べ多くなっている。

さらに介護している期間別にみると、3年以上5年未満は「リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供」(18.8%)、10年以上は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(41.2%)が全体に比べ多くなっている。

■介護者支援として必要だと思うもの(複数回答)(居宅サービス利用者)

		く息介	期介	当在	支支	護護	相電	どめ	りリ	くま	本	制	い	介	の	か	介	自	そ	無
		りが	的護	宅宅	援援	護護	談話	のの	リリ	りつ	人	度	介	護	発	介	護	家	他	回
		と者	な者	介介	施施	立立	ササ	機機	フレ	つや	や	企	休	業	言	護	族	他	答	
		れる	に情	者者	策策	がが	ー訪	会会	ッシュ	話話	介	業	業	取	の	の	や	族		
		気機	報対	への	、再	仕事	ビ問	提旅	のた	せる	者	への	取	場	場	介	会	族		
		会休	供定	の手	就職	と介	による	行な	な	場集	が集	支	得	づく	護	介	族			
		づ休			職	介				づ集	集	援	者	りへ	護	介	族			
	全体(n=770)	30.5	30.0	29.1	18.7	16.9	13.5	9.5	7.1	6.2	3.8	2.3	26.6							
性別	男性(n=253)	32.0	28.9	26.5	14.2	11.5	14.6	10.7	4.0	5.9	4.0	3.2	26.9							
	女性(n=509)	29.7	30.5	30.5	20.8	19.4	13.2	8.6	8.6	6.1	3.7	2.0	26.7							
要介護度別	要支援者(n=151)	23.2	21.2	21.9	14.6	15.2	11.9	10.6	4.0	6.6	4.0	2.6	41.1							
	軽度者(n=385)	26.0	29.6	23.6	17.4	17.7	13.0	9.6	5.7	4.9	4.4	2.1	26.5							
	中重度者(n=219)	43.8	36.5	43.8	24.2	16.4	16.0	8.2	11.0	6.8	2.3	2.7	16.4							
地区別	第1地区(n=136)	39.7	30.1	28.7	22.8	21.3	14.0	9.6	7.4	5.9	2.9	3.7	25.0							
	第2地区(n=131)	29.8	38.2	26.7	19.1	18.3	14.5	9.9	8.4	6.9	3.8	3.8	28.2							
	第3地区(n=163)	25.8	25.2	32.5	20.2	12.3	12.9	11.0	5.5	8.0	6.1	0.6	23.9							
	第4地区(n=101)	25.7	23.8	25.7	12.9	13.9	16.8	6.9	7.9	3.0	2.0	2.0	30.7							
	第5地区(n=114)	31.6	28.1	26.3	16.7	12.3	13.2	6.1	5.3	3.5	0.0	2.6	33.3							
	第6地区(n=111)	29.7	35.1	32.4	18.9	21.6	11.7	12.6	8.1	7.2	7.2	1.8	20.7							
介護している期間別	1年未満(n=51)	25.5	33.3	21.6	7.8	21.6	9.8	7.8	5.9	3.9	3.9	2.0	31.4							
	1年以上3年未満(n=140)	26.4	35.7	28.6	22.9	20.7	13.6	7.9	8.6	4.3	4.3	4.3	20.7							
	3年以上5年未満(n=176)	34.1	34.1	35.2	23.9	15.9	18.8	12.5	9.7	5.7	4.5	0.6	17.0							
	5年以上10年未満(n=156)	35.3	29.5	33.3	21.8	17.9	16.7	10.3	9.0	7.7	4.5	2.6	19.9							
	10年以上(n=136)	41.2	33.1	34.6	16.9	19.1	11.0	9.6	5.9	10.3	3.7	3.7	16.9							

サービス未利用者について

要介護度別にみると、中重度者は「在宅介護者への手当」(44.9%)が全体に比べ多くなっている。

■介護者支援として必要だと思うもの(複数回答)(サービス未利用者)

		く息介	期介	当在	支支	護護	相電	どめ	りリ	くま	本	制	い	介	の	か	介	自	そ	無
		りが	的護	宅宅	援援	護護	談話	のの	リリ	りつ	人	度	介	護	発	介	護	家	他	回
		と者	な者	介介	施施	立立	ササ	機機	フレ	つや	や	企	休	業	言	護	族	他	答	
		れる	に情	者者	策策	がが	ー訪	会会	ッシュ	話話	介	業	業	取	の	の	や	族		
		気機	報対	への	、再	仕事	ビ問	提旅	のた	せる	者	への	取	場	場	介	会	族		
		会休	供定	の手	就職	と介	による	行な		場集	が集	支	得	づく	護	介	族			
		づ休			職	介				づ集	集	援	者	りへ	護	介	族			
	全体(n=199)	25.1	30.7	26.1	15.6	18.6	12.1	11.1	4.5	4.5	4.5	0.5	31.7							
要介護度別	要支援者(n=78)	21.8	19.2	16.7	11.5	16.7	15.4	16.7	3.8	6.4	1.3	1.3	43.6							
	軽度者(n=62)	30.6	40.3	24.2	17.7	21.0	9.7	9.7	4.8	1.6	6.5	0.0	22.6							
	中重度者(n=49)	28.6	32.7	44.9	18.4	18.4	12.2	4.1	4.1	4.1	8.2	0.0	26.5							

2. 要支援・要介護認定者調査

(11) 市への要望〈自由回答〉（問 40）

市への要望について、自由回答形式で聞いたところ、全体で 313 件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

制度、サービス、事業について：33 件
施設について：26 件
交通・移動支援について：18 件
家族への支援について：11 件
情報提供、周知について：9 件
人材について：9 件
相談窓口、連絡先について：6 件
保険料について：5 件
手続きについて：5 件
住居について：2 件
現状や将来について：92 件
アンケートについての意見：22 件
アンケートを回答しての感想：5 件
その他の市への意見・要望：29 件
その他：37 件
わからない・特になし：4 件